

食用菌多キモ毒菌不尠、毒成分ハ Muscarin, Cholin, Pilz-
 Toxin, Muscaridin, Amanitotoxin ナリ。食用菌ニ(1)ひ
 とよたけ *Coprinus atramentarius* Fr. (2)はらたけ
Psalliota campestris Fr. (近時日本ニテモ栽培ス)。 (3)
 まつたけ *Armillaria Matsudake Ito et Impe* (4)しめじ
Tricholoma Conglobata Witt. (5)むきたけ *pleurotus*
serotinus Fr. (6)しひたけ *Cortinellus Berkeleyana P.*
Henn. (7)はつたけ *Lactarius Matsudake Tanaka*
 (8)うすたけ *Cantharellus floccosus Schw.* 茸アリ。毒菌
 ニハ (9)ベにてんぐたけ(あしだかべたけ) *Amanita Mus-*
caria Fr. 赤蟻埤茸ト称シ、無臭無辛ナル故無毒ノ玉子茸
 ト誤食シ中毒ス。(10)てんぐたけ *A. pantherina* Fr. はへと
 りたけ、へうたけト称シ猛毒アリ。(11)たまごてんぐたけ *A.*
phalloides Fr. ハしめじト誤食シ落命セシ例不尠。(12)こ
 たまごてんぐたけ *A. mappa* Fr. 全上。(13)どくつるたけ、
A. virosa Fr. 全上。(14)いつぼんしめじ *Entoloma si-*
nuatum Fr. (15)あせたけ *Inocybe rimosa* Fr. 大毒汗
 流涎・落涙・嘔吐・下痢・腹痛ヲ来シ、多量食ニハ心臓静止ニ依テ死
 亡ス。(16)わらひたけ *Panaeolus papilionaceus* Fr. 踊
 草トモ称シ、興奮ノ極歌舞跳踊ス。(17)とくべたけ *Russ-*
ula emetica Fr. (18)からはつたけ *Lactarius tormino-*
sus Fr. (19)つきよたけ *Pleurotus japonica Kawamura*
 月夜茸、死因ハ心臓及呼吸脈痺ニ因ル。(20)やぶしめじ *Clito-*

Cybe acromelaga Ichimura ハ四肢末端疼痛激烈焼ガ如キコトからはつだけ中毒ニ全ジ。(2)わらひたけもどき

Stropharia caerulescens Imai ハ中毒症状わらひたけニ似テ弱ク快活ニ頃ヒ歩キ笑ヒ廻ル、多食スレバ手足麻痺シ視力減ジ譫言ヲ卷シ恐怖症状ヲ呈ス、何レモ恢復スルヲ特徴トス。

上記食菌ノ中(6)しひたけ(推茸)ハなら、くり、くぬぎ、れい、れいで等ノ枯樹ニ生ジ全国ニ分布スルニ肥伊、伊豆、白向、駿河ニ多産ス生時ヨリ干推茸ハ Vitamin Dヲ含有シ却テ美味ナリ。爾要順大支那ニ輸出ス。(3)まつだけ(松茸)ハ諸國ニ産シ、就中京都和尙山産有名、香味絶美、要ニ諸菌ノ魁ナリ。塩蔵シ又晒干シ貯フ、又罐詰トス。

(22)ひらたけ(わかあ) *Pleurotus ostreatus* Sacc. ハむきたけニ似テ桐椗少、えのき、はんのき、なら、くろみ、かぢのき、ぶな、もみじ、けんぼなレ等ノ枯幹ニ生ズ、しわぶぎ、くろぶきノニ品アリ、1側ニ短柄アリテ横生ス、美味可食。(23)ちちたけ *Lactarius volemus* Fr. ハ形色共ニベトたけニ似テ之ヲ備ケレバ白乳汁ヲ出ス、夏時林中ニ生ズ、採テ蒸トシ又乾貯フ、脆クシテ美味ナリ。

Fam. (ix) つちぐり(つちがき)科 *Calostomataceae* 囊状部ト裂片部トヨリ成ル、囊内ニ毛状体ト胞子ヲ充滿シ熟シテ頂小孔ヨリ飛散セシム。(1)つちぐり(つちがき) *Astraeus hygrometricus* Morg. ハ吸漿菌ト称シ、胞子ヲ出血時ニ散布シ止血

粟、金巻藻トス。種類不夥、皆形態甚奇妙ナリ。

Fam. (X) しょうろ(松露)科 *Hymenogastreae* 子実体ハ塊球形ニテ地中ニ生ズ、熟後モ果房ノ腔壁ヲ保存シ(前科ハ消失)腔内ニ胞子ヲ充ス。(1)しょうろ(麦蕈、松露) *Rhizogogon rubescens* Tub. ハ海岸黒松林ノ砂土中ニ生ズ、純白ヲ最上品トス、食用トス、香氣アリ。

Fam. (Xi) ほこりたけ(きつねのちやぶくろ)科 *Lycoperdaceae* 囊状部ハ有柄又無柄、頂小孔アリ、之ヨリ胞子ヲ播散ス。(1)ほこりたけ(塵蕈、埃蕈) *Lycoperdon gemmatum* Katsch. 一名きつねのちやぶくろト称ス。胞子ヲ止血薬トシ、全蕈又創面ニ散布シ、咽喉炎ニハ蜜ニ搾リ丸薬トシテ内用ス。(2)けむりたけ *L. pyriforme* Schaeff. 効用全上。(3)おにぶすべ(馬勒) *Laskiosphaera Fenestrata* Reich. ハ秋季竹林ニ発生ス、故やぶたまと称ス。子実体ハ大球形、径20~30cm内外、外皮白色後褐変ス、内部ハ肉質純白後黄褐色、白キ肉可食、各地ニ産シ、菌体ヲ漢：吐血・嗽血・衄血等ノ止血薬トシテ内外用ス。

Fam. (Xii) すつぽんたけ(鬼筆)科 *Phallaceae* 幼時菌蕾ハ卵球形、生成ニ從ヒ子実体ハ一夜ニシテ急ニ菌被ヲ破リ突出、動起ス、此際音ヲ発ス依テ名付ク。菌傘ハトルコ帽状、菌柄ハ円柱状多少弓曲ス、脚管ハ菌鐐ヲ残サズ。

(1)すつぽんたけ(靈蕈) *Phallus impudicus* Pers. ハ臭気ヲ発ス、癩風ニ軟膏トシテ菌体ヲ応用ス。(2)きぬがさたけ(

むそうたけ) *Dictyophora phalloidea* Desv. 絹傘ハ傘下ニ網状ノヴェールヲ垂下ス、悪臭ヲ発スルモ可食、即チ脚管ヲ去リ傘ノ粘液ヲ洗除シ乾貯ス、又即料理ニ用フ、珍品ナリ。諸國ニ産ス。

菌絲型(無胞子類) *Mycel forms* △(1)ぶくりやつ(まつほど) *Pachyma Hoelen* Rumph. ハ概球塊状、黒褐多皺、生時淡紅系軟乾時白色堅緻木質状、松林(黒松モ)根際寄生者ヲ茯苓根ヲ圍繞スルヲ茯苓ト云フ、径5-10cm. 内外。各地(山口、長野、三重、奈良)ニ産シ、菌核体ニ *Pachyman* 及糖介ヲ含有シ、漢：水腫、麻疾、利尿薬トス。(2)たけほど *Mylitta lapidescens* Korr. 菌核体ヲ雷丸ト称シ小兒病薬トス。

第十五門 地衣植物門(地衣類)

XV. Phylum Lichenes

特徴：一本門ノ植物体ハ菌類(概蕈子菌類稀子菌類)ト藻類(單細胞性又絲状ノ藻即藍藻類及緑藻類中ノ原藻綱)トノ相倚複合体(*Consortium, Konsortium*)ニシテ相互扶助ニヨリ共棲生活(*Symbiosis, Symbiotisches Leben*)ヲ営ムモノナリ、是ヲ地衣体ト称ス。地衣体ハ柔組織状ニシテ2型アリ。甲ハ菌絲組織中ニ埋存スル藻類ハ器子葉ニ散在スル型ニテ之ヲ混層(同層無層)地衣(*Homoiomerous lichen, Homoiomerische Flechten*)ト称シ、稀類少シ；乙ハ地衣体ノ皮層(*Cortical layer, Rindenschicht*)ト髓層(*Medullary*

layer, Markschrift) トノ同ニ群集シ層ヲ成ス、之ヲ緑
 膜層 (Conidial layer, Conidienschicht) ト称シ、其各細
 胞 (藻類) ヲ緑顆(体)粒 (Gonidia, Gonidion) ト言フ。如此
 様違フ層スルヲ異層(有層)地衣 (Heteromerous lichen,
 Heteromerische Flechten) ト称シ種類甚多シ。

地衣体中ノ藻類ノ増殖ハ無性的(介裂)タルガ綠藻ニハ游
 走子ヲ造ルコト不鮮。其他腐芽(粉状体) (Soredia, Sore-
 dia) ヲ生ジ粉霜状ニ体上ニ附着ス。鏡檢スレバ菌絲ト藻
 類ト纏絡塊状ヲナス、成熟ト共ニ介離シ新地衣体トナル。
 裂芽 (Isidium) ハ地衣体表面ノ小突起ヲ生ジ、中央ニ藻類
 周囲ニ菌絲層ニ包マン、疣状ニ脱離シ新地衣体トナル。緑顆
 子突 (Hymenialgonidium) ハ緑顆粒圍ト之ヲ包メル子囊胞
 子群トカ共同シテ母体ヲ離レ、胞子ノ発芽ニヨリ菌絲ニテ、
 Gonidia 圍ヲ圍繞シ新地衣ニ發育ス。地衣体ハ別ニ(受精
 ノ結果トモ云ハル) 皿状ノ盤子器 (裸子器 Apothecium)
 又球状ノ被子器 (perithecium) ヲ作り其ノ中ニ四ノ子囊
 ト側線トヲ生スル子実層 (Hymenium) ヲ形成シ、之ヨリ出
 ル胞子ハ適當ナル藻類ヲ捕ヘテ新地衣体ヲ造ル。以上両子
 器ノ形質・構造・附着状態等ハ分類上重要特徴トナル。

地衣類ハ地上・樹皮上・岩上・崖瓦・露苔等ニ着生シ、葉状殼状
 盤状・樹枝状等ヲナシ、全ク乾燥状態ニ陥ルモ枯死スルコトナ
 ク得溼帆復ス。体ニ地衣酸 (Flechtensäure) ヲ含有シ、
 之ニ依テ岩石等ヲ溶解ス、又地衣色素 (Flechtenfarb-

stoffe) ヲ含有ス。以上ハアルカリ及酸ノ諸種ト化合シ固
 有色ヲ呈スル故此性質ヲ分類上ニ適用スルニ至レリ。

地衣類ハ分布甚広ク、全地球上山地平地海岸ノ別ナク到ル
 所ニ分布シ、特ニ寒地帯(高山寒地帯及極地寒地帯)ニハ地衣
 帯 (Lichen-zone) ト称スル好適生地ヲ展間ヒリ。

分類:—形質ニ依テ (1) 葉状地衣 (Foliaceous lichens,
 Laubflechten), (2) 膠膜地衣 (Gelatinous l., Gallertf.),
 (3) 皿状(殼状)地衣 (Crustaceous l. Krustenf.), (4) 樹状(灌木状)
 地衣 (Fruticose l. Strauchf.), (5) 絲状地衣 (Filamentous
 l. Fadenf.) ノ5種類トス、然レ此分類ハ生態上重要ナルモ
 純分類的ニハ如次 (主ニツアールブルックネル Zahlbruck-
 ner 氏ニ據ル) 2綱3目54科ニ分類ス。

③地衣類ヲ独立門トスル理由:—(1) 体ノ構造ニ於テモ、生
 活様式ノ特殊ナル点ニ於テモ截然他門ト區別セヨレ、1ニ附
 シハシキモノナキコト。(2) 藻類ト菌類トノ合作ナレモ系統
 上独立部類(門)ナルコト明白ニシテ系統上向上的ニ進化的ニ
 他植物部類トノ關係絶無アルコト。(3) 生活上ハ共生ナレモ
 現在ハ双方分離スルコト不可能ナル相倚單主体トナリ、明ニ
 遺傳的生活ヲナスコト……

以上ノ理由ニヨリ他門ニ比シテ單口系統ハ判然明白ニシ
 テ疑問ヲ止メザルハ勿論、向上進化的ニ他門ト無關係ナル
 ハ独立門トシテノ價値絶大ニシテ確實ナルコト到成他門ノ
 系統上不純ナルカ又疑問多キ比ニ非ズ。

以是見是ニ地衣類ノ独立門トシテ最鮮明純潔ナルモノト云フベシ。

地衣植物門ノ2綱3目3亜目ノ檢索表

A₁ 地衣体ハ蕈子菌ト藻類トノ共棲ヨリ成ル(普通地衣ハ皆之ニ屬ス)-----

-----第一綱 蕈子(子囊)地衣綱 Class II. Ascolichenes

B₁ 地衣体ノ子実体ハ被子器即被果ヲ生ズ(1目16科アリ)---

-----第一目 被子器(被果)地衣目 Ordo I. Pyrenocarpeae

B₂ 地衣体ノ子実体ハ裸子器即裸器ヲ生ズ(3亜目37科アリ)---

-----第二目 裸子器(裸器)地衣目 Ordo II. Gymnocarpeae

C₁ 裸子器即盤子器ノ盤ハ多少用キ、側絲ハ子囊上ニ延出シテ細毛体(Capillitium)ヲナシ、子囊破出ノ胞子ト共ニ塵埃狀小塊即粉塊(Mycetium)ヲ造ツテ永ク盤狀ニ附着ス-----

-----第一亜目 粉果地衣亜目 Subordo i.

Coniocarpineae

C₂ 裸子器ノ側絲ハ胞子ト共ニ粉塊ヲ造ラス

D₁ 裸子器ハ線狀・長楕圓狀・楕圓狀又稜角アリ、楕圓形也

-----第二亜目 文字苔亜目 Subordo ii

Graphidineae

D₂ 裸子器ノ盤ハ円形ナリ-----

-----第三亜目 盤果地衣亜目 Subordo iii.

Cyclocarpineae

A₂ 地衣体ハ蕈子菌ト藻類トノ共生ヨリ成ル(稀ナリ)-----

-----第二綱 擔子地衣綱 Class II. Basidiolichenes

B. 特徴同A₂-----第一目 帽菌地衣目 Ordo i.

Hymenolichenes

C. 本目ニ1科アリ-----科 帽菌地衣科 Fam. I.

Hymenolichenaceae

○地衣門中入生ニ關係アル種類ハ如次。

Fam. (i) かはいはたけ(川岩茸)科 Dermatocarpaceae (第1綱第1目)

(1) かはいはたけ *Dermatocarpon flaviverticillatum* Sh.

Fr. 体ハ楕圓形葉狀、下面中央ニ附着器アリテ濕岩上ニ着生ス。北海道ノ深山幽谷ノ河岸又河中岩上(例、大雪山利尻山、札文岳等)ニ産シ食用トス。

Fam. (ii) リとますごけ科 Roccellaceae (第1綱第2目)

(1) リとますごけ(らくむすごけ) *Roccella tinctoria* DC. ハ無

枝・粗枝灌木狀、高30cmニ達シ、莖日又靱黄色、擔子器ハ黒色。

カナリー島・アゾールス島・地中海沿岸セネガノビア・喜望峯・東

印度・濠洲中及南米等ノ海岸岩上生。オレチン(Orcin)誘導

体(色素)ヲ含有シ、化学標示薬ナル Litmus (英) Lakmus (独) 試

験紙製造ノ原料トナル。Orcinハ無色結晶ナルカ空中ニ於

テ赤変ス。此ノ他全属ノ(2)ひはまたごけ *R. fuciformis* DC.

(地中海沿岸及西アフリカ産) (3) *R. Montagnei* Bel. (4) *R.*

fucoides Wain 及ウのりさごけ科ノ *Parmelia tinctorum*,

おやれごけ科ノ *Ochrolechia tartarea* Massal 等モ亦

同様ノ目的 (標本薬用)ニ使用セラル。

Fam. (iii) はなごけ科 *Cladoniaceae* (第1綱第2目第3至目) 葉状体ハ灌木状・珊瑚状・漏斗状・喇叭状ヲ呈シ種類多シ。
 (1) はなごけ(石莖) *Cladonia rangiferina* web. 諸国山中等ニ寒地帯(極地及高山)ニ叢生脱落ス。採テ茶トシ飲ムベシ。解熱利尿(肺癆・風熱・淋疾)ノ効アリ。(2) わらびなごけ *C. sylvatica* Hoffm. (3) まはなごけ(みやまはなごけ) *C. alpestris* Rabh. 等ハ同様ニ使用スベシ。以上三種皆別産ノ好食餌ナリ。

Fam. (iv) いはたけ科 *Gyrophoraceae* (全上) 葉状体ハか
 いはたけニテ生産地ヲ異ニシ皆深山ノ岩崖又高山寒地ノ岩石又岩壁ニ多数着生ス。(1) いはたけ(石茸) *Gyrophora esculenta* Miyoshi ハ深山ノ岩壁絶崖ニ着生ス。秩父・信州木曾及赤石山脉日光白根山等ヨリ産ス。民：婦人血ノ道薬トシテ貴重ス。又三杯酢ニテ食スルカ味噌汁ニ入ル。(2) みやまごけのり(みやまいはたけ) *G. proboscidea* Ach. (3) たかおごけのり(たかおいはたけ) *G. cylindrica* Ach. 共ニいはたけノ代用トスベク之ヲ味噌汁ニ入レテ食スルハ頗ル美味ナリ。共ニ高山寒地ノ岩壁又岩上ニ生ズ。北千岳ニテハ海岸ニ不鮮。

Fam. (v) うめのみごけ科 *Parmeliaceae* 体ハ瓶葉状又
 其裏襷状ナリ。△(1) いすらんどごけ(えいらんたい)(依蘭苔) *Cetraria islandica* Acharius ハ北極地帯ノ極地寒

地帯特ニ *Tundra* (苔原又凍原)ニ多ク、欧亞ノ高山寒地帯ニ廣布ス。日本ニハ其変形多ク多産シ、標準種ハ樺太ノ寒原又山岳ノ寒地帯ニ産シ、北海道ノ高山寒地帯ニ稀産スルノミ。生薬ノ依蘭苔 *Lichen islandicus* ハ苦味アリ、主成分ハ地衣澱粉 (*Lichenin* $C_6H_{10}O_4$)ニテ沃夏ニテ藍変セザルモノト、真異性体ナル *Dextralichenin* 即藍変スルモノヲ含ム。而シテ健胃苦味ノ効ハ素 *Cetrarin* (*Cetrarsäure*) $C_{54}H_{99}O_{24}$ (C_2H_5)₂?ノ作用トス。其ツエトラール酸 *Cetrarsäure* $C_{20}H_{13}O_9$ ナル地衣酸ハ苦味ノ源ヲナシ、尚 *Cetrarinin* $C_{28}H_{43}O_4$, *protocetrarsäure* $C_{54}H_{42}O_{27}$, *d-protolichesterinsäure* $C_{19}H_{32}O_4$ ナル結晶性酸等ヲ含有ス。薬効ハ主ニ粘滑性健胃苦味薬トス。又膠漿(20倍ノ水ヲ加ヘ煮沸冷放ス)トシテ使用セラル。(2) こぼの-いすらんどごけ(こぼの-えいらんたい)(小葉依蘭苔) *C. islandica* Achar. f. *angustifolia* Krph. ハ前者ヨリ著ク灰細ナリ、4種北本各地ノ寒原又高山寒地帯ニ普通ニシテ山民ノやまつのまたト称スルモノ是也。日本アルプス諸高山・奥羽及北海道諸高山ノ寒地帯普通ノ地衣類ナリ。依蘭苔ト同効アリ。但シ此者ニハ左旋(歐洲産ハ右旋) *l-protolichesterinsäure* $C_{19}H_{32}O_4$ ヲ含有ス。

Fam. (vi) さるをがせ科 *Usneaceae* (全) 体ハ灌木状直立又細枝密出葉軟懸垂シ或匍匐ス。(1) さるをがせ(さがりごけ、松羅・金線草) *Usnea longissima* Ach. 深山ノ樹上ニ着

生懸全ス、長10~500 m.内外、緑白色。*Lichenin* (炭水化物)
Barbatinsäure $C_{19}H_{20}O_7$, *Usminsäure* $C_{18}H_{16}O_7$. 地衣
 酸等ヲ含有ス。生薬ヲ松羅 *Ulex* ト称シ、全体ヲ煎服シテ
 利尿解熱祛痰肺熱痰癆淋疾等ニ薬用ス。特ニ瘰癧ニハ松羅
 (全線草) 丁幾4.0 水200 1日3回2日量ヲ賣用シ、諸潰瘍
 ニ松羅末1.0 硼酸末4.0 ヲ合セ外用ス。民: 心臟病薬、漢:
 利尿、祛痰薬。各国山地ニ産ス。(2) やまとさおきがせ *U.*
japonica wainio 前種ヨリ太ク強韌、裂口顕着、少小枝、既2
 又。(3) みやまさるをがせ *U. plicata v. annulata* Müll.
 (4) ひげごけ(ひげきのり) *U. dasypoga* Nyl. 等ハ昏松羅ト
 称シ、同様ニ用ヒラル。松羅ハ樹枝ニ附着、俟採テ生花トシ
 又席上ノ籠ニ挿ム、頗雅致アリ、風流可愛。

第十六門 苔蘚植物門 (蘚苔類)

XIV. Phylum Bryophyta

特徴: — 苔蘚植物門以上ノ植物ニハ顯著不顯著ノ別コ
 ソアト總テ其体制上ノ有性代植物ト無性代植物ノ明瞭ナル區
 別ヲ有ス。而シテ甲ヨリハ必ズ乙ヲ生ジ乙ヨリハ必ズ甲ヲ
 生育セシメ規律正シキ輪廻ヲ爲ス、是ヲ世代交替(生系交
 迭) (*Alternation of generation, Generationswechsel*)
 ト言フ。即有性代(X代)植物ハ雌雄生殖器ヲ具有シ、無性
 代(2X)植物ハ是ヲ有セズ無性的(雌雄ノ關係ナク)ニ孢子(芽
 胞)ヲ生ズルノ異点アリ(Xハ細胞核内ノ染色体数也。本門

以下ノ植物ニモ世代交替ヲ行フ部類……例ハバ紅藻類……
 アレハ兩世代ノ植物体ニ明カナル形變上ノ差異ヲ現ハスモ
 ノナシ異ヲ示スハ本門以上ナリ。

日常吾人ノ見ル苔蘚植物ハ有性代植物ニ屬シ葉狀体(苔類)
 又莖葉体(蘚類)ヲナス; 其ノ雄器ハ藏精器 (*Antheridium*) ト
 称シ球形瓶形又卵形ノ囊狀体ニテ、中ヲ充スルノ小細胞中ニ
 各1ヶノ運動スル精子(精虫 *Spermatozoides*, — den 有鞭
 毛) ヲ生ズ; 雌器ヲ藏卵器 (*Archegonium*) ト称シ壺形有頸
 ナリ、其ノ内腔底ニ1ヶノ卵細胞 (*Oosphere, Eizelle*) ヲ有シ、
 其上方頸部ニ魚リテ溝細胞 (*Canal-cells, Kanalzellen*) ア
 リ。受胎期ニ近ケバ溝細胞ハ粘液化シ、雌器ノ頂部閉口ス、此
 時頸口ヨリ吐出スル蔗糖粘液ノ化学的刺激ニ依リ此方向ニ
 誘引セラル、∞ノ精子ハ鞭毛性 (*Chemotaxis*) ニ依テ卵細胞
 ニ到達シ胚胎セシム。受精後卵細胞ハ分裂ヲ重テテ無性代
 植物トナリ、有柄ノ囊狀体即囊果 (果囊胚囊 *Sporogonium*)
 ヲ造リ、中ニ∞ノ孢子ヲ介生ス。而シテ此囊果体(造胞体)即無
 性代植物ハ母植物即有性代植物(苔蘚ノ本体)ノ直上ニ生シ(蘚
 類)又ハ特殊ノ器托盤下ニ下垂スト虽モ、其間密組織的連絡ナ
 ク單ニ寄着スルノミ。
 孢子ノ地上ニ発芽スル線狀体(原線体 *Protonema*) トナ
 リ、其ノ部ニ小芽ヲ生ジ有性代植物トナル。以上ノ外葉狀体
 上ニ無性的ノ珠芽(仔芽 *Gemmae, Gemmen, Brutknos-
 pen*) ヲ生ジ繁殖ス。

① 苔蘚類ハ系統的ニ下方ハ綠藻ニ關係アル如ク上方ハ形態的ニモ生理的ニモ高等植物ニ漸次連絡アルモ、ソハ直接ナルカ間接ナルカハ断定シ難シ。要ハ独立門タルニ不可ナシ。

分類：— 本門ニハ苔綱 *Hepaticae*, 蘚綱 *Musci*, 2綱アリテ多数ノ目科ヲ隸屬セシムルモ人生關係乏シク僅カニ次ノ1科アルノミ。

Fam. (i) みづごけ科 *Sphagnaceae* (i) みづごけ屬 *Sphagnum* ノ諸種ハ山野泥炭地等ノ湿地ニ多ク生ジ群生ス。採リ植物ノ包装用トシテ不可缺ナリ、又乾テ荷佐ノ詰物トス。

第十七門 羊齒植物門 (脈管胞子植物門)

XVII. Phylum Pteridophyta

特徴：— 本門植物ハ明瞭ナル世代交替ヲ爲セテ、両世代ノ生育状態ハ前門ト反対ナリ。即無性代植物ノ生ズル胞子嚚芽スレバ有性代植物ナル前葉体 (前芽体 *Prothallium*) ヲ生ジ、是ニ雌雄生殖器ヲ具有ス。前葉体ハ細小ノ葉状体 (*Thallus*) ニテ雌雄胚胎ヲ遊レバ死滅スル短命者ナリ。「然ニ受胎セル卵細胞ヨリ生育スル無性代植物ハ明ニ真正ノ根ト幹莖及葉ヲ具ヘ、完全ナル莖葉体 (*Cormus*) ヲ成ス。解剖学的構造モ顕花植物ト同様3種ノ組織系ヲ完備ス。此者ハ數年〜數十年間生活シ、毎毎年胞子ヲ形成スル他、出芽・分株

等ニ依リ蕃殖ス。本門ハ種子 (顕花) 植物門ト共ニ脈管植物 (*Gefässpflanzen*) ノ族アリテ兩者ハ系統的ニ類縁關係淺カラザルモノアリ。

前葉体ハ細小・扁平・葉状・綠色・下方ニ假根ヲ生シ・表面ニ蒸孔器ト藏卵器トヲ生ズ、甲ハ球形又半楕円形ヲ呈シ露出或嵌在ス、内ニ ∞ ノ精子 (概 ∞ ノ有纖毛) ヲ生ズ。乙ハ徳利状ニテ頸部ト胴部ヨリ成リ胴部ハ嵌没ス。2ヶノ溝細胞アリ。雌器成熟スレバ其分泌スル杯柄酸液ノ化学的刺戟ニ依リ精子ハ頸口ヨリ誘導セラレ卵細胞ヲ受胎セシム。次ニ分裂ヲ起シ芽嚚ハ發育シテ羊齒 (無性代) ノ形態ヲ出現ス。

本門中水生羊齒豆目・いはひば科・水韭綱ノ3類ハ無性代植物ヨリ大小2種ノ胞子ヲ生ズ。而シテ大胞子 (大芽胞) *Macrospore* ヲリハ藏卵器ノミヲ有スル雌性前葉体ヲ生ジ、小胞子 (小芽胞) *Microspore* ヲリハ藏精器ノミヲ有スル雄性前葉体ヲ生ズルモノナリ。

分類：— 現生羊齒植物門ヲ次ノ5綱ニ大別シ、各綱ヲ更ニ目・豆目科等ニ分類スルコト次ノ如シ。

但シ本書ニハ藥用又応用關係アル科 (*Familia*) ノミヲ記述シ他ハ本書ノ性質上省略ス。

○ 5綱ノ檢索表 (及綱中1科ノミノ科ノ檢索)

根葉ハ良好發育、莖ニ比シ大形幼時擬盤状・囊腔 (不葉群) ハ葉裏ニ粗ハ密着生、葉ハ子囊穗 (花穗) ヲ形成セズ、精虫ハ ∞ ノ纖毛ヲ有ス ----- 第一綱 羊齒綱 *Filicales*

葉ハ不盤旋状、莖ニ比シ小又大精虫ノ織毛ハ2又∞……1

1 実葉ハ子囊穗ヲ形成シ、葉ハ莖ニ比シ頗小形也……2

1 実葉ハ子囊穗ヲ形成セス、葉ハ莖ニ比シ極大又極小鱗片状

……3

莖ハ明節ヲ有シ、各節ニ微小葉輪生、実葉ハ扇形囊堆ヲ作り、
精虫ハ∞ノ織毛ヲ有ス

第二綱 木賊綱 Equisetales

2 次ノ1科アルノミ Fam. (i) とくさ科 Equisetaceae

莖ニ明節ナク、葉ハ螺旋状配列、子囊ハ1室ニテ葉ノ上面基
部又葉腋ニ單生ス、精虫ハ2ヶノ織毛ヲ有ス

第三綱 石松類 Lycopodiales

実葉ハ根上部ニ生シ微小、其上面ニ稍大形ノ2又3室性ノ
子囊ヲ有ス、胞子ハ皆同形精虫ハ2ヶノ織毛ヲ有ス根無
ク根莖是ニ代ル

第四綱 松葉樹綱 Psilotales

3 次ノ1科アルノミ Fam. (i) まつばらん科 Psilotaceae

莖ハ短太塊莖状；実葉裸葉共同形頗細長大莖ニ露生ス、小
舌ヲ具フ、子囊ハ葉ノ基部ニ單生シ、胞子ニハ大小ノ別アリ、
精虫ハ∞ノ織毛ヲ有ス 水中生也。

第五綱 水韭綱 Isoetales

次ノ1科アルノミ Fam. (i) みづゐら科 Isoetaceae

○ 目及亜目ノ検索表(羊歯綱ノ)

A₁子囊ハ大形、囊壁ハ数層ノ細胞ヨリ成リ、其ノ發生ハ数回、葉

表皮細胞ニ四角シ(薄葉)厚皮ナリ。子囊ハ∞(1500~
7500個)ノ胞子ヲ容ル。

B₁小形ノ \odot 。葉ハ2分化シ甲ハ常形ノ管葉(裸葉)、乙ハ細
長ノ花穂状部ニ大形ノ子囊ヲ列生ス

第二目 はなやすり(瓶爾小草)目

Ophioglossales

次ノ1科アルノミ Fam. (ii) はなやすり科 Ophioglossaceae

B₂大形ノ \odot 。葉基脚ニ1對ノ花葉アリ、子囊ハ葉裏ニ生シ稍
小形、數個連合シテ囊堆ヲ成ス

第三目 リンぱんたい(観音座蓮)目

Marattiales

次ノ1科アルノミ Fam. (i) リンぱんたい科 Marattiaceae

A₂子囊ハ小形、囊壁ハ1層ノ細胞ヨリ成リ其發生ハ1ヶノ葉
表皮細胞ニ凹入シ(小囊)薄皮ナリ。子囊、少数(64又48稀16。
24, 250, 500)ノ胞子ヲ容ル

第一目 小囊(薄皮子囊)羊歯目 Filicales

leptosporangiateae

B₁子囊ハ葉裏ニ生シ、概群子囊堆ヲ成シ、胞子ハ1種ニシ
テ等形ナリ。植物体始終テ陸上生也

第一亜目 真正羊歯亜目 Eufilicinae

B₂囊果(苞果)ハ葉腋又葉柄脚ニ生シ、大胞(子)囊果ト小胞(子)囊
果ノ別アリ、甲ニハ1~數ヶノ大胞子囊ヲ有シハ∞ノ小
胞子囊ヲ生ジ、胞子ニ大小2種ノ別アリ。植物体ハ總テ

水中生セリ 第二亜目、水生羊歯亜目 *Hydropteridineae*

科ノ検索表 (次ノ3項ニカッ)

① 真正羊歯亜目 (*Eufilicineae*) 科ノ検索表

- 水生①; 子嚢ハ球形、葉裏脈上ニ散生シ、養殖ヲ不作、卷曲葉縁ニテ被ハレ、包膜ヲ缺ク、彈環(環帶)ハ完又不完縱走
----- *Fam. (vii)* みづわらび科 *Parkeriaceae*
水生植物ニ非ズ、陸上生 ----- 1
- 1 { 概巨大ナル直立木質莖太キ匍節莖; 子嚢ハ無柄包膜アリ又無シ、彈環(環帶)ハ斜走完全; 葉ハ類大形、有氣孔
----- *Fam. (viii)* へご科 *Cyatheaceae*
細キ又稍大キ地下莖ノミニテ、直立木質莖ヲ有セズ ----- 2
- 2 { 子嚢ニ明瞭彈環(環帶)ナク、其頂部ニ厚膜細胞ノ1群アリ
子嚢柄ハ短太ナリ -----
----- *Fam. (ix)* せんまい科 *Osmundaceae*
子嚢ハ彈性アル厚膜ノ単列細胞帯即彈環(環帶)ヲ有ス ----- 3
- 3 { 子嚢ハ其頂部ニ完全ナル層狀環帶ヲ冠シ、1側ニ葉ヲ縱裂ス、概蔓性草本稀直生 ----- *Fam. (viii)* つるしのぶ(つるしだ)科 *Schizaeaceae*
彈環(環帶)ハ子嚢ノ1端ニ帽狀ヲナサズ ----- 4
- 4 { 葉ハ叉状ニ分岐シ、分岐点ニ生芽; 子嚢ハ無柄、環帶ハ完全ニ横行; 養殖ハ2~8ヶノ子嚢ヨリ成ル -----
----- *Fam. (vii)* うらじろ科 *Gleicheniaceae*

{ 葉又葉柄ハ蕪芽、若芽、場合ハ葉ハ又分裂セズ ----- 5

- 5 { 環帶ハ横行又斜行シ完全ニ子嚢ヲ包圍ス、子嚢ハ無柄又短柄、葉ハ小形、薄質、纖弱羊歯ナリ ----- *Fam. (iii)* こけしのぶ科 *Hymenophyllaceae*
子嚢ハ有柄、柄ハ2~4列、細胞ヨリ成ル、環帶ハ縱走不完全、全環、包膜(被包)ハ之ヲ有シ又無セズ ----- *Fam. (v)* うらぼし科 *Polypodiaceae*

② 水生羊歯亜目 (*Hydropteridineae*) 科ノ検索表

- { 子嚢群ハ2~∞宛、囊果(苞果)内ニ隱在シ、各子嚢群ハ大孢子嚢及小孢子嚢ヲ混交ス ----- *Fam. (x)* でんじさう科 *Marsiliaceae*
大孢子嚢ト小孢子嚢トハ別々ニ集合(子嚢群)シ、各囊果(苞果)内ニ隱在ス ----- *Fam. (xi)* さんせつも科 *Salviniaceae*

③ 石松綱 (*Lycopodiales*) ノ目及科ノ検索表

- { 孢子ニ大小ノ別無ク、葉ハ上面ニ小舌ヲ有セズ -----
----- 第一目 無舌石松目 *Lycopodiales Eligulatae*
次ノ1科アルノミ ----- *Fam. (i)* ひかげのかづら科 *Lycopodiaceae*
孢子ニ大小(大孢子、小孢子)ノ別アリ、葉ハ上面ニ小舌ヲ有ス ----- 第二目 有舌石松目 *Lycopodiales ligulatae*
次ノ1科アルノミ ----- *Fam. (ii)* いはひば科 *Selaginellaceae*

第一綱 羊齒綱 Filicales

Fam. (iii) はなやすり (瓶爾小草) 科 *Ophioglossaceae* (1) はなやすり (瓶爾小草) *Ophioglossum vulgatum* L. 一名こはなやすり、おほはなやすり、全草ヲ悉瘡劑又癩癩藥ニ煎用ス。南千・北本・四九・小笠原島ニ産シ。山麓半蔭地等ニ点生稀少。
(2) ふゆのはなわらび *Botrychium ternatum* Sw. 一名はなわらび、はるのはなわらび、莖根ヲ冷腹ノ痛ニ及下痢止藥ニ煎服ス。民：婦人病 (腰痛・腹痛) 藥トス。北本・四九・琉台ノ山地・山原ノ半陽地ニ生ジ点生稀少。

Fam. (iv) ヘデ (杉蕨) 科 *Cyatheaceae* (1) ひかげヘデ (めへぞ・かくれヘデ) *Alsophila Ogurae* Hayata ハ小笠原島ノ山地生。木部ヲ細切清洗シ、麝香ニチ炒リ後煎服スレバ血液循環ヲ促進シ咳嗽ヲ止ム。(2) まるはち *A. Martensiana* Kunge 一名じやばく、小笠原産ノ木生羊齒葉痕、ハ字ヨリ丸ハト云フ。成柱・花瓶トス。(3) たかわらび (ひつじレダ) *Cibotium Barometz* Sm. 小笠原・琉台ノ山野生。莖ノ基部ヲ腎臟病・腫濕及瘰癧ノ疼痛ニ煎服ス。(4) おにへぞ (ヘデ) *Cyathea boninsimensis* Copel. ハ丈、小笠原・九・琉等ニ産スル喬木羊齒。材ヲ門柱トシ又短切シ中ヲ四メ植鉢又檀金トス、風種也。

Fam. (v) うらぼレ (瓦葺) 科 *Polypodiaceae* (1) はこねレダ (はこねさう) *Adiantum monochlamys* Eat. 生藥名ヲ石長生、*Herba Adianti* ト称シ、本州 (中南部)・四九ノ山地ノ蔭又半

陰地ニ簇生。成介未詳。漢：利尿・祛痰・婦人病 (通經・産前産後ノ病) 藥トス、煎服又熏燒トス、惡瘡大熱ニ効アリ、又疥癬ヲ洗フニ用フ。(2) ほうらいレダ (鉄線草) *A. Capillas-Veneris* L. ハハ丈高、九・琉台ノ山中陰地ニ産シ。苦味質、精油・鞣酸ヲ含有シ、全草ヲ祛痰藥ニ煎用ス。(3) はんげつ・くじやく *A. lunulatum* Burm. ハ台湾ノ山地ニ産シ葉ヲ搗碎シ及傷ノ局部ニ貼用ス。(4) ほくと・あみレダ *Tectaria subtriphylla* Copel (= *Aspidium hokutoense* Hayata) ハ台湾産。全草ヲ煎服シテ風熱及寒胃ヲ治ス。(5) ひりゆうレダ *Blechnum Orientale* L. ハ九 (大島・屋久島)・琉台・小笠原島産。嫩芽ヲ搗碎シ腫物ニ貼用ス。(6) ひとつば (いはがレハ、石葺) *Cyclophorus lingua* Desr. ハ本 (中南部)・四九・琉台ノ山地岩面又樹上ニ産ス。葉ヲ細切シ煎服スレバ腫物・淋病・赤尿ヲ治シ・止血・利尿藥 (膀胱カタル) 精氣ヲ益スル効アリ。(7) ひとつば・まめづた (ひめひとつば) *C. adnascens* Desr. ハ台湾ノ山野樹上又岩上生。葉ヲ揉ミ液トシ塗沫シ熱ヲ去リ火傷ヲ治ス。又煎服シテ神經痛・リウマチスヲ治ス。(8) やぶそてつ (貫衆) *Cyrtomium Fortunei* F. Sm. ハ本・四九・琉台・小笠原ノ山地産。生藥 *Rhizoma Cyrtomii* ハ葉基及根莖ヲ採乾セシモノ、煎服シテ止血 (切創・腸出血・衄血) 藥及驅虫藥 (腸内) トス。全屬ノ他種モ同効アリ。(9) くはレレダ (ゆのをレダ) *Diplazium esculentum* Sw. ハ九 (大島・台)ニ産シ嫩葉ヲ煮食シ解熱及去積ノ効アリ。
○ (10) めんま (綿馬) *Dryopteris Filix mas* Schott. ハ歐洲産

根莖ヲ綿馬根 *Rhizoma Filicis* (生薬ト称シ; *Filmaron* $C_{47}H_{54}O_{16}$ (最強有効成分), *Filicin* (= *Filixsäure* 綿馬酸) $C_{32}H_{32}O_{12}$, *Aspidinol* $C_{22}H_{16}O_4$, *Albaspidin* $C_{25}H_{32}O_8$, *Aspidin* $C_{23}H_{32}O_7$, 綿馬鞣酸樹脂, 香氣峻烈ノ精油 (大ニ驅虫ニ興ル) 等ヲ含有シ, 局方(エーテル製綿馬エキス)薬ノ十二指腸虫及線虫驅除劑 (粉末・銜劑・振盪混和劑トシテモ)ニ費用ス。新薬ニ *フィルマロン* 油(三共), *トリトール* (ヘルフェルベルグ) 等アリ。(11) *ミヤマノ* (みやまの) *D. crassirhizoma* Nakai ハ南千・北・本四ニ産シ棒状ニ其変種からふ *めんま* var. *setosa* Miyabe et Kudo ヲ産シ裂齒状ヲ異ニス。共ニ *めんま*ニ近似スルモ葉柄脚ノ鱗片ハ全縁ナリ、而テ *めんま*ノハ細齒縁ニシテ基部ニ腺毛アリ。成分ハ *めんま*ニ近似シ *Filicin*ノ結晶モ得ベシ。綿馬ト同効アリ。(12) *くまわらび* *D. lacera* O. Kuntze ハ本四九ニ産シ綿馬酸ヲ含有シ、驅虫薬(全上ノ虫)トシテ綿馬根ニ代用ス。又莖葉ノ煎汁ヲ口中含嗽劑トス。(13) *いぬがんそく* (おほくさぞてつ) *Matteuccia orientalis* Trev. ハ南千・北・本四九ニ産シ、宗定氏ハ其根莖ヨリ *matteucinol* ヲ得、藤瀬氏ハ更ニ *Desmethoxy matteucinol* ヲ得各構造式ヲ定メタリ。薬効未詳。(14) *たましだ* *Nephrolepis cordifolia* Presl ハ本(中南部)・四九・琉各ノ海辺ニ産シ、根塊ヲ解熱薬トス。(15) *ほらしのぶ* *Stenoloma chusana* Ching var. *tenuifolia* Nemoto ハ本(中南部)・四九・琉各ノ山陽地ニ生ジ、莖葉ヲ茶劑ニ煎服シ暑

熱ヲ治シ、又下痢止トス。

(16) *たかさご-さじのを* (わんかんやませてつ) (鳳尾草) *Plagiogyria adnata* Bedd. ハ名瀉産。根莖ヲ炒リ新トシ婦人崩血ヲ治シ、酢ニテ飲ミ血塊ノ流出ヲ防グ。其焙乾ハ生油ニテ解キ白朮ニ貼布シテ有効。近似種ナル *さじのを* しだ、おほくさじのを 等ハ研究未詳。(17) *のさしのぶ* (やつめらん尾草)

Lepisorus Thunbergianus Ching ハ本(中南部)・四九・琉各ノ山地・山麓ノ樹上又岩上・崖側等ニ生ジ、葉ヲ風邪・淋病・疝氣ノ薬トシテ煎服ス。(18) *おほくさしのぶ* (金石草) *L. oligolepidus* Ching ハ名瀉産、葉及根莖ヲ煎服スレバ淋病ヲ治ス。

(19) *みつでつらほれ* (金雞脚) *Phymatosis hastata* Kitagawa ハ本四九・琉各ノ山地ニ生ジ、葉ニ *Cumarin* (芳香性)ヲ含有シ、熱病及淋病ヲ治ス。(20) *かほわらび* *Polystichum amabile* J.S.M. ハ本(中南部)・九ニ産シ、全草煎汁ヲ含嗽劑トス。(21) *わらび* (蕨) *Pteridium aquilinum* Kuhn (おがみわらび、わらび、*W. japonicum* Nakai, りんごいわらび *lanuginosum* Hook. ヲ含ム) ハ棒・南千・北・本四九各ノ山野陽〜半陽地ニ生ズ。根莖ニ腺澱粉・*Adenin*・*pentosan*・*Ergosterin* 等ヲ含有シ、若葉及根ヲ食ベ脱肛ヲ治シ、煎用セバ驅虫・利尿・解熱(持高熱)ノ効大也。尚煎汁ヲ塗布シリウマチスヲ治ス。全草乾貯3年ヲ経テ黒燒トシ酢ニテ飲メバ脚氣ヲ治ス。山野ヲ焼ベ將ニ早霜ヲ生ズ、煮食シ又乾貯フ、長ジテ葉柄 1m 内外トナル、老若ヲ蕨箸トシ中若ヲ敲テ蕨繩ヲ造ル、秋冬ニ根莖ヲ掘リ蕨(測粉)ヲ製

シわらび餅ヲ作ル美味ナリ。蕨粉ヲ煉リ糊液ニテ緩メ、雨衣・傘・提燈・竹籠・木及栴ノ細工物ヲ張り又糊付スルニ粘着力長ニ及ブモノナシ、磐石糊ト称スルモノ是也。(22)ほこしだ(あざののもとさう) *Pteris ensiformis* Burm. ハ琉・各ニ産シ全草ヲ煎服スレバ解熱劑トナル即チ感冒・マラリヤ・赤痢・下痢・淋病等ヲ治ス。

Fam. (Vi) みづわらび科 *Parkeriaceae* (1) みづわらび(水蕨), みづにんじん, みづぼうふう *Ceratopteris thalictoroides* Brongn. ハ本(中南部)九・琉・各ニ産シ莖葉ヲ煎服シテ胎毒ヲ治スベシ。

Fam. (Vii) うらじろ(裏白)科 *Gleicheniaceae* (1) うらじろ(裏白又極注草) *Dicranopteris glauca* Nakai. ハ本(中南部)四・九・琉・各ニ産シ、正月ノ節リニ用ユ。

Fam. (Viii) つるしのぶ(かにかくさ・ふさレだ)科 (1) かにかくさ(つるしのぶ, 海金沙) *Lygodium japonicum* Sw. ハ本(中南部)四・九・琉・各ニ産ス。生薬ノ海金沙ハ其子葉及胞子ヲ採集セルヲ云フ、黄色粉末也、是ヲ煎服シテ鎮靜藥及利尿(淋病, 膀胱カタル)藥トス。

Fam. (ix) ぜんまい科 *Osmundaceae* (1) ぜんまい(鐵狗脊) *Osmunda japonica* Thunb. ハ北・本・四・九・各ニ産シ山林原野ノ稍溼地ニ生ズ。根莖ハ澱粉ヲ含有シ利尿藥強壯劑トナル。根葉ヲ煎服シ水腫・淋病・脚氣ヲ治ス、又腰膝ノ痛處ニ塗布シ又温巻法シテ有効。実葉ノ裂片部ヲ止血藥トス。嫩葉

ハ多量ノ蛋白質・炭水化物ヲ含ミ食用トシ、又乾野フ。根莖ヨリ澱粉ヲ製スベシ。

Fam. (x) でんじさう(蘋)科 *Marsiliaceae* (1) でんじさう(四字車・蘋) *Marsilia quadrifolia* L. ハ本・四・九・各ニ産シ、葉ヲ碎キ眼瞼上ノ腫物ニ貼用シテ治ス。

第二綱 木賊綱 *Equisetales*

Fam. (i) とくさ(木賊)科 *Equisetaceae* (1) とくさ(木賊) *Equisetum hyemale* L. var. *japonicum* Milde. ハ樺・千・北・本(北・中部)ノ山野河岸陰地ニ群生ス。生薬ノ木賊(*Herba Equiseti*)ハ多量ノ無水硅酸 SiO_2 ヲ含有シ体ニ強固性ヲ共ヘ、他ニ過基 *Equisetin* ヲ含有ス。漢: 利尿藥、亮汗藥、脈疾藥、收斂(腸出血・痔出血)藥ニ煎用ス。又月經過多・下痢・水腫ニ煎服ス。多量ニ内服又食(家畜)セバ中毒ヲ起シ、腰膝・下痢ヲ来シ、乳牛ハ脱肉シ乳汁ハ減量又遏止スト云フ。嫩莖ハ爪磨、木杖骨角等ノ研磨ニ重用セラレ工匠必須品タリ、故磁草ノ称アリ。庭前石際ニ植テ觀賞ス、佳致アリテ上品也。(2) みづすぎな(みづどくさ) *E. limosum* L. var. *verticillatum* Doell. ハ樺・千・北・本(北・中部)ノ山門濕原又泥炭濕原ニ群生ス。莖葉ノ煎汁ヲ利尿劑(水腫)トス、但多服シテ血尿ヲ誘セン例アリ。(3) みづどくさ(やまどくさ) *E. limosum* L. var. *aphyllum* Roth. ハ産地全一。但シ莖ハ無枝又殆無枝也。効用全一。(4) たいわん-いぬとくさ(接骨蕨) *E. debile* Roxb. ハ台湾ニ産シ、莖根ヲ煎服スレバ貧血症、眼病・淋病ニ有効。(5) すぎな

(問荊筆頭菜) *E. arvense* L. ハ樺子・北本・四九ニ産シ。実莖ヲつくレト言フ。多量ノ珪酸 SiO_2 , *Phytosterol*, *Equisetonin* (サポニン), *Equisetin* (アルカロイド) 脂肪等ヲ含有ス。丙ハ加水分解ニヨリ *Equisetogemin*、果糖及アラビノーゼヲ生成ス。民: 全草ヲ煎服シ利尿薬トス。つくレハ春食用トス。すきなノ嫩莖葉ヲ煮熟シホ麦ニ交ヘ敷民ノ米良トス。(6) いぬすぎな (ぬまどくさ) *E. palustre* L. ハ樺子・北本・四九ニ産シ、全草ヲ前全様ニ用フルコトアルモ善性強ク使用ニハ一工夫ヲ要ス、尙不堪使用。

第三綱 石松綱 *Lycopodiales*

Fam. (i) ひかげのかづら (石松) 科 *Lycopodiaceae*

(1) ひかげのかづら (かみだすき石松) *Lycopodium clavatum* L. ハ樺子・北本・四九台ニ産ス。生薬ノ石松子 (*Lycopodium*) ハ本種及全属諸種ノ孢子ヲ採集セルモノニテ淡黄色ノ粉末也。石松子ハ湿氣ヲ吸收セス且ツ外氣ノ侵襲ニ抗スル性アル故、丸薬ニ散布シ丸衣ニ賞用ス。皮膚ノ癬爛部ヲ治スル爲ニ散布ス。民: 脚氣薬・咳嗽薬トス。孢子ハ50%内外ノ脂肪油ヲ含有シ、其80~86%ハ石松子油酸 *Lycopodiumsäure* ナリ、又莖ニハ *Lycopodin* $\text{C}_{32}\text{H}_{52}\text{N}_2\text{O}_3$ ナル *Alkaloid* ヲ含ム。孢子ノ内膜ハセルローゼ、他 *Sporonin* $\text{C}_{90}\text{H}_{127}\text{O}_{12}(\text{OH})_5$ ヲ23%ヲ含有ス。(2) あすひかづら *L. complanatum* L. (3) まんねんすぎ *L. obscurum* L. (4) みづすぎ *L. cernuum* L. (5) ちしまたすぎらん *L. selago* L. (6) す

きかづら *L. Annotium* L. (7) ちんかくらん *L. subdistichum* Makino (8) とうげれば *L. serratum* Thunb. 等ハ其孢子ヲ石松子ニ代用シ得ベシ。たうげればハ蛇足草ト称シ4葉種ヲ含ミ、全草ヲ煎用スレバ月経不順ニ有効、亦打撲傷ヲ悉法ス。

Fam. (ii) いはひば (巻柏) 科 *Selaginellaceae*

(1) いはひば (いはまっ巻柏) *Selaginella involvens* Spring ハ北本・四九・琉台ノ山地岩壁上ニ着生ス。全草ヲ煎服スレバ下血ニ効アリ又脱肛薬トス。葉ヲ焼テ灰トシ茶油ニテ揉リ小児ノ腸膜炎ヲ治シ、葉ヲ煎服シテ婦人病ヲ治シ、又外傷ヲ治ス。庭園ノ石櫛ノ間ニ植エ又ハ盆栽トシテ觀賞ス。

(2) かたひば (ひめひば九州巻柏) *S. Caulescens* Spring ハ本(中南部)・九琉台ノ山地岩石上ニ生ジ、莖葉ヲ通經薬トシテ煎服ス。

第四綱 松葉蘭綱 *Psilotales*

Fam. (i) まつばらん (松葉蘭) 科 *Psilotaceae*

(1) まつばらん (ちくらん、ははきらん、松葉蘭) *psilotum nudum* Beauv. ハ本(中南部)・四九琉台ノ岩壁又樹上ニ生ジ、形態奇異ナルヲ以テ古来盆栽トシテ觀賞ス、産品多シ。松葉蘭譜ニ詳カ也。

第二部 種子(顯花)植物部

II. Divisio SPERMOPHYTA (Phanerogamae)

種子(顯花)植物 Spermophyta ヲ一名管精有胚植物 Embryophyta siphonogama ト稱シ、羊齒植物門 (Pteridophyta) 及苔蘚植物門 (Bryophyta) ヲ併合シテ無管有胚植物 Embryophyta asiphonogama 又ハ有頸雌器植物 Archegoniae ト稱スルコトアリ。

種子(顯花)植物部ノ2大別ノ檢索表

- 雌蕊(心皮)ハ閉鎖シテ子房ヲ造リ、卵子ハ心皮ニ被ハレ子房室内ニ隱在ス
- 第十九門 被子植物門 Angiospermae
- 雌蕊(心皮)ハ開放シテ子房ヲ造ラズ、故卵子ハ心皮上ニ裸出ス
- 第十八門 裸子植物門 Gymnospermae

第十八門 裸子植物門(裸子類)

XVIII. Phylum Gymnospermae

特徴:—本門ハ羊齒植物門ト形態及類縁ニ於テ相近似シ世代交替ノ状態生殖器(花即卵子葉托)ノ構造(木賊綱及石松綱ニハ既ニ花ノ初期構造ヲ見ル、花被又苞葉ヲ有スル子囊隱在也)等ヨリ莖葉ノ解剖的構造ニ至ル迄共通点不尠。其無性代(2x代、造胞体時代)ハ大形ニシテ根幹莖葉ヲ具有ス。花器ハ基軸ニ實葉即果葉(心皮)一名大胞子葉ト小胞子葉即

雄蕊ヲ着生シ稀花被アリ、胞子ニ大小ノ別アリ、而シテ(♀♂)又♀♂ナリ。實葉上ニ生ズル卵子ノ珠心ハ大胞子囊ニ當リ、珠心中ノ胚囊ハ大胞子ニ相當ス。而テ約(粉囊)ハ小胞子囊ニ花粉ハ小胞子ニ相當ス。

有性代植物(配偶体時代)即前葉体ハ地上ニ独立生活セズ、無性代植物ノ花器中ニ寄據ス。即雌性前葉体ハ大胞子即胚囊内ニ發育シ2~數箇ノ稀ニ1又∞ノ藏卵器ヲ生ズ。藏卵器ハ羊齒類ニ比シテ退化シ卵細胞ト數ヶノ頸細胞ヲ有スルノミ。而テ藏卵器口周ノ胚乳(組織)ハ雌性前葉体ノ實體ニシテ胚囊(初/ケノ大細胞)内ニアリ。小胞子(花粉)ハ風媒ニヨリ珠心頭又花粉室中ニ飛来シ、花粉管ヲ卷シ、其中ニ2ヶノ雄精細胞又運動スル有纖毛ノ精虫(精子)ニ依テ卵細胞ヲ受胎セシム。受胎セル卵細胞ハ胚乳組織中ニ於テ胚(Embryo)ニ發育ス居ス、而シテ受胎ノ終了ト共ニ卵子ハ生長ヲ初メ1層ノ卵膜ハ種皮トナリ茲ニ胚乳種皮ヲ具備スル種子(Seed, Samen)ヲ形成ス。種子ハ果葉上ニアリテ裸出ス。小胞子ニ於テハ卷芽スルマ3~4ヶノ細胞ニ分裂シ退化セル雄性原葉体細胞(營養細胞)・雄精細胞・花粉管細胞等ヨリ成レ。

次ニ種子植物及羊齒植物ノ生殖器ノ各部相当者ヲ比較表示スベシ。

種子(頭花)植物 Spermophyta	羊齒植物 Pteridophyta
花被 Perianth (perianth (-ium))	花被(稀ニアリ, 概無シ)
雄蕊 Stamen (Andröceum)	小孢子葉 (Microsporophyll. 全)
葯(葯囊) Anther (Anthere)	小孢子囊 (Microsporangium, 全)
花粉 Pollen (Pollen)	小孢子 (Microspore, Mikrosporen)
雌蕊 Pistil (Gynöceum)	大孢子葉 (Macrosporophyll. 全)
卵子(胚珠) Ovule (Eichen)	囊堆又囊胞果 (Sorus, Sporocarp)
珠被(皮) (卵膜) Integument (Integument)	包膜(包被) Indusium, 全)
(胚珠心) Nucellus, Nuzellus	大孢子囊 (macrosporangium, 全)
胚囊 Embryo sac, -sack	大孢子 (macrospore, -rem)

分類: — 木門ノ現世種ヲ次ノ4綱ニ分チ, 各綱ニ1~∞ノ科ヲ隸屬セシム。其特徴及檢索表ハ如次。

○ 裸子植物門ノ4綱3科 (但除松柏類)ノ檢索表

- 1 { 葉ハ大ナル羽狀複葉, 莖ハ柱狀又塊狀, 心皮ハ羽深裂, 雄蕊ハ鱗片狀或桶狀ナリ。-----
 ----- 第一綱 蘇鉄綱 Cycadales
 次ノ1科アルノミ Fam. (i) ぞてつ科 Cycadaceae
 葉ハ羽狀複生ナラズ, 心皮ハ羽心製セズ ----- 1
- 1 { 葉ハ扇形又淺裂, 心皮ハ2箇双接, 各1卵子, 雄蕊ハ各2ヶノ葯胞ヲ有ス -----
 ----- 第二綱 公孫樹綱 Ginkgoales
 次ノ1科アルノミ Fam. (ii) いてふ科 Ginkgoaceae
 葉ハ扇形ナラズ ----- 2
- 2 { 莖幹ノ後生木質部ハ無導管, 花ハ無花被又鱗葉化, 葉ハ針形・線形・鱗形・稀披針形・橢圓形・卵形ヲナシ, 互生・對生又輪生ナリ ----- 第三綱 松柏(隱果植物)綱 Coniferae
 2 { 莖幹ノ後生木質部ニ導管アリ, 花ハ有花被, 葉ハ對生シ鱗片狀又極大形帶狀ヲナス -----
 ----- 第四綱 蘇黃綱 Gnetales
 東亞ニ次ノ1科ヲ有ス Fam. () まわう科 Gnetaceae

第一綱 蘇鉄綱 Cycadales

Fam. (i) ぞてつ(蘇鉄)科 Cycadaceae

形質 — 常緑又落葉。幹ハ塊狀又円柱狀, 無分枝或少分枝, 第二期木部ハ導管缺如。葉ハ2形, 甲ハ小形褐色鱗片狀, 密幹

上ヲ被覆；乙ハ大形羽狀複生，革質，常緑，幹頂ニ簇出葉冠ヲ形成ス。花ハ幹枝ニ頂生，毳叢狀，♀♂，各∞，A及Gヨリ成ル，無花被（裸花）；♀ハ∞ノ羽狀果葉（大孢子葉）ヨリ成リ，各心皮ハ左右各一個又2~4個ノ卵子ヲ帶有ス；♂ハ∞ノ鱗狀又楯狀A葉（小芽胞葉）ヨリ成リ，下面ニ∞ノ葯（孢子囊）ヲ着生ス。花粉管内2精虫ヲ生ズ。子葉2，稀1~6。

成分 — 本科ニハ種仁ニ配糖体 (Pakocin), 塩基 (Cholin, Trigonellin, Adenin, Histidin, Phytosterin), 林檍酸, 酒石酸, 各種糖類, 脂肪油ヲ; 莖幹ニ澱粉, ホルムアルデヒド, 酒石酸ヲ含有ス。

分布及属種数 — 世界ニ1科9属90種, 日本ノ暖及熱帯ニ2属(1属裁)4種ヲ産ス。

本科ノ薬用植物: —

(1) そてつ (蘇鉄・風尾蕉) *Cycas revoluta* Thunb. 四乳 (鹿児島縣下) 流ニ野生シ, 又一般ニ栽培セラレ。〔生薬〕蘇鉄実又無漏子 *Semen Cycatis* ハ熟種子ニテ赤赤色角質, 滑沢仁ハ帯黄色; 水7.3%, 粗蛋白14%, 粗脂肪8.1%, 粗纖維0.9%, 可溶性無N物67.8%, 灰分1.5%ヲ含有ス; 其中ニ塩基 (コリン, トリゴネリン, アデニン, ヒスチデン), 林檍酸, ホルムアルデヒド, 酒石酸等アリ; 漢: 実ヲ煎服シテ通經藥及收斂藥トシテ婦人病一切及切創ヲ治シ, 又下痢止メトス; 多量ハ中毒ノ恐レアリ, 又実ヲ良ク水洗セザレバ屢中毒ス, 是ホルムアルデヒドニ基クナラン。花葉果ハ中風及淋病ニ用ヒ, 嫩葉ヲ遺毒

ニ又酒粹ヲ覚スニ用フ。民: 不老長生藥, 果仁ハ生食シ, 又澱粉ヲ採リ食ス。又新莖ヲ細切シ臼搗水煎シ, 澱粉ヲ採リセテ餅ヲ造リ食ス。庭植又盆栽トシテ觀賞ス。

(2) たいわん-そてつ *C. taiwaniana* Carr. ニ就テハ藥学的研究ナン。

第二綱 公孫樹綱 Ginkgoales

Fam. (i) いてふ (公孫樹) 科 Ginkgoaceae

形質 — 莖葉高10~50m.内外。幹ハ多分枝, 乳枝ヲ垂下, 長枝短枝ノ別アリ, 第二期木部葉管缺如。葉ハ概扇形稀楔形有長柄, 土2瓣裂, 放射脈, 黄葉ス。花ハ♀♂, 共ニ短枝ノ葉腋ニ發生; ♀ノ卵子ハ直生1~2ヶ宛花軸頂ニ並生, 胚狀心皮ニ半没在; ♂ハ花穂狀, Aハ各2葯ヲ有ス。精虫ヲ生ジテ受精スルコト前綱ト全様, 2卵子並立ノ中概1箇成熟ス種子果ニシテ銀杏ト云フ, 核果狀ナリ。胚乳アリ, 胚ハ2子葉ヲ具フ。

分布及属種数 — 現世1科ノ属1種 生存スルノミ。蓋及那ノ原産ニシテ日本其他東亞ニ栽植ス(現今ハ世界ノ温帯ニ分布セントス)。化石種ハ侏羅紀以後第三紀ニ及ビ種類多シ。

本科ノ薬用植物: — (1) いてふ (公孫樹, 銀杏) *Ginkgo biloba* L. 〔生薬〕銀杏 (白仁・白果) *Semen Ginkgo* ハいてふノ種子ニシテ堅硬種皮ヲ被リ, 淡黄仁ヲ容ル, 質柔軟味緩和油質ナリ; 成分ハ種子乾燥物ハ澱粉67.6%, 蛋白質13.1%, 脂肪2.3%, Pentosan

16%, 灰分 3.4%, 粗纖維 1%, 含有シ; 種子ニハ糖 (主ニ蔗糖) 分 6% 及少量ノヒスチゲンヲ含有ス。果皮・果肉・果汁ニハ *Ginkgolsäure* $C_{20}H_{30}(OH)-COOH$, *Hydroginkgolsäure* $C_{21}H_{32}(OH)-COOH$, *Bilobol* $C_{21}H_{32}(OH)_2$, *Ginnol* $C_{27}H_{55}OH$, アスパラギン, 尿酸等ヲ含有ス。葉ニハ *Ginnol*, *Shikiminsäure* $C_{11}H_{12}O_4$, フラボン透導体 $C_{16}H_{12}O_6$, $C_{23}H_{40}O_4$ 等ヲ含有ス。種子ヲ漢: 鎮咳藥, 祛痰藥, 解毒藥, 發汗藥。

果皮ヲ皮層剝取藥 (搗碎貼布) トス; 成分中 *Bilobol* ハ最強皮膚炎ヲ起シ, ギンゴール酸之ニ亞ギ, ヒドロギンゴール酸ハ起サズト云フ。葉ヲ害虫防止藥トシ衣類又書紙間ニ押ム。材ハ堅固淡黄色, 基板・張板・將棋駒・果板・器具類ヲ造リ; 種仁ハ炊リ又煮テ料理ニ用ユ, 特殊ノ味アリ。行路樹, 庭木又社寺ノ神木トシ特得ノ風致ヲ興フ。果皮ハ有毒ニテ皮膚ニ触レバ発疹又炎症ヲ起ス。

第三綱 松柏 (毬果植物) 綱 *Coniferae*

特徴:— 木ニシテ, 多分枝, 第二期木部導管缺如。葉ハ針形線形又鱗狀稀披針形~長楕円形。花ハ單性, (♀♂) 又♀♂, 常ニ高葉上ニ懸出, 花被 0 又高葉狀, ♀ハ 1 心皮頂生又∞心皮, 卵子ハ 1~∞; ♂ハ A∞, Aハ 2~∞ 葯室。種子ハ 1~2ヶ核果狀ニ成熟又毬果ヲ形成。毬果ハ木質又肉質, 種子ハ有翅又無翅。子葉ハ 2~∞(15), 精虫ヲ生ゼズ。

○松柏綱ノ8科ノ檢索表

A₁ ♀ = 1 又 2ヶノ種子ヲ生ジ核果狀, 心皮又鱗片ハ花後增大セズ, 子葉ハ 2個。

B₁ ♂ハ円筒形葯ハ 2室; ♀ハ 1~數心皮, 各心皮ハ 1 種子套皮ニテ卵子又種子ヲ包ム

----- Fam. (iii) まき科 *Podocarpaceae*

B₂ ♀ハ頂生 1 卵子, 基部ニ數対ノ鱗苞葉アリ; ♂ハ概球形 Aハ 4~8 葯室; 種子ニ子衣アリ

----- Fam. (iii) いちお科 *Taxaceae*

B₃ ♀ハ數対ノ心皮アリ, 各心皮内 2 卵子アリ; ♂ハ概球形 Aハ 3 葯室; 種子ハ 1 ♀中 1~2ヶノニ成熟シ, 核果狀

----- Fam. (iv) いぬがや科 *Cephalotaxaceae*

A₂ ♀ハ∞心皮ヨリ成リ, 熟テ木質毬果又漿質ノ肉毬果トナル。種子ハ果皮内ニアリ,

B₁ 心皮ハ螺旋狀ニ排列ス。

C₁ ♂ハ大形強固ナル葯片螺旋狀ニ装着シ毬花ヲ造ル; 葯ハ各離隔シ, ∞線形ニ下世ス。♀ハ短枝上ニ頂生心皮ハ∞螺旋狀ニ覆瓦シ, 各心皮ハ倒生ノ卵子ヲ有ス。子葉 2ヶ稀 4個

----- Fam. (i) ちんやうすぎ科 *Arucariaceae*

C₂ ♂ハ非毬花狀, 心皮ハ 2~∞ 卵子ヲ有ス。

D₁ 葉ハ針形又線形, 枝ニ間節シ螺旋生ス。葯ハ 2 箇宛花絲果ニ密着ス; 卵子ハ倒生, 2ヶ。∞子葉

Fam. (V) まつ科 *Pinaceae*

D₂ 葉ハ線針形、2葉ノ合着ヨリ成リ、枝ニ輪生ス。卵子ハ7~9、倒生。子葉ハ2箇

Fam. (VI) かやまき科 *Sciadopityoideae*

D₃ 葉ハ棘針形、枝ニ沿着シ螺旋生ス。葯ハ2~9箇、介殼下垂ス。卵子ハ2~9箇、直生~倒生。子葉ハ2~9箇

Fam. (VII) すま科 *Saxodiaceae*

B₂ 心皮ハ交互對生ス。葉ハ鱗狀、交互對生；又短針狀、對生又3葉輪生。Aノ葯片ハ楕形、3~5葯アリ。心皮ハ1~∞、直生、卵子ヲ有ス。子葉ハ2箇

Fam. (VIII) いのき科 *Cupressaceae*Fam. (III) いちい科 *Taxaceae*

形態——常緑又冬落脂道ヲ缺ク。葉ハ針形~線針形螺旋着ナルモ兩側ニ排列ス。花ハ♀♂、♂ハ葉腋ニ單出又小葉裏花序ノAヨリ成立、各Aハ2~3葯胞；♀ハ葉腋ニ短枝トナリ、頂端ニ1卵子(1卵膜)ヲ有シ、其基脚ニ小形ノ子衣ヲ因ス。花脚ハ♂ト共ニ苞鱗葉圍繞ス。種子果ハ石果狀、子衣(Arillus 外卵膜ニ相當)アルハ白狀ニ赤熟シ種核ヲ包ム子葉2箇。

成分——葉及果ニ葑基(Taxin)配糖体(Taxicatin)、其他Taxinin, Raffinose, 蔗糖, Xylan, 脂肪油、揮発油等ナリ。

分布及種屬數——世界ニ3屬15種。日本ニ2屬6種ヲ産シ、邦内ニ分布ス。

木科ノ薬用植物：—

(1) いちい(あららぎ、おんこ、一位、水松) *Taxus cuspidata* S. et G. 樺・南千・北・本・四・丸・各ノ山地ニ点生稀群生ス。〔生薬〕一位葉 *Folium Taxii* ハ Taxin C₃₇H₅₁NO₁₀ 又 NO₂ (無晶アルカロイド)、Taxinin C₃₀H₃₁O₂ 又 H₃₄ ヲ含有ス。民：葉ヲ通経薬利尿薬ニ煎用ス、又糖尿抑制作用(Glykokininノ作用)アル故糖尿薬トス。Taxinノ注射(静脈)ハ血压低下、心臓動緩慢透汗性制止ヲ来ス。材ハ紅赤、緻密、強靱ニシテ建築、木版、器具用、笏(古来位山ノ産有名)、著鉛筆材、櫛、板、箱ヲ造リ；紅果(稀黄果アリ、*luteobaccata* Miyabe et Kudo きみのおんこ、北州ノ産)ヲ食用トス。樹ハ庭園シ觀賞シ又生活用トス。変種ニきやらぼく *var. ambraculifera* Makino アリ。葉ハ短細斜上、非2列生、枝ハ四方ニ派生伏臥性；觀賞用；伯州大山頂附近ニ高木群落、天然紀念物。

(2) せいやういちい *T. baccata* L. ハ歐洲産。成分ハ上記ノ外、葉ニハ Taxicatin (配糖体)ヲ含有シ、驅虫薬トス。

(3) かや(榧) *Torreya nucifera* S. et G. 本(中南部)・四・丸産。〔生薬〕榧実 *Semen Torreyae* ハ肉外皮ヲ除キ内皮殼アル乾物ニテ中国地方ヨリ市賣品ヲ多出ス。実ニ脂肪油(多量)・精油・酸ヲ含有シテニ指腸虫驅除薬トス、新薬 Kayanol (榧、Tropical (更生製薬) 等ハ一位料葉実數出ノ脂肪油ニテ完全上薬ナリ。葉ニ精油(主成分 *l-Limonene* 60%、其他 μ ハン、Pinen, Camphen, ガデネン, Torreyol C₁₅H₂₆O)ヲ含有シ

全上薬トス。又枝葉ヲ煉ヘテ蚊遣ニ用フ。カヤハ蚊遣ノ略ナリ。♂株ハ枝上向、♀株ハ横出下垂、実アリ、種仁ヲ炒リ食シ又種油ヲ搾取シ食用、燈用薬用トス、果ハ大和吉野産有名也。樹ヲ觀賞用トス。材ハ建築用、甚器器具用トス。(4) 菱種多クひだりまきば(近江産) *V. macrosperma* Koidz. (5) つなぎカヤ *V. articulata* Miyoshi (新潟縣、田上村) 等ハ天然記念物トス。

(6) いぬがや(伊那種) *T. curvifolia* H. Koidzumi [長野縣史・各天紀調査報告 XV. P. 269 (1934)] ハ珍種ニシテ枝密出葉彎曲小形; 果ハ5~10箇圓集、小倒卵形、果頂ハ無孔ナリ。

(7) やつぶさカヤ(ハ房種) *T. nucifera* S. et Z. var *glomerata* H. Koidzumi [全上文献, P. 266, (1934)] ハ果ハ枝上ニ3~6箇簇生、種殼面ハ有多縱隆肋、肋線ハ右又左卷又不明ナリ。信州ノ産(栽培、埴科郡、西條村)。

(IV) いぬがや(粗榧)科 *Cephalotaxaceae*

形質——常緑又半常緑、小枝ハ對生。葉ハ線形、羽列表面有中肋、先不刺。♀♂、♂ハ有短梗、腋生球狀花序; Aハ5~12、有花絲3药胞。♀ハ腋生、有短梗、十字交数對ノ果葉(心皮)アリ各2卵子帶有。種子ハ1花序中1~2箇成熟、核果狀、外種皮ハ肉質含樹脂、内皮ハ薄殼狀、子葉2。

成分——果ニ樹脂及脂油(有毒性)ヲ含有ス。

分布及屬種數——世界ニ2屬8種、東亞・東亞・喜馬ニ分布、日本ニ2屬4種ヲ産ス。

本科ノ有用植物:— (1) いぬがや(ハ房種) *Cephalotaxus drupacea* S. et Z. 北本四九産。材ハ器具用。種子(実)ハ秋介後紅熟ス味苦不可食、枝ヨリハ「ほ」油ヲ搾ル、白色不濁系種油ニ和シ燈油トス光明無比。果葉ノ成分及効用未詳ナルモ藥学的研究ヲ要スベシ。

Fam. (V) まつ(松)科 *Pinaceae*

形質——常緑稀落葉性ヲ稀シ。枝ニ長枝短枝ノ別アリ又ナシ。葉ハ針形又線形、 \odot 排列、互生又束生、具樹脂道。花ハ(♀♂)、無花被; ♂ハ穗狀、卵~円筒形、腋生、基部有 ∞ 鱗被(苞葉)、Aハ ∞ 、药胞2、花粉粒ハ概有氣囊; ♀ハ穗狀(花序トモ考ラル)、苞鱗(被鱗)ハ小形、種鱗(実鱗)ハ大形内側ニ位シ、基部ハ苞鱗ニ癒着シ共ニ \odot 配列ス、種鱗内着2卵子、側生シ有單珠皮。種果ハ木質熟テ各果鱗開放シ各2子ヲ飛散ス。種子ハ有翅又無翅。胚ハ2~ ∞ 子葉。

成分——樹脂及揮発油ヲ莖・葉ニ多含スル外、配糖体 (*Pinipikrin, Coniferin, picein*), 有機酸 (環酸・酪酸・酒石酸・林檎酸・琥珀酸・安息香酸・酪酸等), 含水炭素 (*Galactan, Methylpentosan, Arabin, Mannan, Xylan, Mannit, Raffinose, 蔗糖*等), 蛋白質及其分解物 (*Arginin, Histidin, Asparagin, Glutamin, Guanin, Albumin, Pepton Nuclein*等), 其他ノ物質 *Phytosterin, Cholesterin, Cholin, Phytin, Emulsin, Diastase, 鞣酸*等ヲ含有ス。

分布及種屬數——本科ハまつ亞科 *Pinioideae*, もみ亞科

Abietoideae、2 亞科 = 大別シ、畧 15 属 200 餘種ヲ有シ、北半
、熱〜寒帯ニ分布ス。日本ニハまつ亜科ニまつ属 *Pinus*;
もみ亜科ニからまつ属 *Larix*、ひまわりやすき属 *Cedrus*
(哉)、もみ属 *Abies*、とうひ属 *Picea*、つが属 *Tsuga*、とが
さばら属 *Pseudotsuga*、しまもみ属 *Keteleeria*、2 亞科 8
属ヲ産(ス哉)シ、栽培ヲ合セ 8 属 35 種ヲ下ラス。而シテ其分
布ハ熱帯ヨリ寒帯ニ亘リ、特ニ本州ノ赤松林・黒松林(海岸帯)、
本州・樺ニ亘ルもみ属・とうひ属ノ森林ハ廣大ナルモノナリ。

本科ノ薬用及有用植物:—

○(1)あかまつ(めまつ、赤松) *Pinus densiflora* S. et Z.
本四九ノ山野ニ点生又群生シ松林ヲ形成ス。〔生薬〕1. *Tere-*
binthina ハ松幹ニ切傷ヲ附シ滲出ノ液ヲ採集セルモノ也。
淡黄色・粘稠ノ瀝濁液後上層透明下層ニ白色晶性顆粒ヲ析出
ス。芥蒜及苦味アリ。本品ハ松脂 60~80%、松精油 *Serpentin*
(テレピン油) 20~30%、水分 5~10% ヲ含ム; 精油 (α -*Pin-*
en, *Sesquiterpen*)、黒松ノ精油ニ類ス; 松脂ハ精油 2.5~
4.8%、樹脂 88.5~95.9%、雜物 0.3~3.2%、水 0~4.1% ヲ含
リ、*Densipimarsäure* $C_{20}H_{30}O_2$ 、抱水デンスピマール酸
(*-hydrat*) $C_{40}H_{62}O_5$ ヲ含有ス。2. 松脂 (*Resina Pini*)
ハ樹幹滲出液即テレピン・ナーノ凝固セル樹脂ナリ、まつや
ヒト稱シ精製シ薬用トス、特異ノ臭味アリ。

〔薬用〕松脂(局方)ハ皮膚刺戟薬トシ、又松脂硬膏 (*Emplas-*
trum Resina Pini) (局方)ヲ製ス、是ハ保疵薬トシ又創縁

接合劑トス; 其松脂ヨリテレピン・ナー引赤紙・ガンタリス
硬膏・複鉛碇膏(以上局法)等ヲ製ス。テレピン油 *Oleum Tere-*
binthinae (局方)ハ局所刺戟作用アリテ皮膚引赤票(皮膚
及肺ヨリ吸収)トシ外用ス、又煤中毒ノ解毒薬トス。精製テ
レピン油 *O.T. rectificatum* (局方)ハ慢性氣管支炎・膀胱炎ニ
内用(排泄ニ当リ利尿及防腐カヲ現ス)又吸入セシム; 1日
3~4回 5~20滴ヲ氣管枝・慢性胃カタル、膽石・痲痺・蠟膜等
ニ用フ、但シ腎臓炎及急性胃カタルニハ禁忌トス。抱水テレ
ピン(局方) *Terpinum hydratum* ハ祛痰薬トス、又氣管枝炎
及全膿瀦ニ薬用ス。Colophonium (局方)ハテレピン油製造
残渣ヨリ取ル、氣管枝炎ノ内服薬トス。

其他製品木タール、木タール軟膏、タールパスタ、強香泡軟膏、
バチリ軟膏、ウヰルキンソン軟膏アリ。新薬ニテルビヒン(三
共)、クリオピン(武田)、テルケメン(小島)等アリ。

〔其他ノ用途〕材ハ用途多ク、船舶橋梁・建築材・炭・薪・炭(松炭)ト
ス、材ノ水中ニ在ルマ數百年ヲ経テ不朽ナリ。林中ニまつ
ビヲ生ズ。テレピン油ハペイント(ペンキ)及假漆(フェス)ノ
溶濟トシ、又 *Pinen* 含有ニヨリ合成樟腦ノ原料トス。コロ
ホニウムハ假漆製造ニ多費ス。

〔備考〕前記 1. 2. 生薬ハ日本ハあかまつ及くろまつヲ用ヒ
佛ハ *P. pinaster Soland* ヲ北ホハ *p. australis Mich.* 及
P. taeda L. ヲ用フ。

() (2)くろまつ(をまつ黒松) *P. Thunbergii* parl 本四九

ノ海岸附近ニ分布ス。黒松ノ松精油ハ α -pinen (略70%)
及右旋性セスキテルペン *Sesquiterpen* (略16%)ヲ含有ス。
黒松脂ハ *japopinolsäure* $C_{17}H_{26}O_2$ (晶性), *japoinolsäure* $C_{14}H_{20}O_2$ (無晶形), 及 *japopininsäure* $C_{14}H_{22}O_2$
(固)ヨリ成ル, 又 *pinabietinsäure* $C_{20}H_{30}O_2$ ヲ含ムト云フ。
葉ハ *vitamin A*, ステリン, セリルアルコール, 蠟等ヲ含有ス。
[薬効] ハ赤松ト全様ナリ。世上「松葉食」ト称シ赤松葉ト共
ニ生食スレバ強壯補精薬ナリト言フ, 此後ノ精研ヲ待ツ。
[其他ノ効用] 赤松ト同一ナリ。根ニ薬菌ノ茯苓ヲ生ズ, 又
松露ヲ林中ニ生ズ。

(3) てうせんまつ (てうせんごゑう, 朝鮮松, 海松) *P. koraiensis* S. et Z. 本(中北部)朝鮮黒龍州地方ニ分布, 点生又粗林〜
密林。[生薬] 海松子 *Semen pini koraiensis* ハ其種子也。
大形1.5~2cm. [成分] 種仁ハ脂肪油79.9%, 蛋白質14.8%,
灰分2.6%ヲ含有ス。脂肪油ハ主ニ *Alein* 其他 *Linolein*
*palmitin*等ヲ含ム, 蛋白質ハ加水分解ニヨリアミノ酸ヲ
生ズ。[薬用] 漢: 種子ヲ滋養強壯薬トシ, 又胃癌ニ効アリト
云フ。菓子製造(例ハバカスターラ等)ニ種仁ヲ用ヒテ好
評アリ。又支那料理ニ用ユ。

(4) はひまつ (樺松) *P. pumila* Regel ハ樺・北本(中北部),
寒地帯ニ廣布ス。葉ヲ黒焼トシテ助膜炎ニ薬用ス, 要此後研究。

(5) かたははるさむのき *Abies balsamea* Mill. ハ北米

カナダ地方ニ産シ, 樹ノ渗出液(採取ニハ人工的ニ傷ヲ附
スコト多シ)中ニ樹脂(*Canadinsäure*, α - γ -*Canadinol-*
säure, *Canadolsäure* 等ノ樹脂酸)及精油(*l*- α -*pinen*
ヲ主トスル揮発油)ヲ含有ス。[生薬]カナダバールサム *Balsamum*
canadense ハ其渗出液ニシテ透明淡黄色粘稠液ナリ。

[効用] 顕微鏡フレイバート製作ノ埋藏剤(キシロール合剤
多シ)トシテ必須ナル外, 假漆(ワニス)製造ニ用フ。

(6) *A. Fraseri Pursh.* ハ北米合衆國産ニシテ形質前種ニ
近似シ, 其渗出樹液ハ同様ニ使用セラル。

(7) もみ(樺) *A. firma* S. et Z. 本(中南部)四九ニ分布, 樺葉
ヲ食スレバ消化器及腎臓ノ炎症ヲ起ス, 重症ハ舌及咽喉腫張・
出血性腸炎・血尿・痲痛ノ症状ヲ呈ス, 蓋シ毒成分ヲ有スレナラ
ン成分未詳。樹ニハ0.96%ノ *Xylan*ヲ含有スト云フ。要此
後研究。材ハ建築材(床板ニ良好)・器具材トシ又洋紙原料(パ
ルプ)及ス・フノ原料トス。

(8) ダンマル脂 [生薬] ダンマル(印度語ノ樹脂ノ義)脂一名ダ
ムマルゴム *Resina Dammar* ハ「トリッピン」, 「アンボイナ」,
「レベス」, 「ボルネオ」諸島ニ産スル松科ノ (1) *Agathis lo-*
rantifolia Salisbury, (2) *A. Dammara* Richard, (3) *Dammara alba* Rumphius, (4) *D. orientalis* Lamb. 諸
種及他科植物(ふたばがき科)ヨリ採集セル黄褐色樹脂ノ總称
ナリ。白又淡黄塊状又顆粒状ヲナシ無臭ナリ。樹脂・樹脂酸・
精油・苦味質ヲ含有ス。[効用] 硬膏及ワニス製造原料又燻用

ニ用ス。

(9) コパール類 [生薬] *Copal* トハ新キ化石樹脂ノ總稱ナリ、まめ科及まつ科ヲ母植物トス。1. カウリーコパール *Kauri-Kopal* ハ濠洲及ニュージーランドニ産ス、母植物ハ *Dammara australis* Lamb. ナリ。2. マニラコパール *Manila-Kopal* ハマニラ地方ニ産シ、母植物ハ *D. orientalis* Lamb. ナリ。[効用] 假漆製造ニ用フ。コパール製ワニスハ乾燥後頑硬永存ニ堪ヘ依摩擦悉尤沢、器具類ニ上ノ塗料ナリ。

(10) つが(とが、とがまつ) (栂) *Tsuga Sieboldii* Carr. 本四九ニ分布ス。樹皮ニ *Gerbstoff* ヲ多含シ魚網ノ染料ニ重用セラレ、又煎服シテ肺病ニ有効。材ニハ *Cellulose* 48.7% ヲ含有シ、パルプ及ス。フノ原料トナリ、樹脂中ニ *Tugaresinol* (*Tugalacton*) ヲ含有ス。材ハ堅硬ニシテ建築材(屋柱、天井板)ニ費用ス。

① 此他ノ松科植物ノ藥学的研究ハ未遂行ナリ。

Fam. (VII) すき(杉)科 *Taxodiaceae*

形質——常緑。長枝ノミ、若シ短枝アラバ常葉ヲ有シ脱落性。葉ハ①着、無關節、鋸齒、針形扁披針形〜鱗狀、有背稜ニテ②、或ハ扁線形ニテ③(ぬますぎ屬)。花ハ(♀♂); ♂ハ頂生稀腋生、單立繖狀又四錐花序密花、Aハ∞〜少数、葯鱗下ニ2〜9ヶノ葯胞垂下ス。♀ハ枝端ニ單立又有鱗ノ梗頂ニ單立、果葉ハ稀④列、卵子ハ2〜9、直生又倒生。毬果ハ木質又革

頂、球形、開裂ス、果鱗ハ覆瓦狀、種鱗ハ楕形、苞鱗ニ全癒着、屢有刺狀突起。種子2翼又3翼アリ。子葉2〜9。

成分——樹及葉ニ樹脂及精油ヲ含有ス。

分布及屬種數——世界ニ7屬13種北半球ノ産。日本ニ産裁スルモノ3屬4種ヲ下ラズ。

本科ノ藥用植物：——

○ (1) すぎ(杉) *Cryptomeria japonica* D. Don. 本四九ノ山地ニ広ク栽培スルモノ、自生ハ屋久島、ウド谷山、戸隠山、信越國境山脈ノ一部ニアリ。[生薬] 杉脂 *Resina Cryptomeriae* ハ渗出樹脂ヲ乾固セシモノナリ。[成分] 杉脂ト精油ヲ主トス。材部ニ香1%ノ精油ヲ含有シ、*Sesquiterpen* 60% (*l-Cadinene* 及 *d-Suginen* 等同量) 及 *Sesquiterpen alcohol* 40% (*Cryptomeriol* 及 *Machiol*) ヲ含ル。葉ハ精油0.7%ヲ含有。主ニ *α-Pinen*, *Dipenten*, *Cadinene*, *Sesquiterpen Sesquiterpenalcohol* 等ナリ。[藥効] 杉脂(高方)ハ杉脂硬膏(高方)ヲ製シ、紙又布ニ展ベ絆創膏ニ代用ス、皮膚接着良好ナリ。又スルホイヒチオール酸アンモンヲ和シヒ薬トス。又軟膏(藥)トシ、或局方ロート硬膏ノ基礎藥トス。精油ハ治淋劑トシ、芳香料トス。杉材ノ酒精エキスヲ木香ト稱シ、日本酒ニ附加シ芳香ヲ附ス。杉精油主劑ノ治淋新藥ニ *Cryptal* (武田), *Gonosalpin* (全), *Sestarin* (西村) 等アリ。[其他用途] 材ハ中南細エシ易ク赤褐又紫紅、器具用桶類樽類(古ノ樽ヲ杉材ニテ作り其芳香ヲ酒ニ添加セリ)、屋柱諸造作杉材ヲ使用

セサルナク用途最広シ; 古来屋久松・吉野杉・秋田杉ヲ常用セリ; 尚樹皮ハ屋根ヲ葺キ壁ヲ張り線香ヲ作り; 枝葉ハ良燃料トス。沼池ノ埋没材ヲ神代杉ト稱シ高貴ナル器具及造作ニ使用ス。変種多クゑんかうすぎ、おちすぎ、いとすぎ等觀賞セラル。

(2) ろんだいすぎ (繙大杉) *Cunninghamia Konishii* Hayata (= *C. lanceolata* Hook. var. *Konishii* Fujita) ハ台湾ノ特産山地ニ自生スル大木。[成分] 材ハ精油畧2%ヲ含有シ、高温溜介ニテ *Gannol* $C_{19}H_{26}O$ ト稱スル晶性セスキテルペンアルコール (融点 86°) ヲ含有ス、是ハ恐ハ *Cedrol* ニ他ナラズ。[藥効] ガンノール ヲ尿道消毒劑トシテ泌尿藥ニ使用ス (内服), 白檀油ニ代用ス。新藥 *Gannol* (藥化学研究所) ハ泌尿藥 (内服) トシテ其効白檀油ニ等ク且結晶性ナルニヨリ使用ニ便ナルト彼ノ如ク胃腸障害ヲ起ササルヲ特徴トシテ賞用セラル。

◎ 尚本科ニハ台湾杉屬 (*Taiwania*), 世界爺杉屬 (*Sequoia*) 等ノ巨木アリ。

Fam. (VIII) しのき(檜)科 *Cupressaceae*

形質——常緑又互, 直生又偃臥。葉ハ鱗狀屢針狀稀2形葉, 交互對生又3葉輪生極稀互生, 昏密生。花ハ(♀♂)又♀♂, 短枝端ニ單立又腋生, A及Gハ對生又輪生; ♂ハ球又卵形Aハ短花絲ト広藥鱗ヲ有シ, 1側又楕形ニ卷達2~6ヶノ介離楕円形藥ヲ帶ブ。♀ハ果葉(心皮)ハ1~數對及1~∞ノ直

生卵子ヲ帶有, 但びやくしん(ねず)亞科ニテハ1~3ヶノ頂生卵子アリ。苞果ハ球形木質裂開; 又漿果(ねず亞科)又核果。種子ハ有翼又無翼。子葉2, 稀5~6箇。

成分——樹及葉ニ樹脂及精油ヲ含有ス *Thujin* (ツジノ配糖体) ハ其例ナリ。

分布及屬種數——世界ニ16屬, 130餘種; 南北兩半, 寒~寒ニ分布ス。日本ニ3亞科6屬 [1. くわべ亞科 *Thujoideae*, くわべ屬 *Thuja*, あすなろ屬 *Thujopsis*, せうなんぼく屬 (裁) *Libocedrus*; 2. しのき亞科 *Cupressoidae*, しのき屬 *Chamaecyparis*, ほそいとすぎ(しだれいとすぎ)屬 (裁) *Cupressus*; 3. ねず亞科 *Juniperoideae*, ねず(びやくしん)屬 *Juniperus*] 22種 (内栽培種) ヲ下ラズ。

本科ノ藥用及有用植物:—

(1) しのき(檜屬) *Chamaecyparis obtusa* S. et Z. 本・四・九・各ノ山地。

[成分] 材ニハ *Hinokinin*, *Hinokiol* $C_{10}H_{30}O_4$ / 外ニ1%内外ノ精油 (*L-Cadinen* $C_{15}H_{24}$, *d-α-Pinen*, *Camphen*, *Borneol*, 樟腦 *Campher*, 及高柏酸 $C_{10}H_{16}O_2$) ヲ含有ス。銀材ノ精油ニハ *Pinen*, *d-α-Terpineol*, *Isoborneol*, *Cadinen*, *Sesquiterpenalkohol*, 及 *Chamaecypariol* $C_9H_{16}O_2$ ナル酸ヲ含有ス。葉ハ1.16% 内外ノ精油 [*L-α-Pinen*, *d-Limonen* 右旋, ボルネオール酢酸エステル *Bolnylacetat*, *Cadinen*, *Sesquiterpenalkohol*, 檜酸 *Hinokisäure* $C_{10}H_{16}O$ 又

$C_{14}H_{32}-COOH(?)$ ヲ含有ス。

[薬用] 尿道消毒ノ淋病薬トス、即治淋薬也。民：木材又節部ヲ煎服シレリウマケス¹及痲氣ヲ治シ、又疥癬ニ外用ス。新薬 *Tujol* (ネオ製薬)、陸局ノ治淋薬、サンツヨール(全)、*Obutal* (滋野)、かわ樹脂配位ノ利尿治淋劑、*Nisagosulin* (小島)、ゴノクロール(中京製業)、[其他用途] 材ハ白質緻細、強靱、緻密建築材ノ王也。宮殿樓閣船艇家屋全材器具建具等無不適。或刺ヲ附木曲物トシ、編テ笠(繪笠)トシ、樹皮ハ屋ヲ葺キ繩ニ編ヒ又火繩トス、尙神社ニ使用ス。変種多ク觀賞用トス、(イ)は類是也。

(2) たいわんひのき(台湾檜) *C. formosensis* Matsum. ハ台湾特産、ひのき全様ノ藥効アリヤ否マ不詳。材効前全。

(3) さばら(花柏、榧) *C. pisifera* S. et J. 本州各地産。

[成分] 材ハ畧4.5%ノ精油ヲ含ム *d-Cadinen* $C_{15}H_{24}$ ヲ主トス。葉ハ畧1%ノ精油ヲ含ミ *l-d-pinen* ヲ主トス、其他 *Camphen*, *Dipenten*, *Cadinen*, *Bornylacetat* ホルネオール酢酸及蟻酸エステル, *Borneol*, *Sesquiterpenalkohol*, *Diterpen* $C_{20}H_{32}$, ペラルゴン酸 $C_9H_{17}-COOH$, ウンデシル酸 $C_{10}H_{21}-COOH$ 等ナリ。[効用] 材ノ精油ヲ顕微鏡用ゾエーテル油 (*Cederöl*) ニ代用ス(油浸装置)。材ハ淡褐黄色、櫨ト共ニ能堪水湿桶類(手桶、盥風呂桶)ノ製作ニ最適、其他建築材器具材、板曲物ヲ作ル等用途広シ。又変種多ク觀賞用(イ)は類トシ、生垣ニ最適ス。

(4) あすなろ(あすひ、ひ、麗澤柏) *Thujopsis dolabrata*

S. et J. ハ本(中南部)州産、変種 *var. Hondai Makino* ハ北海道南端及奥羽中南部ニ産シ、毬果ヲ異ニス。民：葉ヲ黃疸ニ煎服シテ有効。其他ノ効用ハさばらト同様ナルモ材白色、堪水湿不朽、井戸側、家屋ノ土名ニ好適スルコトひのきニ同ジ。

(5) このてがりは(側柏、兎手柏) *Thuja orientalis* L. ハ支那ノ原産、邦内各地栽植。(生薬) 柏子仁 *Semen Thujae orientalis* ハ其種仁也、脂肪油ヲ含有ス。葉ニ精油 (*Thujon*, *Fenchon*) ヲ含ミ、種子ニ脂肪油ヲ含有ス。[薬効] 葉ヲ養柏葉ト称シ、民：收斂薬トシ、赤痢ニ用ヒ、莖干葉ヲ止血薬(吐血、衄血、腸出血、子宮出血)ニ煎用ス、又利尿薬、淋疾薬トス。果実ヲ柏子仁ト称シ、漢：滋養強壯薬、鎮咳、祛痰薬トシ、喘息ニ用ヒシコトアリ。庭木トシ、觀賞シヌ生垣トス。

(6) にほひひは *T. occidentalis* L. ハ北米ノ原産、枝梢ニ *Thujanol* ヲ含ム、主成分ハ *d-Thujon* 也、其他 β -*Thujon*, *l-Kampfer*, *Borneolester* 等也。材油ハレリウマケス¹又瘰癧血病ニ軟膏祿劑トシテ使用ス。葉ハ解熱薬ニ煎用ス。庭木トシテ觀賞ス。

△ (7) としよ(杜松) *Juniperus Communis* L. ハ歐洲(奥匈、伊佛等)産也。果実ヲ(生薬)杜松実 *Fructus juniperi* ト称シ；揮発油、樹脂糖介等ヲ含有ス。精油ハ *l-d-pinen* ヲ主トシ、*Silvestrin*, *Sesquiterpen* + ν *junipen* $C_{15}H_{24}$, *Sesquiterpenalkohol* + ν *juniperol* $C_{15}H_{24}O$ 等ヲ含

有ス。〔藥効〕 実ヲ 汗液利尿薬、祛痰薬、興奮薬 トシ、其ト一ルハ 疥癬、鮮癬ニ外用(塗布)ス。 準局ノ杜松実ハ上記全杜松ト一ル *Pix juniperi liquida* ハ其外又軟膏或塗擦剤トス。

〔其他効用〕 果実(汁)ヲ肉類酒類ニ香氣ヲ附スルニ用ヒヌ一類ノ酒ヲ醸ス。果ヨリ杜松油ヲ採リ醫藥及香油ノ原料トス。

(8) ねず(おすみざし、ねずざし、むろ、杜松和杜松) *J. rigida* S. et Z. ハ北(南東部)、本(各地)ニ産ス。〔生藥〕 杜松実 *Frus-tus juniperi japonicae* ハ本種及はひねず(*J. conferta*)ノ乾果也、藏3子。〔成分〕 果及葉ニ精油ヲ含有スルモ未研究。〔藥効〕 果ヨリ杜松(子)実油・杜松実精(実油2,酒精93ヲ混和)ヲ製シ、発汗薬・利尿(水腫、尿道生殖器疾患ニ内用)薬トス、又刺激性誘導薬トシテリウマチス⁷及痛風ニ塗布ス。

杜松木ト一ルハ本属諸種ノ材ヲ乾溜シテ得タルモノニテ効用前記ス。〔其他効用〕 材ハ坚硬強韌、特殊器具材又建築材トス。葉枝ヲ鼠穴ニ挿メバ耳不通故鼠刺ト云フ。香氣アリ薫シテ蚊遣トス。北海道土人ハ実ヲ好食スト云フ。

(9) はひねず(ハト) *J. conferta* Parl. ハ樺、千本(各地)ノ海岸ニ点生又群生平臥ス、常陸及房總地方ニ多シ。効用前同。

(10) さびな *J. Savina* L. ハ欧洲、小亞細亞、西比利亞ニ産ス。

〔生藥〕 さびな *Saviniae* ト称シ枝梢部ヲ藥用トス。

〔成分〕 葉ハ畧4%ノ精油ヲ含ミ主成分ハ *Sabinol* $C_{10}H_{16}O$, *Sabinolacetat* $C_{10}H_{15}O-COCH_2$, 他ニ *Terpen* ヲ含有ス。

〔藥効〕 枝梢〔葉アル〕ヲ強カナル通經薬(浸劑又エキス)

トシ、刺激性外用薬トシ、軟膏状ニテ腫脹薬(812年以後カール大帝ノ推奨ニ依リ欧洲各地ニ濫用セラレ)トス。葉ヲ主要トス。

△(11) えんぴつのみさ(鉛筆木) *J. virginiana* L. ハ北美ノ原産也。鉛筆材トシテ最良ナリ。材ヲ蒸溜シテ顯微鏡用ノ セーテル油 *Cederöl* ヲ製ス。昔此油ヲ墮胎ニ使用セリ。精油ニハ *Cedren* $C_{15}H_{24}$, *Cedrol*, *Cedrenel*, *Prendcedrol* ヲ含有ス。準局 *Oleum Cedri Ligni* セーテル油ハ油浸装置 *Oelimmersion* (光化学硝子ト全一屈折率ヲ有ス)ニ用フ。

第四綱 麻蕨綱 *Gnetales*

本綱ニハぐねつむ科(*Gnetaceae*)、まわう(麻蕨)科 *Ephedraceae*、うえらうめらあ科 *welwitschiaceae*、三科ヲ属ス。甲ハ熱亞西阿南米ニ、乙ハ欧亞ニ、丙ハ西阿ノ砂漠ニ産ス。

Fam. (i) まわう(麻蕨)科 *Ephedraceae*

形質 — 木賊状小灌、莖ハ莖脚ヨリ多分岐。葉ハ退化セル鱗状、粗ニ十字ノ半、隔生ス。花ハ(♀♂)又♀♂; 花序ハ繖状有∞苞葉、各花ハ十字対生、♂ハ花被葉2, A2-8ヶ柱状花軸ニ着生、蒴ハ2~3室。♀ハ單位有∞苞葉、囊状花被アリ中ニ1卵子直生ス。種子ハ漿果状、胚乳並2子葉アリ。

成分 — 後記ス。

分布及属種数 — 世界ニ1属35種余ヲ産シ、遊歐、北支那ニ

分布ス。漢方ニまわら 1種アリ、日本ニ栽培ス。

本科ノ藥用植物：— ○(1)まわら(麻黄) *Ephedra sinica* Stapf (此他 *E. equisetina* Bunge ヲ含ム) 蒙古熱河(嶺)地方等ニ分布シ群主ス。[生藥] 麻黄 *Herba Ephedrae* ハ全草ヲ細切セルモノ也、味收斂性稍麻痺性アリ。[成分] 全草中總鹼基 0.3%。主成分ハ *l-Ephedrin* $C_{10}H_{15}NO$ 、他ニ *d-pseudoephedrin* $C_{10}H_{15}NO$ 、*d-Norpseudoephedrin* $C_9H_{13}NO$ 、*l-Methylephedrin* $C_{11}H_{17}NO$ 及 α -*Methylpseudoephedrin* $C_{11}H_{17}NO$ 、*l-Nor-ephedrin* 等ヲ含有ス。長井長義博士ノ研究ヲ主トス。

[藥理] 塩酸エフェドリンノ水溶液ハ散瞳作用アリ、10% 溶液ヲ点眼セバ40~60分後ニ散瞳シ、5~20時間持續ス。此作用ハアトロピント異リ交感神経ノ刺激ニ依ル如シ。其他血圧ノ上昇、発汗等ヲ起シ、反応アドレナリンニ類似ス。鎮咳藥トシテ特ニ喘息卓効アルハ氣管枝筋ヲ弛緩セシムルニ依ル如シ。然ルニ根部エキスヲ動物ニ注射スレバ及対ノ現象(血圧下降、呼吸頻數)ヲ起スト云フ。

[藥効] 漢：莖葉ヲ発汗藥、鎮咳(喘息、百日咳、結核、氣管枝カタル)藥トス。喘息藥(煎服又塩酸エフェドリン)トシテハ *Adrenalin* ニ優ル、其他皮下注射トシテ上記鎮咳諸藥ノ外、痲痺、心臟衰弱、夜尿症、痲疹、疥癬等ニ藥用ス。根及節部ハ止汗藥(盜汗、肺病)ニ煎服シ、あせもニハ其粉末ヲ撒布ス。新藥 *Mustol* (黒田) 及 *Campanol* (いわりや) ハ麻黄及桔梗ヲ原

料トセル鎮咳、祛痰藥ナリ。

第十九門 被子植物門

XIX. Phylum Angiospermae

特徴：— 花ヲ咲キ種子ヲ生ズル点ニ於テ前門植物ト全様ナレド、次ノ差異アリ。(1)本門ノ卵子(大孢子囊)ハ標出セズ、心皮(果皮)ノ閉合セル子房(実礎)中ニ包藏セラレ。(2)本門ハ胚囊(大孢子)中ニ受精(重複受精ノ中、胚囊核ト)ヲ受クル後始テ雌性前葉体即チ胚乳組織ヲ形成ス(彼ハ受精ナクシテ形成ス)。(3)花粉(小孢子)ヨリ生ル雄性前葉体ハ甚ク退化シ、唯ノケノ營養細胞トノケノ生殖細胞(分裂シテ2ケノ雄精細胞トナル)トヲ有スルノミ。(4)花ハ單性(偏性)又両性(両全)、概両性; 概有花被稀標花、花被ニ概KトCノ別アリ又同形度ニテPヲナス。(5)第二期木部ニ葉管ヲ有ス。

○被子植物門ノ2綱及2亞綱ノ檢索表

A₁ 種子ハ1ケノ子葉ヲ具ハタル胚ヲ有ス……第一綱 單子葉綱 *Monocotyledoneae*

A₂ 種子ハ2ケノ子葉ヲ具ハタル胚ヲ有ス……第二綱 双子葉綱 *Dicotyledoneae*

B₁ 花ハ○、ス○、或◎; 而テ概C_n 即離瓣花冠ナリ……

……第一亞綱 離瓣花亞綱(古生花被類) *Choripetalae* (*Archichlamydeae*)

B₂花ハ概②, C_(n)即合瓣花冠ナリ

第二亞綱 合瓣花亞綱 (新生花被類) *Sympetalae*
(*Metachlamydeae*)

第一綱 單子葉植物綱 (單子葉類)

i. *Classis Monocotyledoneae*

特徴:— 植物体ハ概①又②. 茎木質幹根ハ概後生鬚根ナリ. 莖ハ概草本莖稀桿莖或挺幹, 概無分枝又少分枝; 開鎖維管束ヲ有シ, 肥大成長ヲ不行 (僅少ノ例外アリ); 概無髓層有髓腔. 葉ハ概互生又叢 (根) 生稀輪生, 屢無柄, 概全縁無裂稀齒縁又介裂, 概單葉稀複葉, 概平行脈稀羽狀又射出脈或網脈. 花ハ多數花多ク概花蓋ヲ有シK Cノ區別ナキモノ多ク稀區別アリ; 花輪ハ概5輪4又6或∞, 各花輪ハ概3節性稀2~5極稀6~9節性; 花式ハ概 P_{n+n} A_{n+n} G_n = 適合シ, 本花式ヲ公式 (公花式) トス, 而テ進化ニ從テ P_(n+n) トナリ或ハ P_(n+n) A トナル, G_n ∈ G_(n) ヨリ G_(n) = 進化ス, 又 A_{n+n} = 変化起リ或減數或瓣化帶色等ニ進化シ, P 中分化起リ牌瓣ヲ生ズルニ至ル; n = 3 最多ク, 稀 n = 2 ~ 6, 極稀 n = 6 ~ 9 ノコトアリ. 種子ハ屢小形稀微小鏡多. 胚ハ概小形子葉ハ1箇 (腐生植物ハ球狀), 莖芽ノ陰子葉ノ全部又其大部種破中ニ留リ外出セズ, 胚乳養料ノ吸收器官トナルヲ常トス. 内胚乳ハ核狀形或ハ其底器ヲ有ス.

② 單子葉類ハ系統上・並分類學上ノ位置ニ就テ余ハ双子葉

類ノ下位ニアルモノ, 換言スレバ後者ヲ系統ノ主幹即チ直系ヲナスモノトシ前者ヲ其側枝ト考察ス. 而シテ諸般ノ形質上現世さく科植物ヲ以テ最高位者ト斷ズルモノナリ. 其理由ハ後日ニ譲ル.

○ 單子葉植物綱ノ11目ノ檢索表

- 植物体ハ明瞭ナル莖ト葉トヲ有ス 1
- 植物体ハ扁平葉狀, 明瞭ナル莖葉ヲ生セズ, 水中又水面ニ生活ス
 ----- 第七目 柊 欖花目 *Spathiflorae* / うさぐさ科
Lemnaceae
- 1 { 花被ハΦ, 麗奇形美麗, G(3), ∞ノ微細卵子ヲ容ルカ; 又腐生ニシテ無葉綠素, 葉ハ鱗狀小形, 他ハ同様
 ----- 第十一目 微子目 *Microspermae*
- 2 { 花ノ形質ハ前記ト異ル 2
 { G(3), 花粉を生ズルAハ1又5, 花ハ概Φニテ美麗ナリ.
 ----- 第十目 芭蕉 (香蜜, 子老) 目 *Scitamineae*.
- 3 { 花ノ形質ハ前記ト異ル 3
 { 花ハ肉穗花序又肉質ノ頭狀花序ヲナサズ, ナス場合ハ胚乳ハ粉狀ナリ 4
 { 花ハ肉穗花序又肉質ノ頭狀花序ヲナス, 胚乳ハ粉狀ナラズ 8
- 植物体ハ腐生, 帶黃或帶赤色, 葉ハ小鱗狀, 心皮ハ∞ニテ各1ヶノ卵子ヲ含ム, 種子ハ有胚乳

- 4 { 第三目 木脚草目 *Triluridales*
植物ノ形態ハ前記ト異ル 5
- 5 { 種子ハ多量ノ胚乳ヲ有ス 6
種子ハ概シテ胚乳稀薄有微量; $G(1-\infty)$; 植物体ハ概シテ水生
活生ナリ 第二目 活生(水生)目 *Helobiae (Flu-
viales)*
- 6 { 花ハ明瞭ナル花被(概P)ヲ有ス, 概 $G(3)$ ナリ 7
花ハ乾性鱗狀ノ苞(穎) 腋ニ生シ花被ハ鱗狀或毛狀花
被2~6稀 ∞ , 子房ハ1室1卵子; 漿果又瘦果ヲ結ブ;
葉2又3列生, 良好卷育ノ葉鞘ヲ有ス
..... 第四目 穎花目 *Glumiflorae*
- 7 { 胚乳ハ肉質又軟骨質ナリ, 花ハ概シテ3数性, $G(3)$ ヲ普通トス
..... 第九目 百合花目 *Liliiflorae*
胚乳ハ粉狀ナリ, 花ハ稀肉穂花序又頭狀花序ヲナス
..... 第八目 粉狀胚乳目 *Farinosae*
- 8 { 葉ハ摺襞セル巻狀ヲナサズ 9
葉ハ概シテ羽狀又掌狀射出ニテ摺襞セル巻狀ヲナス 10
- 9 { 花序ハ肉質大形佛焰苞(屢壯莖)ヲ具フ
..... 第七目 佛焰花目 *Spathiflorae* / てんぐしよ
う科 *Araceae*
花序ハ肉質ノ頭狀~棍狀花序佛焰苞ナシ, 花ハ稀シテ單被
或ハ同被性高葉狀花被ヲ有ス
..... 第一目 ^{タコノキ} 露兜樹目 *Pandanales*.

- 10 { 植物体ハ草本又短莖木本, $G(2V4)$, 子房1室 ∞ 卵子;
 $P0V4$ 或有齒牙ナリ 第六目 合花目 *Synanthae*
植物体ハ草又木, 有徒莖; $G(3)$, 心皮ハ各1卵子ヲ含ム,
 $P3+3$ 第五目 標欄目 *Principes*

第一目 ^{タコノキ} 露兜樹目 *Pandanales*

○たこのき目3科ノ檢索表

- 植物体ハ木本ニシテ根氣根ヲ生ジ, 葉ハ3縱列ヲ成ス
..... *Fam. (ii) たこのき(露兜樹科 Pandanaceae)*
- 植物体ハ草本ニシテ葉ハ2縱列ヲ成ス 1
- 1 { ♀ト♂ハ一連ノ円柱狀花序ヲ成シ, ♂花序ハ上方ニ生ス
..... *Fam. (i) かま(香蒲科 Typhaceae)*
♀ト♂ハ球形ノ頭狀花序ヲ成シ ♀花序ハ下方ニ位ス
..... *Fam. (iii) みくり(黒三稜科 Sparganiaceae)*

Fam. (i) かま(香蒲科 Typhaceae)

形質 — ②有根莖, 沼沢池活生。葉ハ \downarrow , 2列生, 細長線形。
花ハ(♀♂), 円柱花序♀ハ下生♂ハ上生; ♀ = $P0GL$, ♂ = $P0A(1-2-5)$, 花絲ハ基部有長毛, 約ハ2分ス; GL 即♀ハ有柄柄ハ有長毛, 柱頭ハ線形又匙形長大, 子室 = 懸垂性1卵子ヲ容ル。小坚果又穀(穎)果。種子ハ薄キ外胚乳ト肉質ノ内胚乳アリ。

成分 — *Iso-Rhamnetin, Glycoside*, 脂肪油, 澱粉等アリ。

分布及属種数 — 世界ニ1属9種、暖温帯ノ沼沢地ニ分布ス。日本ニ1属3種ヲ産シ; 北台岡ニ分布ス。

本科ノ薬用植物:— (1)かま(うらがま、香蒲) *Typha latifolia* L. 種北本(北中部)ノ池沼ニ群生ス、花候夏。(生薬)蒲香 *Typha* ハかま、ひめがま、こがま等ノ花粉ヲ乾燥セルモノ、かま花粉ハ4合粒ヲナシ他2種ノハ單一也。(成分)ハひめがまニ近似スベシ。根ニ澱粉・Gerbstoff・糖類・Calcium malat ヲ含ム。
[薬効] 漢: 蒲黄ヲ消炎性利尿薬(内用)及止血薬(外用)補血薬トス。傷癰一切ニ蒲黄ヲ散附シ、妊婦ノ下血止ニ其ノ煎ヲ白湯ニテ飲ム。舌ノ腫大ニハ塗布スベシ、乾薑木少量ヲ加フレバ効更大也。[其他効用] 蒲黄ヲ食用(千葉県)トス。又養蜂飼料トス。蒲穂ハ注油製松明、又香火ヲ製ス。葉ハ席ヲ編ム蒲筵ト云フ、又籠繩ヲ作ル、果ヲ布團ノ心トス。若葉ハ食用ニ供ス。

(2) ひめがま *T. angustata* Bory et Chamb. 北本・四凡・琉・各産。生薬・薬効前同、外ニ花梗ヲ煎服シ毒蛇咬傷ヲ治ス。成分ハ蒲黄ニ *Isorhamnetin* $C_{16}H_{12}O_7$ ヲ分離スル Glycosid、及畧10%脂肪油(Palmitinsäure, Stearinsäure) 及其配糖体、*d-typhasterin* 其他 *Palmitin*, *Stearin*, *Linolein* 等ヲ含ム。

處方例 — 蒲黄散(打撲血帶・敗血シ腹痛ニ用フ) 蒲黄当歸・生地黃各 5.0 琥珀・芍藥・桂皮各 2.0 …… 以上煎劑 200 1日量。蒲灰散(利尿止血薬) 蒲灰 10.0 滑石 12.0 …… 以上細末

トシ1回4.0錠1日3回服用。

第二目 沼生(水生)目 *Helobiae*

○沼生目6科ノ検索表

- 子房ハ上位 $G(\overline{n})$ ナリ, 概 $P_{3+3}A_{3+3} \dots G(3+\dots)$ 多; 多果性也 1
- 子房ハ下位 $G(\overline{2-15})$ ニテ1~数箇ノ室アリ, 花ハ概 K_3 $C_3A_{3+3+} \dots G(3+\dots)$ *Fam. (Vi)* とちかがみ (水菴)科 *Hydrocharitaceae*
- 1 { 花被ハ $K \cdot C$ ノ別アリ(邦産), $A_3 v. 6 \sim \infty$, $G_{6 \sim \infty}$ *Fam. (V)* おもじか(沢瀉)科 *Alismataceae*
- 花ハ同形質ノ花被ヲ有スルカ又無花被ナリ 2
- 2 { 心皮ハ各2或其以上 ∞ ノ卵子ヲ含ム 3
- 心皮ハ各1ヶノ卵子ヲ含ム 4
- 3 { 植物体ハ沼池生, $P_3 \sim 6 v. \infty$ *Fam. (iii)* はな(菱葉)科 *Scheuchzeriaceae*
- 植物体ハ水中生, $P_0 \sim 1 \sim 3$ *Fam. (ii)* さばうほう(ひるむしろ) (喜望峯眼子菜)科 *Aponogetonaceae*
- 4 { 卵子ハ直生, $A_6 v. 3 v. 1$ 5
- 卵子ハ下垂スルカ又セズ, 非下垂者ハ A_4 ニテ P 様附属物ヲ生ス *Fam. (i)* ひるむしろ(眼子菜)科 *Potamogetonaceae*

{ A 6 v. 3, G: 3~6: ----- 重出 ----- Fam. (iii) しはな(芝菜)科
Scheuchzeriaceae
 5 { ♂ハ A1, Pハ 2 重柱状; ♀ハ G1, Pハ 1 層柱状又 O,
 側生卵子 1 箇 ----- Fam. (iii). いはらも(茨藻)科 *Najada-*
ceae

Fam. (i) ひるむしろ(眼子菜)科 *Potamogetonaceae*

形質 — ②, 淡水又海水中ニ沈生又浮泛層花序挺水。葉
 ハ單葉^{根2羽生, 葉} 縁全縁平行脈。花ハ ♂又♀ ♂, 小形, 4~1 花輪性
 ノ中, 概 Po, 藥隔4 花被状; 花序ハ 1 花又穂状; ♂ = Po A4~
 1, 稀 P 様附屬物アリ; ♀ = Po G4~1, 各 1ヶノ卵子ヲ含ム,
 卵子ハ 1ヶ 頂垂又穹生垂下。果實ハ核(向果状)又皮膜質, 各 1
 種子, 無胚乳。

成分 — 色素 (*Rhodoxanthin*), 糖介, 灰中ニ無機塩類アリ。

分布及屬種數 — 世界 = 9 屬凡 160 種, 全世界ノ熱~寒ニ産シ, 日本ニ 6 屬 50 種アリ。

本科ノ藥草: — (1) ひるむしろ(ひるも, 眼子菜) *Potamo-*
geton Francheti A. Benn. et Baag. ♀ = Po G(4), ♂ =
 Po A2+2。樺・南千・北本・四九・荒ノ池沿水田岸。[藥効] 根ハ魚
 介又獸肉ノ中毒或酒毒ヲ解クニ煎服ス。民: 眼瞼ノ腫タル
 ニ生菜ヲ貼リ熱ヲ去シ。湯火傷 = 全草乾粉ヲ醬油砂糖ニテ
 煉台セ患部ニ塗布。

(2) をひるむしろ *P. natans* L. 樺・千・北本・四九・荒台産。前種
 同様ノ藥効アリ。

(3) あまも(あじも, もしほくさ, 甘藻・大葉藻) *Zostera marina*
 L. 樺・北本・四九ノ海中生。植物体ヲ肥料(麦等)トシ, 又草履
 ヲ造シ甚輕シ。葉ヲ乾燥シ椅子・布團ノ心トス, 又葉基部ハ甘
 味アリ故海辺兒童食之。

(4) おほあまも(大甘藻) *Z. asiatica* Miki 樺・千・北産。茲同
 Fam. (iii). しはな(芝菜)科 *Scheuchzeriaceae*

形質 — ②, 沼池生。葉ハ單葉線形, 有葉鞘根生並互生。花
 ハ ♂又♀ ♂, 4~1 概 3~4 数性, Pハ苞葉状又 O。花序
 ハ頂生穂状又穂状 ∞ 花。P3+3 v. 2+2 r. 3 v. 1, Aハ Pト同数
 又 Po A1, G(3+3): r. (4+4): r. 1 v. (3), 又 Po G1。卵子ハ側生, 各
 心皮 = 1~2ヶ宛, 2層卵膜。果實ハ堅果状骨莢。

成分 — *Linamarin* 等ノ如キ *Blausäure* ヲ含ム *Gly-*
cosid ヲ含有ス。

分布及屬種數 — 世界 = 4 屬凡 16 種ヲ産シ, 温・寒ノ海辺
 ニ生ズルカ又北半ノ寒地帯ノ高層濕原(泥炭地)ニ分布ス。

本科ノ藥用植物: — (1) ひるむいさう(あぞせきしやう, 幌
 向草) *Scheuchzeria palustris* L. 樺・千・北本(北中部)ノ寒
 地帯ノ濕原生。茎々 *Triglochin* ト称スル *Nitrilglycosid* ヲ
 含有。藥効未詳。

(2) しはな(うみにら, うみせきしやう, 芝菜) *Triglochin*
maritimum L. 樺・千・北本・四九ノ海辺産。莖 = *Blausäure*
 ハ *Aceton* ヲ伴テ存シ, 其ハ *Linamarin* 様ノ *Glycosid* ヲ
 介離ス; 葉及果 = *Aceton* ヲ不含, *Blausäure* ノ存否又不明。

葉ヲ燥テ酢味時ニテ食用トス。藥効未詳。

Fam. (V) おもだか(澤瀉)科 *Allismataceae*

形質 — 水生又池沼性(⊙)有氣管。葉ハ單葉根生心形箭形長楕圓形。花序ハ瓶大形多分枝の花稀單正花。花ハ概[♂]稀[♀]♀♂, 母[⊙]3枚性; K 3: C₃: A 6~∞ Y. 3 G 6~∞, 各心皮ハ1~∞例生卵子ヲ含ム, 有2卵膜。果實ハ聚果。種子ハ無胚乳。応分 — 狸卷田、殿橋、糖類等ヲ含有ス他ハ不詳。

分布及屬種數: — 世界ニ10屬100餘種ヲ産シ、熱・暖温亞寒帯ニ分布ス。日本ニ4屬10種ヲ下ラス。

本科ノ藥用植物: —

(1) さじおもだか(澤瀉) *Alisma plantago L. var. parviflorum* Torr. [產地] 樺・北本・四・九・琉ノ水辺湿地産。[生藥] 澤瀉 *Rhizoma Alismatis* 秋日根莖ヲ採取、灰白色。反耶ヨリ輸入。[藥効] 漢: 沢瀉ヲ利尿藥(水腫), 1日10~30瓦煎服 [處方例] 澤瀉湯(脚氣水腫ノ利尿劑) — 沢瀉240 白朮100 以上煎劑200 1日3回温服。五苓散 — 沢瀉3.5 猪苓茯苓蒼朮各2.5 桂皮2 以上5味爲細末, 1日3回分服又200瓦煎用1日3回服。[其他効用] 根莖ヲ食用トス。[毒性] 根莖ニ刺戟性樹脂ヲ莖葉ノ汁液ハ有毒刺戟性ヲ有シ、発泡ヲ生ゼシム。

(2) へらおもだか *A. canaliculatum* A. Braun et Bouche 比本・四・九・琉各ニ生スル有毒植物ニテ効用ハ前種同様、液汁又発泡性アリ。

第四目 穎花目 *Glumiflorae*

- 葉ハ概3列生, 葉鞘ハ閉合管狀, 果實ハ堅果又瘦果ナリ。
- 胚ハ胚乳軸部ノ1端ニ位ス
- Fam. (iii) すけ(莎草)科 *Cyperaceae*
- 葉ハ2列生; 葉鞘ハ管狀ナルモ縱裂不開合, 上端有小舌
- 又角剛毛; 果實ハ穎果ヲ常トシ, 胚ハ胚乳ノ1側ニ偏位ス
- 1
- 1
- 莖葉ハ草質即草稈①又②, 葉身ハ無柄, 極稀有短柄, 葉鞘上端有小舌, 莖身ハ葉鞘ト共ニ枯凋ス
- Fam. (i) いね(禾本)科 *Poaceae* (*Gramineae*)
- 1. 莖ハ木質硬稈狀②, 地下莖飛達着莖; 葉身ハ概有短柄, 葉鞘上端有剛毛(盾毛), 葉身ハ枯凋ニ当リ葉鞘ヨリ離脱ス
- Fam. (ii) たけ(竹)科 *Bambusaceae*

Fam. (i) いね(禾本)科 *Poaceae* (*Gramineae*)

形質 — ①又②。稈ハ円柱狀中空多明節草質。葉ハ互生2縱列生; 葉鞘ハ管狀圓莖縱裂; 上端外側ニ小舌(小舌片舌狀片小葉膜)ヲ有ス, 頗多型; 概無葉柄極稀有柄; 葉身ハ披針形~線形稀長楕圓形, 銳~鈍尖頭。花ハ概[♂]稀[♀]♀♂, F.f.=Pov. 0+2 A3+0 Y. 3+3 Y. 1-2~∞ G(2~3) Y. 1, 概Po+2 A3+0 G(2), 花被ハ鱗被(小鱗 *Lodiculae*)トナリ花絲ハ細長有丁字葯動搖ス; 子房ハ1室, 概懸垂性膏卵1箇ヲ藏ス, 柱頭ハ概2稀1~3有長毛。果實ハ概穎果(穀果)稀堅果又漿果, 胚乳豐富, 果皮ハ菲薄ニシテ種皮ト癒合シ覆胚乳。胚(芽胎)ハ種子ノ

胚乳ノ底側ニ偏在子葉、(楯状体 *Scutellum*) ハ養分吸収器官トナル。

上記ノ構造ヲ有スル花(穂)ハ1~∞花集合シ、花軸上ニ互生密着シ、基脚ニ着生スル2ヶノ苞穎(被穎, *Gluma*)ニ依テ纏ノラレ、1箇ノ小穂(益花小穂花 *Spicula*)ヲ形成ス; 是ハ1ヶノ小花序ナレドモ、本科(本目)ニ於テハ特ニ單花ト見做シ花序ハ小穂花ノ集合ヨリ成ル。單花ヨリ成ル小穂(花)ノ構造ハ其基脚ニ互生ノ2苞穎(高葉苞葉被穎長穎…腋ハ無花故ニ名ヅク *Gluma*)アリ、外苞穎(下部被穎)、内苞穎(上部被穎)是也、甲ハ屢有芒; 其上部極短花軸上ニ互生スル苞葉ヲ夫々外護穎(外穎又外殼 *Blea inferior*)、内護穎(内穎又内殼 *Palea superior*)ト云フ、甲ハ屢有芒乙ハ屢有2條龍骨突起; 而シテ多ノ場合更ニ基軸上ニ1~3Y. ∞箇節ニ對シテ花被(繖被 *Lodicula* ト称シ、Pト見做サルハ、ハ1節双生即對生故 P_0+3 、中内輪ノ2ヶ即 P_0+2 ト思性セラル)双生ス。稀更ニ同節上1ヶヲ加ハ P_0+3 、コトアリ。小穂ノ2花以上ヨリ形成スル場合ハ上記2ヶノ苞穎(護穎)内ノ花軸上ニ漸次互生密〜稍緩着スルノミ、故ニ花穂成ノ小穂ハ長大トナル。

以上ノ小穂花序ハ更ニ中央ノ大花軸上ニ着生シ穂狀(無梗)又穂狀花序又其複成ヲ形成シ; 或大小又大中小ノ花軸ニ分岐シ、各小花軸ニ小穂ヲ着生シテ粗〜密ナル円錐花序(總花序)等ヲ作ル。

成分及効用——五穀トシテ澱粉・脂肪油揮発油ヲ含ム外、含水炭素 (*Mannan*・*Galactan*・*Amylan*・*Raffinose*・^{レフオ}*Lävösin*・*Grammin*・*Triticin*・蔗糖・麦芽糖・デキストリン等)、酵素 (*Diaxase*・*Maltase*・*Trehalase*・*Emulsin*・*Pepsin*・*Trypsin*・*Amylocoaglas* 等)、有機酸 (枸橼酸・林檎酸・アコニト酸 *Aconitsäure*)、其他ノ物質 (*Cumarin*・*Phytin*・*Asparagin*・*Arginin*・*Trigonellin*・*Cholin*・*Betain*・*Phytosterin*・*Inosit*・*Mannit* 等)ヲ含有ス。澱粉・卵白蛋白質等有用成分ヲ多含スルニヨリ人類ノ常食〜主食品トナル外、酒醬油味噌麹等ヲ作リ又藥品不鮮。

分布及屬種數——世界ニ凡310屬4000種ヲ産シ、全世界ニ分布シ、山野到ル處ニ見ザルナシ。日本産凡120屬750種ヲ下ラス、性強健適應性強ク全土ニ分布ス。

本科ノ藥用及有用植物：——

○ (1) いね(稻) *Oryza sativa* L. [產地] 印度原産世界各地ニ栽培、日本ハ北(中南部)本四九琉各ニ栽培。[生藥] 種子及糠ヲ藥用トス。[成分] 種子ニ澱粉蛋白質 (*Glutelin*・*Albumin*・*Globulin*)、脂肪 (*Phytosterin*・*Oelsäure*・*Palmitinsäure*)、*Vitamin B* [*Vitamin* (*Funk* &)] = *Oryzamin* (鈴木氏) 等ヲ含有シ; 糠ニ *Vitamin B*・*Phytin*・脂肪油等ヲ含有ス。[藥効] 米澱粉 *Amylum Oryzae* (蜀方)ハ撒布糊精原料賦形藥(散丸藥)食用トシ; *Vitamin B* 製劑ハ其缺乏症ノ治療並ニ脚氣藥トス、又妊婦ノ便秘、小児發育不良、一般

栄養障碍ニ内服ス。又衝心症或ハ重脚氣ノ危急時ニ皮下注射ヲ行フ。糖油ハ水虫・田虫・疥癬濕疹ニ塗リテ効多シ。玄米スープハ解熱強壯劑、又強心ノ効アリト云フ。準備ニ米糖エキス、米糊膏イヒテオール米糊膏硫黄米糊膏アリ。新藥又貴藥ニ *Oryzanin* (三共), *Spelgon* (武田), *Beriberol* (らぢうむ) 等。 *Eukirin* (三共), *Phytin* (Ciba) ハ同化吸収サレ易キ有機性燐ノ28%ヲ含有スル故、骨疾患及身体及神経系ノ衰弱状態ニ一日4gヲ與フ。[其他効用] 邦人食品ノ第一位、一日モ不可缺。うるちね(粳)トもちごめ(糯)ノ別アリ、外ニおかぼ(陸稻)アリ共ニ數百ノ品種アリテ早(わせ)・中(なかく)・晚(おく)ノ別アリ。香氣アルヲ鼠米ト云フ。粳ハ食用・醸造(酒・味噌等)用フ、糯ハ餅・菓子・強飯トス。稻葉ハ繩・蓆・草鞋・簾・干馬飼料等用途広シ。

(2) おほむぎ(大麦・六角麦) *Hordeum sativum* Jess. v. *hexastichon* Hack. (やはね-おほむぎ, しかくむぎ, はだかむぎ等ノ変種ヲ含ム、効用全一也) 邦内栽培、西亞(メソポタミア)原産。種子ニ澱粉・蛋白 (*Hordein*, *Glutenin*, *Albumin*, *Globulin*), 脂肪, *Dextrin*, 糖介等ヲ含有シ重要ナル食用トナリホノ代用食トス。

麦芽(生藥)ニハ多量ノ消化酵素 (*Amylase* 一名 *Diastase*, *Invertase*, *Lipase*, *Protease* 等) ヲ含有シ、煎服スレバ滋養強壯劑トナリ、消化劑、健胃劑トナル、又銘ヲ造リ、麦酒製造ノ原料トナル。大麦ハ農民ノ常食トナリ、水飴・啤酒等ヲ

作ル原料トス。麦湯ハ利尿(脚氣)劑トナリ、麦飯ハ緩下性アル故緩下養料トナル。腫物ニ麦飯ト薑根・蜜ノ3味ヲ混ジ磨潰シ塗布シテ効多シ。

○(3) こむぎ(小麦) *Triticum sativum* Lam. var. *vulgare* Hack. 波斯原産、邦内各地栽培。種子ニ澱粉・蛋白 (*Gliadin*, *Glutenin*, *Globulin*, *Albumin*, *Leucosin*) 等ヲ含有ス。小麦澱粉 *Amylum Triticum* (局方) ハ米澱粉同様ノ効及藥効アリ、即チ撒布藥・賦形藥トシ栄養・食用(食パン・素麺・生麩・蒸うどん粉・めりけん粉)トス。麩ハ胃腸ニ特効アリト云フ。小麦ノ煎汁ハ利尿ノ効アリ、過飽ハ消化良好滋養多シ。種子ハ食用・麩ヲ作り、大豆ト混ジ味噌及醬ヲ作ル。味ノ素(鈴木)ハ小麦ノ *Gluten* ヨリ作りシ *Glutaminsäure mononatrium* (味ノ素) ナリ、一般調味料トスル外、矯味藥トシテ重用ス。麦薈ハ麦稈・眞田トシ帽子ヲ造リ、玩具ヲ編ミ又吸管トス。生麩ハ金ぴら糊ト称シ紙類板類ヲ接グニ用フ。やまど糊ハホルマリンヲ配シ腐敗ヲ防グ賣品アリ。

(4) おほあは(火粟梁) *Setaria italica* Beauv. 歐洲原産、邦内各地栽培。種子トあかがに(赤蟹)トヲ飯ニテ煉リ漆喬ニ外用シ、下痢ヲ治シ、眼ノ洗滌藥トス。又滋養強壯料、少量ノ甘草ヲ混煎服セバ下痢止ノ特効アリ、又利尿劑トス。

(5) あは(こあは粟・小粟) *S. italica* Beauv. var. *germanica* Trin. 歐洲原産、邦内各地栽培。前者ニ比シ花穂ハ細小、田粒形、總苞毛ハ彼ノ3-4倍長即小穂ノ3~4倍長。種子

ノ薬用上。粟ハ粟飯トシ又ホト台セ炊テ食ス。山民ノ常食也。又小鳥ノ飼料ニ重用ス。餅粟稷粟ノ2品アリ、甲ハ美味ニテ餅(あは餅)トシ、飯(あは飯)トス;うる栗ハ味劣ルモ食用トス、大栗・小栗共ニ莖ニ高低黄赤、穂ニ大小・長短・黄・白・赤・黒ノ各色アリ、数十品種ニ分ル。共ニ酒ヲ作り、水飴ヲ製シ、餅トシ焼酎ヲ作ルベシ。彼ノ琉球泡盛酒ハ餅粟ニテ作リン焼酎也。近似種系ノころぐさ(*S. viridis Beauv.*)ハ麦種多く、きん忍ノころ(*S. lutescens Hubbard.*)ト共ニ凶年ニ粟ノ代用食トス。

(6) もろこし(もろこしきび、たかきび、たうきび、かうりやん、蜀黍、高粱) *Holcus Sorghum L. var. Arduini Honda* 印度原産、日清支ノ各地ニ栽培ス。毛状花柱及柱頭ハ煎服シテ腎臓病ヲ治ス。高粱酒ハ種子ヲ原料トシ主ニ Palmitin-säure 其他少量ノ Stearinsäure, Myristinsäure, Oleinsäure, Linolsäure 等ノ Glycosid ヲ含有ス。種子ヲ粉トシもろこし團子(餅)トシ食ス、味甘微酸ナリ又餅トス。莖ハ瓦具ヲ作ル。変種ハほきもろこし(*v. transiens Honda*)ハ專ラ帚ヲ作ル。

(7) さとう-もろこし(あそく蘆粟) *H. Sorghum L. v. saccharatus (Koern.)* 栽培品、莖中ノ糖液ヲ採集シ砂糖ヲ製ス、固ヨリ甘蔗ノ多キニ及バズ。

(8) ねもんぐらす(ねもんがや、Lemon grass) *Andropogon citratus DC.* 旧熱帯原産熱帯地ニ栽培、日本ハ小笠原ハ

犬島、台湾等栽培。全株芳香ヲ有シ、精油畧0.3%ヲ含ム。主成分ハ Citral, Myrcen 等ナリ。莖葉ヲ湯瀉用トス; 精油ヲ香料トシ又香料 *jonon* $C_{13}H_{20}O$ (薫香)ノ合成原料トス。

(9) くしくり(くしくりさう、カーレカーリ) *A. muricatus Retz.* 東印度原産。印度ニテハ古来根ヲ鎮痙薬、疥癬薬、利尿薬トシ、感冒・発熱・月経異常・ヒステリー・痙攣・リウマチス・痛風等ノ治療ニ煎服ス。根ニ *vetiveröl* (揮発油) ヲ含有ス。

(10) きばるかや *Cymbopogon Geoungii Honda* 本四ノ琉球・小笠ノ山野ニ生ズ。変種あそをかるかや *v. viridis Honda* アリ。花穂ニ精油(*Elemicin*)ヲ含有シ香料トス。

○(11) じゃば-しとろねらさう(じゃば-かうすいがや、java Citronella grass) *C. winterianus Jowitt* 原産地ハセイロン¹島ナラン。ジャバ・スマトラ・マラッカ半島一帯ニ栽培ス。形態 Lemon grassニ酷似スルモ葉巾2倍(2cm)アリ。台湾ニ栽培ス [成分]葉ニ精油畧0.5%ヲ含有ス。主ニ *d-Citronellal* $C_{10}H_{18}O$, *Geraniol* $C_{10}H_{18}O$, *Citronellal* $C_{10}H_{20}O$; 高沸溜分ハ *α-Cadinen*, *Cymbopol*, *Elemol* 等ナリ。

[効用] 精油ノ2%酒精液ヲ蚊除香水又防虫薬トス、精油ハシトロネラ油又瓜哇山椒油ト称シ香料トス、芳香佳良ナリ。

(12) セイロン-しとろねらさう(*Cylon Citronell grass*) *C. Nardus Rendl.* 原産地同上?、セイロン島栽培。前種ニ酷似スルモ精油ノ性状ニ差アリ。セイロンシトロネラ油ヲ含有ス。効用同上。

(13) *C. Martini Stapf* ヨリ *Palmarosa* 油 (精油) ヲ取シ香料トス。主成分ハ *Geraniol* (70~90%)。

(14) *Vetiveria zizanioides Stapf* ノ根ヨリ *vetiver* 油ヲ取り香料トス。

(15) かうぼう (かうぼう香穂) *Hierochloa odorata Beauv.* 樺ノ北本 (北中部) ノ山地ニ粗生。根ニ香油ヲ含有ス。利用シ得ベキカ、未詳。

△ (16) たうもちニシ (玉蜀黍) *Zea Mays L.* パル-原産。邦内廣ク栽培ス。[成分] G. ノ柱頭及花柱ニ *Phytosterol* $C_{33}H_{65}OH$ ナルアルコール, *Peroxydase*, 葡萄糖・*Xylan*, *Galactan* 等ヲ含有ス。果実ニハ澱粉・蔗糖・転化糖, *Pentosan*, *Quercetinglykosid*, *Zeaxanthin* $C_{40}H_{52}O_2$ (Carotinoïd 色素), 蛋白質, イノシッドヘキサ燐酸 *Inosit-hexaphosphorsäure* 等ヲ含有ス。胚 (芽) ハ脂肪油 (*Olein*, *Palmitin*, *Stearin*) 及シトステリンヲ含有ス。[薬効] 花柱及柱頭ノ乾品又生品ヲ *Stigma maydis* (生薬, 津局) ト称シ。利尿薬トシテ著効アリ。(米津局), 腎臓病・水腫・淋病等ニ応用ス。種実ハ民: 感冒・胃病・腎臓病ニ煎服ス。新薬ニ *Pistin* (三共), *Takalidin* (櫻木) ハ花柱製剤ニテ諸種腎臓疾患, 水腫性脚氣, 其他一般浮腫性疾病ニ利尿剤トシテ内用ス。

○ (17) さとうきび (さとうのき, 甘蔗) *Saccharum officinarum L.* 印度原産, 日本暖帯ヨリ熱帯ニモ栽培ス。莖ニ *Saccharose* ノ傍ヲ *Lävulose*, *Dextrose* 等ヲ含有

ス。莖ヨリ (蔗糖 18-20% 含有) 蔗糖ヲ製シ薬用及食用トス。滋養印効劑ニシテ防腐(劑)ノ効大也。紅色甘蔗ノ根ハ肺病ヲ治ス。白糖 *Saccharum* (局方) ハ内用散薬ノ賦形薬・矯味薬又解熱薬(風薬)トス。 *Sirupus simplex* (シロップ) (局方) ハ矯味薬トス。

(18) からすむぎ (あんぱく, ちやひぎ, 燕麦) *Avena fatua L.* 北多ノ同ニ栽培ス。又野生状態不尠。燕麦種子ハ麦類中最蛋白質・脂肪ニ富ムハ注意ヲ要ス。又 *Trigonellin* ヲ含ム。澱粉ハ糖尿病患者ニ吸収セラルハマ直ニ糖ニ分解セス, 恰モ *Lävulose*, *Inulin* 等ノ關係ノ如シ, 故全患者ノ食用ニ好適ス。世ニ燕麦療法ト称ス。著名ノ牧草ニテ良馬料ナリ。

(19) ひえ (稗) *Echinochloa crusgalli Beauv. subsp. colona Honda v. edulis Honda* 邦内各地ニ栽培ス。山稗 (紀州 熊野等) ハ山地火焼地ニ作り陸稗ハ暖地ノ山ニ植ユ。水稗ハ加越ニ多ク水田ニ植ユ。以上品種多シ, 白稗 (白色) 黒稗 (黒) カモシカビ (長芒者 紀州 安居) 等其一ナリ。山民・戩民ノ常食ナリ。果実及莖葉ノ煎汁ニテ漆癩ヲ洗滌ス。種子ノ澱粉・蛋白質等ハ大麦・粟・玉蜀黍ノ其ニ比シ消化率遙ニ優良ナリト云フ。

(20) のひえ (いぬびえ, 野稗) *E. crusgalli Beauv. subsp. submutica Honda* 樺ノ北本・四ノ元・小笠・瑠台ニ分布シ湿地生。莖葉ヲ煎服セバ血行ヲ良シ, 脚氣・失氣ヲ治ス。

(21) きび (黍) *Panicum miliaceum L.* 印度原産邦内各地ニ

栽培ス。種子ヲ煎シ眼病ニ内服ス。又米ノ代用トシ山民ノ食トス。消化率優良也。

(22) どくもぎ(毒麦) *Lolium temulentum* L. 歐洲原産、歸化郡内各地ニ自生ス。種子中ニ *Temulin* $C_{17}H_{12}N_2O$ (Alkaloid) ヲ含有シ有毒也。木莖基ハ神経中樞麻痺及散瞳作用ヲ有ス、薬用未詳也。

(23) ほとむぎ(しろくむぎ、とうむぎ、薏苡回々米) *Coix Lachryma-jobi* L. v. *furmentacea* Makino 支那原産、邦内各所ニ栽培ス。〔生薬〕^{コイニン} 薏苡仁 *Semen Coicis* ハ種子ノ子殻ヲ剝除センモノ也。楕円形、長7mm、側面1有縱溝、淡黄白色、味糯米ニ類ス。〔成分〕種仁ハ水分8.5、蛋白17.6、脂肪7.2、澱粉51.9、灰分2.3ヲ含有ス。蛋白質ノ性状ハ小麦ニ類シ、*Coicin* (吉村氏)ト稱シ *Prolamin*, *Glutelin* ヨリ成ル；分解ニヨルアミノ酸ハロイシン、テロジンニ富ミグルタミン酸少キヲ異トス。葉ニ晶性 *Alkaloid* ヲ含有スト云フモ不詳。〔薬理〕薏苡仁油(種子ヲ石油エーテルニテ浸出シテ得)ヲ金線蛙ニ注射セバ、漸次運動麻痺ヲ来シ、呼吸ヲ停止セシム。家兔ハ初呼吸数増加シ、後麻痺症状ノ下ニ斃死ス。

〔薬効〕薏苡仁ハ養分(上記)多ク滋養強壯(薬)品也、營養劑及体質変換劑トス。漢：利尿薬、健胃薬トシ、肺病(持結核)ニ賣用ス。其他利尿薬、鎮痛劑、鎮痙劑、消炎劑、解凝劑、緩下劑タルノ諸作用アリ。其他鎮咳薬、リウマチス薬、神経痛、神経衰弱ヒステリー症ニ用ヒテ有効。其他浮腫、皮膚用、蜡、膿汁、膿血、白帶

下、疣贅、関節痛等ヲ治ス。氏：治疣薬、木賊ト等量煎外用及8-30瓦連服用)、脚氣薬(粥トシ食ス)。

〔処方例〕薏苡仁湯(中風・關節痛ニ有効)……(1)薏苡仁5、芍薬当帰各4、麻黄・桂皮各3、蒼朮4、甘草2、生姜ヲ入レ煎料200、1日量3回分服。(2)薏苡仁円(小兒頭瘡及胎毒諸瘡ニ有効)……大黃5、土茯苓20、薏苡仁10、以上3味各別ニ粉末トシ蜂蜜ニテ爲丸、40丸宛1日3回分服連用。〔新薬〕*Myotinin* (塩野)ハ根製品ニテ筋肉運動障害・消炎・鎮痛薬トス。*Coico-Lacmin* (三共)疣贅治薬内用薬。

(24) じゆすだま(すずだま、川穀) *C. Lachryma-jobi* L. *typica* Mak. f. *Susutama* Makino. 本邦各地山野生、又半野生。前種ニ比スルニ穎果ハ広楕円形、埃脚頂ヨリ厚ク甚坚硬也。種子ニ蛋白質・脂肪ヲ含有シ〔生薬〕川穀(種子)ヲ滋養強壯薬(薏苡仁代用)トス(煎用又食用)。莖葉ヲ煎服シ利尿・淋濁・胃病等ニ有効根ヲ煎服スレバ鎮咳薬・胃痛薬トナル。ほとむぎ種子ト同様飽菓子等ヲ作り食用トス。又救荒食トス。

(25) みのごめ(莖子、丙草)一名かすのこぐさ、あつたむぎ *Beckmannia erucaeformis* Host. 樺南千・北本・四九ニ野生、概水辺。種子ヲ飯ニ炊キ食ス、又猪肉ノ中毒ヲ消ス(全草煎服)。

種子ヲ食シ又糊トス。延喜、主水式正月十五日、供御七種粥料中ニ莖子アリ、古昔食用トセルガ如シ。

(26) おすみのを(鼠尾) *Sporoborus elongatus* R. Br. 本(中南部)四九・統谷ニ野生ス。莖葉ヲ煎服シ腫毒ヲ消シ、血熱ヲ癒ニ

シ淋病ニ洗滌ス。

(27) ささくさ(笹草) *Lophatherum gracile* Brong. v. *elatum* Hack. 本(中南部)四九流各ノ山地・山足生。乾葉ヲ煎服セバ解熱劑・利尿劑トナリ。肺ヲ清クシ、心ヲ爽快ニス。根ヲ墮胎ニ用ヒ、又吐瀉劑トシ下痢止トシ或不眠症・神經衰弱症ヲ治ス。

(28) よし(あし・蘆葦葎) *Phragmites longivalvis* Steud. 本四九流各、河岸・池沼辺ニ群生ス。〔生薬〕 蘆根 *Rhizoma Phragmites* ハ根莖ノ乾品也。氣味緩和稍甘シ。〔成分〕 糖類(蔗糖・還元糖)、蛋白 *Asparagin*、*Arginin* 等。

〔薬効〕 漢：煎服シテ健胃藥・鎮吐藥トス。民：解毒(河豚・豚蟹・鱷)藥ニ煎服ス。又胃熱ヲ去リ、解熱・止血・驅風・発汗・小兒胃腸病・全疔熱・解毒(一般魚類中毒)等ニ有効。其他根ヲ搗碎シ田螺ト混碎テ皮膚病ニ貼布ス。〔其他効〕 莖ハ簣トシ、松明トナシ、又筆鞘ヲ作ル。一種三角莖葎陸前ニ産ス莖管ニ珍重ス。

(29) きたよし(北葎) *P. vulgaris* Trin. 樺・南千・北本(北部)ノ全上。研究未詳ナルモよし同様ノ効用アルベシ。要此後研究。

△ (30) ちがや(つばき・白茅・茅) *Imperata cylindrica* Beauv. v. *Koengii* Durand et Schinz 北本四九流小笠原各ノ野生草。〔生薬〕 茅根 *Rhizoma Imperatae* ハ根莖ノ乾品也。徳島・茨城・東京産アリ。多摩川茅根ヲ最良トス。

〔薬効〕 漢：利尿藥又止血藥(吐血・衄血)トス。又利尿劑

(泌尿器諸病、黃疸、水腫等)トシ、強利尿トス。利尿ノ効最大ナリ。氷砂糖ヲ加ヘ煎服セバ解熱鎮咳ノ効アリ。〔其他効〕 新苗出テ幼稚者云茅針・つばき尾也。小兒採リ嫩穂ヲ出テ食フ、甘シ。夏時熟穂ノ葉ヲ取テ煮、赤染シ硝石ヲ加ヘテ火白トス。

(31) すすき(おはな・芒尾花) *Miscanthus sinensis* Anders. 樺北本四九流各ノ山野ニ群生ス。根莖ヲ煎服シ利尿藥・止渴藥トシ、又毒藥ヲ治ス。莖葉ハ屋根ヲ葎キ、牛馬ノ飼料ニ重用ス。秋七草ノ一也。古来詩歌ニ詠ジ、中秋望月ノ夜之ヲ花鏡ニ挿シ月ヲ賞ス。しますすき、たかのはすすき、いとすすき等皆觀賞セシム。

(32) ぎやうざれば(狗芽) *Cynodon Dactylon* Pers. 北本四九流各ニ野生ス。根莖ヲ狗芽根ト称シ、淨血利尿・解熱藥ニ煎服ス。

(33) はひむぎ *Triticum repens* L. 歐洲北本ノ産。生薬名ヲくらみにす根ト云フ。根ニ粘液 *Triticin*、*Vanillin*、*Glykosid*、*Inosit*、*Lävulose*、*Mannit* 等ヲ含有シ。発汗利尿・淨血劑ニ煎服ス。

(34) たつのつめがや(りゅうのつめがや) *Dactyloctenium aegyptium* Richt. 小笠原流各産。種子ヲ煎服スレバ腎臟炎ヲ治ス。

(35) いたちがや *Pogonatherum crinitum* Trin. 本(南)四九流各ニ自生ス。全草ヲ煎服スレバ淋病・水腫ヲ治シ解熱劑トナリ。又便秘ヲ通ス。

(36) ひめがるかや(おきなば-がるかや) *Apluda mutica* L.
琉名ニ生ズ。根ヲ搗碎シ毒蛇咬傷ニ用ヒ、莖葉ヲ搗碎シ纖維
ノミトシ脚部ノ糜爛病ヲ治スルニ貼布ス。

(37) をひりば(をひぢは、ちからぐさ、手筋草) *Eleusine*
indica Gaertn. 本(中南部)・四・九・琉・小笠・名ニ野生ス。莖
葉ヲ煎ジ外痔ノ洗滌劑トス。

(38) めひりば(めひじは、馬唐) *Syntherisma sanguinalis*
Dulac. v. ciliaris Honda 北・本・四・九・琉・名ニ野生ス。全草
ヲ搗碎シ液汁ヲ採リ米砂糖ニ混ジ服用セバ淋病ニ有効。

(39) まこも(こも菰、かつみ) *Zizania latifolia* Turcz.
北・本・四・九・名ノ水中池沼ニ群生ス。根及葉ヲ煎服スレバ瘡毒
ニ有効。又利尿劑トナリ、寸虫(寸白)駆除ニ効アリ。嫩芽ヲこも
つの(菰筍)ト称シ採食フ。或者キボ麦ニ和セ粥トシ食フ。又
葉ヲ黒焼トシ化粧用ノ黛(まゆすみ)ヲ作ルベシ。

(40) ほそすすき(細薄) *Miscanthus sinensis* Anders. v.
formosanus Hack. 台湾ニ野生ス。嫩芽ヲ煎服スレバ解
熱藥トナル。

(41) かりやす(刈安青茅) *M. tinctorius* Hack. すすきニ似
テ花ハ無芒。本(中南部)・四・山・野ニ自生ス。全草ノ煎汁
ハ惡瘡・膿漏等ノ局所ヲ洗滌スルニ用フ。乾全草ヲ黄色染
料トス。

(42) こぶぢぐさ(藎草) *Athrasom hispidus* Makino
種中多変種。北・本・四・九・琉・名ノ野生草、概群生。莖

全草ノ煎汁ニテ紙帛ヲ黄染ス、黄ハ大綱ハ此染料ヲ用フ。
根ヲ本草ヲハ大綱安ト称ス。

Fam. (ii). 花竹(竹)科 *Bambusaceae*

形質 — 全株小〜大形、0.10〜20 m 内外。地下莖ハ垂直横
走；稈ハ頂生又側生、硬直、全部又莖節不處。葉身ハ概有短柄、
花時間節状ヲナシ葉鞘ヨリ離脱ス；葉鞘ハ垂肥厚広潤、上部
鞘口概有剛毛(盾毛)。花ハ $F. f = P_0 + 3 \cdot r_0 + 2 \cdot r_1 + 3 \cdot A_3$
 $+ 3 \cdot r_3 + 0 \cdot G(3) \cdot r(1 \sim 2)$ 、概 $P_0 + 3 \cdot A_3 + 3 \cdot G(3)$ 。花序ハ頂端
生、多型。小穂ハ 1〜∞ 花、苞穎 2 又 2〜6、護穎 2 又 2〜4 (内
外護穎 1〜3 稀有芒、内護穎 1〜2 概又稜 2 齒)。花ハ鱗被
(花穎) 2〜4 齒、 $A_3 \sim 6$ 、 $G(1 \sim 3)$ 、柱頭 1〜3 齒。胚乳ハ多量、
粉状又坚硬澱粉粒ハ單一粒。

成分及効用 — 莖葉ニ珪酸 SiO_2 、加里、石灰等ヲ多含ス、
其他ハいね科ト畧全様。効用頗多ク、竿、旗、竿、釣竿、漁具、漁網、浮
標、海苔ノ粗朶、杖、煙管、火軸、薪(火力最強)、籬等トシ人生不可缺物
ノ一也、食用(筍、種子)、器具・建築・細工用(簾)、藥用、觀賞用
等多般ニ亘リ、葉及地下莖ニ至ル迄皆有用也。

分布及属種数 — 亜ノ熱〜温帯北ホ寒及阿熱帯ニ分布シ、
東亞最種類ニ富ミ、日本亦其圈内ニ在リ、世界ニ 45 属凡 600
種ヲ下ラザルベシ。日本ニ 16 属 330 種ヲ下ラス(内 *Sasa*
属凡 160 種内外アリ)、山野、林中、隙所ニ大小群生ス。

本科ノ藥用及有用植物：—

(1) まぢけ(にがたけ、かたけ、苦竹、天竺黄) *Phyllostachys*

reticulata C. Koch. 根中ニV.f.多シ。原産地支那本邦各地(本・四・九)ニ栽培ス。桿ニd-Glucose, l-Xylose, 硅酸, 石灰・加里等ヲ含有シ。鎮痛・鎮靜(中風, 神經痛, 驚風)藥ニ煎用ス。筍ハ利尿・緩下・強壯劑トシ。葉ノ煎汁ハ声ノ嘎レタルニ有効。桿ヲ建築用・器具用・弓材・目釘等トシ。荻ハ包物ニ適シ草履・下駄表・笠等ヲ編ム。筍ヲ食用トス, 但大若若シ。

(2) はらく(あはたけ, くれたけ, がらたけ, 淡竹) *P. nigra* Munro var. *Hemoris* Stapf 支那原産, 日本各地(本・四・九・台)ニ栽培ス。桿(竹茹)ノ中層ヲ止血(吐血・衄血)藥・肺毒藥ニ煎用ス。桿(竹瀝)ノ汁ヲ鎮咳藥・鎮吐藥トス, ス生姜併用ノ解熱・祛痰・驅風藥トス。竹葉ハ清涼・下熱・鎮吐・止血藥トス。其他ノ効用前同, 筍ハ不若。又觀賞用トス。

(3) まうさうちく(孟宗竹, 江南竹) *P. pubescens* Maxell 支那原産, 日本各地(本州中南部・四・九・台)ニ栽培ス。筍ヲ利尿・脚氣・祛痰藥又打撲傷藥トス。効用前同。

(4) くまささ(へりとりささ, 山白竹, 隈笹) *Sasa Veitchii* Rehd. 本・四・ノ河岸山麓ニ群生。蛋白質含不C, Asparagin, Xanthin 等ヲ含有シ; 嫩葉ヲ煎用治下劑。

(5) めだけ(ぢよたけ, しおべたげ, ながたけ, かほたけ, 山竹) *Pleioblastus Simoni* Nakai 本(中南部), 四・ノ林野生。桿ヲ炙リ滲出スル油液ヲ極ク少量飲メバ鎮咳藥トナル。

Fam. (iii) すげ(かやつりぐさ, 莎草)科 Cyperaceae

形質——①又②。莖ハ概△稀○柱狀, 概无實體節不着; 地下莖土糸達。葉ハ γ , 3稀 β 列生; 單葉長楕圓形~線形, 銳~鈍尖頭, 概有微齒縁, 葉鞘ハ完管狀, 回莖, 小舌ハ鞘口ニアリ多型。花ハ σ 又 ρ 。かやつりぐさ亞科 *Scirpoidae* ハ花ハ σ 稀 ρ ρ σ , F.f. = $P_3+3V_0V_2+0G(3)$, 小穂ハ ∞ 花, 稀1~3花ニテ ρ σ 稀(小穂花)ヲナス, 花被ハ鬚体。いぬのはらげ亞科 *Rhynchosporoidae* ハ花ハ σ 稀 ρ ρ σ , F.f. = $P_3+3V_0A_3+0V_3+0\sim 20G(2)$, 鬚狀花被ハ極稀正花被, 小穂ハ1~少花(擬小穂)。すげ亞科 *Caricoidae* ハ花ハ概 ρ σ , 稀 ρ σ , F.f. = $P_0A_3+0G(2\sim 3)$, (ρ = $P_0G(2\sim 3)$, σ = P_0A_3), 無被概 ∞ 花性ノ小穂ヲ形成ス; 小穂ハ ρ 性又 σ 性稀(ρ σ)性, 雄性小穂ハ上位, 雌性小穂(單雄穗・雌穗)ハ下位, 前者ヨリ ∞ 着生, 各基脚ニ苞穎2片アリ; ρ ハ2苞ヲ有ス, 外者ハ苞鱗(鱗片, いね科ノ外殼即外護穎), 内者ハ苞葉(葉苞又穎袋, 全内殼即内護穎, 但シ σ ニナシ)ト稱シ子房ヲ包圍ス。まへささノミナリ。

以上諸亞科ノ小穂即小花序ハ更ニ集リシ穂狀・總狀・頭狀・圓錐狀等ノ花序ヲ形成ス, 但いぬのはらげ亞科ハ擬小穂(花序)様ノ岐識花序ヲナシ, 各自ハ更ニ穂狀又頭狀ニ集リ複成花序ヲ成ス。子房ハ上位一室ノ倒生卵子ヲ含ム。果實ハ堅果又瘦果, 1ヶノ遊離性種子ヲ藏ス。種子ハ外反紋彫千慮万狀; 有胚乳粉狀。

成分及効用——研究不充分也; 灰分ハ硅酸 SiO_2 20~40

%其他脂肪油、揮発油、脂肪酸、蔗糖等ヲ含有ス。本科ハニ藝細工用・薬用・食用、観賞用、畳表用、席用、包装用、笠用、紙料、飼料等ニ供スベシ。

分布及属種数 — 世界ニ凡65属3000種ヲ産シ、熱〜寒帯ニ分布ス、湿地ヲ好ムモノ不尠。日本ニ凡21属450種〜500種ヲ産シ、全国ノ山野到ル所ニ粗〜群生ス。

本科ノ薬用及有用植物：— (1) かやつくりぐさ(まがやつり、にかやつり、莎草) *Cyperus microiria* Steud. 本・四・九・ノ原野・畑地等ニ点生。乾全草煎服シ利尿(脚氣)薬、祛痰薬トス。

△(2) はますげ(かうぶし、香附子) *C. rotundus* L. 本(中部)・四・九・小笠・琉・台・ノ海岸砂地生。[生薬] 香附子 *Rhizoma Cyperi rotundi*、乾根茎也。徳島・香川・千葉縣ニ多シ。[成分] 精油1%、主ニ *Cyperen* $C_{15}H_{24}$ 、*Cyperol* $C_{15}H_{24}O$ ナリ。他ニ脂肪酸・*Phenol* ヲ含ム。

[薬効] 漢：通経薬、鎮痉薬ニテ古来婦人ノ要薬。1日5丸用粉末。地下茎塊ヲ碎キ去皮煎用セバ止血・祛痰・通経・子宮出血・気管枝カタル・喘息ニ有効

(3) うきやから(やから、菰三稜、三稜) *Scirpus maritimus* L. 樺・北・本・四・九・琉・台・ノ水辺湿地生、概群生。

[生薬] 菰三稜(三稜) *Tuber Scirpi*、塊根ヲ採取、皮乾品。味甘有香臭。[薬効] 漢：通経・催乳ニ著効アリ。薬効はますげニ類；更ニ強烈、妊婦ハ墮胎ノ恐レアリ禁忌ス。

(4) くろぐわぶ(菊脂) *Helioschalis plantaginea* Boeck 本・四・九・台・ノ池溝・水田等ニ生ス。根茎ニ *Aderin*、*Trigonerin*、*Cholin* ヲ含有シ、黄疸薬・健胃薬トス。又水砂糖ト共ニ煎服セバ解熱・利尿ノ効アリ。根ニ蕈姑ノ如キ黒球アリ、煮食又生食ス。

(5) ひでりこ(木虱草) *Fembristylis miliacea* Vahl. 本・四・九・琉・台・ノ湿地・水田ニ簇生。莖葉ヲ煎服セバ毒蛇咬傷ヲ治ス。

(6) ひめくぐ(金祖草) *Kyllinga brevifolia* Rottb. 北・本・四・九・琉・台・ノ湿地・水田ニ生ス。根ヲ煎服シテ感冒及腹痛ヲ治ス。

(7) かさすげ(苔) *Carex dispalata* Scott. 樺・南千・北・本・四・九・ノ河岸、沼池辺ノ湿地ニ群生ス。根又全草乾煎服シ利尿薬トス。葉ニテ笠及蓑ヲ作ル。

(8) くろかはすすげ *C. arenicola* Fr. Schm. 樺・南千・北・本・ノ湿地、沼池辺生。根ハ辛烈味アリ、樹脂・澱粉ヲ莖ニ *Asparagin* ヲ含ム。根ヲ煎服シテ利尿薬・発汗薬トス。

第五目 棕櫚目 *Principes*

Fam. (i) シヤチ(棕櫚)科 *Arecaceae* (*Palmae*)

形態 — 莖又ニ稀分枝、稀々木本。挺幹頂ニ叢生葉冠ヲ頂ク。葉ハ、有柄羽状又扇状複葉、稀樹形又星分裂；葉鞘ハ概分解纖維性宿存着、葉裂片ハ摺襞糸状、断面ハV又八状。

花ハ概退化ニ由リ(♀♂)又♀♂, 稀♀又雄性, 概中稀中, 3数花, (⊙)。F.f. = P₃₊₃ A₃₊₃ G(3) (♀♂合記)多キモ唇P₃₊₃ A(3)(6)(9) G(1~3)等ノコトアリ; Pハ不顕着緑又黄色, 概苞様稀C状, 結合心皮ニ於テ3~1室。卵子ハ各心皮ニ1ヶ稀2ヶ宛生ジ, 倒生・半倒生・稀直生也。花序ハ腋生稀頂生, 花ハ無ス有枝ノ肥大花軸ニ着生, 1~数ヶノ花苞(佛咲苞)ヲ有ス。果実ハ漿果又核(石)果, 概載1種子。種子ハ胚乳豊富, 概含油性(脂肪及脂肪油), 又角質稀頑硬。

成分及効用——本科ニハ Alkaloid (Arecolin, Arexim, Arecaidin, Guvacin, Guvacolin), 含水C (Xylan, Galacto-mannan, 麦芽糖, 蔗糖, 沙吾澱粉), 有機酸(林檎酸, 鞣酸), 酵素類 (Semynase, Protease, Diastase, Lypase, Oxydase, Katalase), 其他ノ物質ニ Cumarin, Indol, Cholin, Lecithin, Cholesterin, Mannit, Quercit, Cocosit, 等ヲ含有ス。木本(いね)科ニ垂テ有要科, 食用, 藥用, 糖料, 澱粉科, 油料, 醸酒用, 木材用纖維用又觀賞用トス。

分布及種屬數——世界ニ128屬1200種ヲ産シ, 熱~暖帯ニ分布シ, スンダ諸島・モルツケン・南米ニ分布ス。日本ニ自生及栽植合計14屬24種ヲ下ラズ。

(1) しゅろ(わじゅろ 棕櫚, 棕櫚, 和棕櫚) *Trachycarpus excelsus* wendl. v. *typicus* Makino 九州ニ自生アリ。本(中南部) 四・九(大部分)ノハ野生状ナルモ栽培逸出也。皮・燒灰ハ止血, 金瘡, 疥癬ニ外用シ, 果ハ瘰癧(腫物)ニ煎服全治

シ。帶下, 崩血帶下ヲ治シ, 瀉止・リウマチス・中風・感冒・疝氣ニ有効。材ヲ屋柱, 欄干, 床柱, 鐘突棒, 小器具用トス, 皮毛ハ繩, 帚, 刷毛, 靴拭, 敷物トシ, 葉ヲ蓆, 蓆等ヲ作ル。又觀賞用トシテ栽培ス。

(2) たうじゅろ(りうきゅろじゅろ, 唐棕櫚, 琉球棕櫚) *T. excelsus* wendl. v. *Fortunei* Makino 支那原産, 本(中南部) 四・九ニ栽培。効用同上, 觀賞用トシテハ遙カニ前者ニ優レリ。

(3) びんろうじ(びんろう, 檳榔子) *Areca Catechu* L. 印度又馬來原産, 南洋, 台湾ニ栽培ス。[生藥] 檳榔子 *Semen Arecae* ハ種子也, 円形淡褐色, 角質。大腹皮ハ果皮也。

[成分] 單寧, 脂肪20%, Alkaloid (*Arecaidin* C₇H₁₁NO₂, *Arecolin* C₈H₁₃NO₂, *Guvacin* C₆H₉NO₂, *Guvacolin* C₇H₁₁NO₂, *Arecaïn*, *Arecolidin* C₈H₁₃NO₂ 等)中生理作用強キハ *Arecolin*ノミ, 他ハ殆ど無シ。[藥理] *Arecolin*ハ *Pilocarpin* 及 *Nicotin*ニ類シ, 中樞神経系及末梢腺器ニ興奮作用スル程度強弱者ノ中間ニアリ。故眼ニヨリ迅速ニ縮瞳作用ヲ呈ス。依テ急性緑内障ヲ救フベキモ持續時稍短シ。

[藥効] 漢: 消化藥, 絛虫驅除藥(独逸モ, 及歐医用), 民: 脚氣衝心, 煙草中毒(木)。点眼(縮瞳)藥ニ プロム 水素酸アレコリン 0.5% 溶液ヲ用ヒ, 絛虫驅除藥ニ其 0.004~0.006ヲ使用ス。大腹皮(果皮)ハ鞣酸ヲ含ミ健胃藥, 利尿藥トス。 *Semen Arecae* (準局) 檳榔子粉末ハ驅虫外, 收斂藥トシテ齒磨粉ニ加フ。

齒ヲ強健ナラシムル外、健胃利尿ノ効アリ。

東印度・馬來地方ノ土人ハ此果實ヲキ切シ、石灰泥ヲツケ、胡椒類(きんま等)ノ葉ニ包ミ嚼煙草ノ如ク常習的ニ咀嚼ス、爲ニ齒齦腔内暗紅色ヲ呈シ、頗ルグロナリ。獲椰子ヲ嗜好スル台灣土人ヲ檢スルニ腸寄生虫少ク視力障害ノ治癒スルハ、

Arecolin ニ因ルベク、下痢ノ少キハ單寧ノ作用ニ因ルベシ。

(4) ひろう(たがやさん、蒲葵) *Livistonia subglobosa Mart.* 四・九・琉・台ニ自生スル喬木、宮崎縣ノ蒲葵島ノ林ハ天然紀念物也。根ヲ腹痛及淋病ニ用フ。葉ニテ蒲葵笠・蒲葵扇(團扇)・蓑等ヲ作ル。材ハたがやさんと稱シ堅密・有條斑、床柱・丸火鉢ヲ作り雅致アリ、又杖・洋傘柄等ヲ作ル。

(5) おがさはら-ばら(小笠原蒲葵) *L. boninensis Nakai* 小笠原島産。効用全前。小笠原土人ハ嫩葉ヲ蔬菜ニ代ヘ食用トス、蚊-レキマベ-ラ-トリ-ト稱ス。

(6) ヤレ(ニヤレ、椰子、古々椰子) *Cocos nucifera L.* 阿及重熱帯原ナルニ現今ハ全世界ノ熱・亞熱ニ栽培ス。日本ハ琉・小笠・名ニ栽培ス。〔生藥〕果肉、果漿、椰子油ハココ油 *Oleum Cocos* 脂肪ヲ藥用トス。〔成分〕椰子油ノ脂肪酸ハ主ニ *Glycerid* ノ型トシテ含有セラル (*Laurin, Myristin, Palmitin, Stearin; Laurin-, Myristin-, Palmitin-, Oel-, Stearin-, Capron-, Caprin-, u. Capryl-säure-Glycerid*)。〔藥効〕果肉ハ生食シ滋養強壯ノ効アリ。果漿乳ハ飲用ニ供シ、多量ノ糖介ヲ含ム故酒ヲ作ル。

種仁ハ白色乾燥品ヲ *Copra* ト稱シ、食用トシ、其油ハほと代用品トシ、石鹼及蠟燭・蠟燭ノ原料トシテ最重要也。又椰子油ハ軟膏基礎劑トシ、ボマ-ド原料トス。〔其他効用〕高10~30 m. 材ハ堅牢美麗建築用、器具用。根ハ一種ノ嚙草ヲ作ル。樹液(糖ヲ多含)及花梗汁ハ酒ヲ醸ス。葉ハ尾根ヲ葺キ絲ヲ取ルベシ。年々一樹ノ産果百~百五十箇、果皮纖維ハ強靱、綱及網ヲ作ル。果殼直下ハ木質層中ニ乳漿液果殼ハ梳ヲ作ル、誠ニ百木ノ王也。

(7) さご-やレ(沙吾椰子、セびやレ、西穀椰子) *Metroxylon Rumphii Mart.* 南洋諸島、東印度、馬來地方産。莖心部ヨリ取ル澱粉ヲ *Sago-Stärke* ト稱シ、緩和滋養料トシ、又食用トス。種仁ニ *Saccharose, Galactan, Mannane*、澱粉ヲ含有ス。

(8) かつか-やレ(かつめじゆろ、棗椰子、戰捷木) *Phoenix dactylifera L.* アラビア、阿ノ海岸地帯生。果實ヲ海棗ト稱シ糖介(澱糖、果糖)、 *Cumarin*、脂肪、 *Tannin*、 *Pectinstoff* (白素)ヲ含有シ、滋養緩和藥トシ、又食用トシテ美味ナリ、有益ナル食品也。根ヲ生食シ、若葉ヲ食シ、樹液ヨリ砂糖ヲ製シ、又酒ヲ作ル。材及葉ノ効同椰子ト全一也。

(9) どの-やレ *Calamus Draco Willd.* 熱帯各地産。樹脂(麒麟竭)ニ樹脂(*Dracoalban, Dracouisen*)、 *Benzoesäure, Zimmtsäure* 等ヲ含有シ、收斂(下痢出血)藥トス。又藤家具ノ原料トス、本種ハクシ(藤)ノ一種ナリ。

(10) あぶら-やレ(油椰子) *Elaeis guineensis Jacq.* 西阿、ア

ラシル産。果ヨリ椰子油 *Oleum Eläis* (*Palmöl*)ヲ製シ種々ノ用ニ供ス。

第七目 佛焰花(鞘苞花)目 *Spathiflorae*

本目ヲ一名「花柱目」又「棍棒花目」*Spathiciflorae* トモ稱ス。棍肉穂花序、花退化シ屢〇又減數ス。次ノ2科アリ。

- { 植物ハ扁平ノ葉狀体ニテ莖葉ノ別ナン……Fam. (i) うきぐさ(浮萍)科 *Lemnaceae*.
- { 植物ハ明瞭ナル莖ト葉トヲ有ス……Fam. (ii) てんなんれやう(天南星)科 *Araceae*

Fam. (i) うきぐさ(浮萍)科 *Lemnaceae*

形質——浮游性ノ(1)。莖ハ葉狀体トナリ、円形、楕円形、倒卵形〜倒披針形、裏面ノ1(*Wolffia*屬)又2ヶノ凹囊アリテ1ヶ宛ノ側面(芽)ヲ出シ、固着ノ連續百條系態ヲ成ス。根ハ1苗條1ヶ(あとうさぐさ屬)又∞、單條無枝、先端破根鞘、稀無根(*Wolffia*屬)。葉ハ微小、低出葉(うきぐさ屬)又無葉。花ハ苗條裏面ノ凹所ニ生ジ(♀♂)、花序ハ無苞(*Wolffia*)又有苞、♀♂共ニ±分裂セル佛焰(莖狀)苞囊中ニ同居、無軸無梗; ♀=Po G1, ♂=Po A1, ♀ハ1ヶ♂ハ1~2ヶ, Aハ葯ハ單胞無絲(*Wolffia*屬)。又2胞有絲; Gハ單果葉1室、1~6ヶノ直生〜倒生卵子ヲ包藏ス。果実ハ胞果、不裂又裂開。種子ハ被2皮、胚乳ハ薄弱。

成分及効用——成分不詳。本科植物ハ凡テ水禽ノ食餌ト

ナル。又藥草アリ、多繁殖性ハ水田及養魚ニ有害也。

分布及屬種數——世界ニ2亞科(うきぐさ亞科 *Lemnoi-deae*, みぢんこ-うきぐさ亞科 *Wolffioideae*) 4屬畧30種ヲ産シ、熱〜温帯ニ分布ス。日本ニ3屬6種ヲ下ラス、皆水上浮游又水中生活ヲナス。

本科ノ藥用植物:—(1)うきぐさ(うきぐさにうきぐさ、たね及し、浮萍、水萍) *Spilodela polyrrhiza* Schleid. 樺・北・本・四・九・琉・台・産。全草ヲ採乾シ利尿(浮腫)、解熱(発汗)薬ニ煎服ス、又鬚髮ヲ長セン、瘡癩ヲ治ス。(浴湯用トシテ全効、皮膚痒ヲ治ス)。又蛇咬、腫毒、丹毒、湯火傷等ヲ治スルニ生ノ俵摺竹ペン。

(2)あとうさぐさ(青萍) *Lemna paucicostata* Hegelm. 北・本・四・九・琉・台・産。全草搗碎和酢助長腫物、連腫口ヲ開クニ塗抹ス。

(3)ひんじも(品藻、品字藻) *L. trisulca* L. v. *sagittata* Makino. 樺・北・本・四・産。全草ヲ搗碎シ其液汁ヲ塗抹スレバ頑癬ヲ治ス。莖葉灰ハCaO, SiO₂, Fe₂O₃ 等ヲ含有ス。

Fam. (ii) てんなんれやう(天南星)科 *Araceae*

形質——(2)概板莖ス塊莖ヲ有シ多湿地稀水中生ス陸生; 熱〜亜熱産ニ多シアリ。葉ハ根生又莖生、單葉無裂稀羽裂有孔。窠 *Monstera* 又複葉鳥趾系。花ハ概(♀♂)稀♀♂又稀♂; 概3~2數花稀1A 1G花(退化ニ因ス); F. f.=Po~3~4~6A1~2~4~6~8G1-(2~4~6);

子房ハ1~數室、各室1~數ヶノ倒生〜直生卵子ヲ藏ス。肉穂花序(花柱)ハ太花軸上ニ粗〜密着花概大〜小佛焰苞ノ筒ヲ

有。花序ヲ被フカス不叙；花柱、早ハ下位種ハ、全ハ上位種ハ少数。果實ハ漿果(概集台)稀乾果。種子ハ2膜皮、概有胚乳稀無。

成分及効用— Conicin (Konin) 糖 Alkaloid, 青酸 Mannan 炭水化合物, Mannose, Hesperidin, 配糖体, Acorin, Saponin 及其他, 脂肪油, 揮発油, Cholin, Mono-methylamin, Tri-methylamin, 鞣酸等ヲ含有ス。有毒植物不詳。食用, 藥用, 觀賞用ニ供スルモノアリ。

分布及属数— 世界ニ105属凡1900種ヲ産シ、熱帯(多)寒帯(少)ニ分布シ生態多様也。日本ニ自生又栽培スルモノ凡20属100種(内テノ自生レヨリ属50餘種自生ス)ヲ下ラス。

本科ノ藥用及有用植物:—

(1) レヤウボ (欧産菖蒲) *Acorus Calamus* L. 北半球諸國(印度)ノ沃池ニ群生ス。[生藥] 菖蒲根 *Rhizoma Calami* ハ乾根莖ナリ。[成分] 精油 (Pinen, Camphor, Campher, Calamenol) 配糖体 (Acorin 苦味質), 塩基 (Calamin?) 等ヲ含有シ、芳香性健胃藥トス。尚香水・リキユール酒ヲ製スルニ賞用ス。

(2) レヤウボ (和産菖蒲, 水菖, あやめぐさ, おにせきレヤウ)
A. Calamus L. v. *angustatus* Bess. [産地] 北・本・四・九, 沼・沃池・水辺ニ群生。[生藥] 菖蒲根 *Rhizoma Calami angustatae* ハ地下莖, 縦割乾品也。[成分] 根莖中ニ豊富ニ精油 (Methyleugenol, Sesquiterpen $C_{15}H_{24}$, n-Heptylsäure, Palmitinsäure, 某酸 $C_{10}H_{12}O_2$ 。

Eugenol, クレゾール, Asarylaldehyd $C_{10}H_{12}O_2$, Asaron $C_{12}H_{16}O_3$, Paraasarön, Calameon $C_{15}H_{22}O_2$,

Calamen $C_{15}H_{22}O_2$ ヲ含有ス。[藥効] 欧菖蒲根ト全効アリ, 其代用品ナルモ稍悪臭アルヲ欠点トス。全草ヲ湯湯用トシ、体ヲ温ムル温体藥。心痛, 耳鳴, 下血ニ1~2瓦煎服。又菖蒲酒ヲ作り強壯藥トス。[其他効] 觀賞用トシ又端キノ節句ニ葉ヲ捲キ挿シ以避悪氣。

(3) セキレヤウ (石菖, 石菖蒲) *A. gramineus* Soland 本(中部)・四・九・台・ノ・沃池・溪畔ニ群生ス。[生藥] *Rhizoma Acori graminei* ハ根莖乾物也。根莖ニ0.5~0.8%ノ精油 (Asaron $C_{12}H_{16}O_3$, Palmitinsäure, Phenol)ヲ含有シ、健胃, 鎮痛, 鎮靜, 驅虫藥, 目藥トス。又強壯藥, 神經衰弱, 健忘症ヲ恢復ス。尚湯湯用トシテ婦人腰疼・腹痛ノ温体藥トス。又皮膚病ニ有効。觀賞用(庭種・盆栽・石付水盤)。

(4) くばずいも (いしいも, まんじういも, どくいも, 石芋, 山芋, 毒芋) *Alocasia macrorrhiza* Schott. 四・九・琉台・其他東印・南支那ノ山野生。根ヲ健胃・腹瀉・霍乱・疝氣ニ煎服。搗碎ノ根莖ニ貼布。澱粉質多ク味甜, 除芋味可食。

△(5) こんにやく (こんにやくいも, 蒟蒻(芋)) *Amorphophallus konjac* C. Koch. 支那原産。日本各地ニ栽培。[成分] 球莖ヨリ取ル蒟蒻粉ノ主成分ハ Konjak-Mannan 約50%ヲ含ミ、Diastase 及細菌ニ依テ分解シテ重糖類, Laevidin (-linose 大概氏)ヲ得。此糖ヲ酸ト煮沸セバ Man-

rose 2 ト葡萄糖」= 分解ス。葉 = *Comin* 様 *Alkaloid* ヲ含有ス。〔藥効〕 乾球茎ハ利尿・止瀉・鎮咳藥トス。〔其他初用〕 乾球茎ヲ碎キ蒟蒻粉(芋味アリ)ヲ取ル、有毒ナレド石灰ヲ加ハ、毒ハ無毒ノこんにやく(食用)トナル。又粉ヨリ粘(糊)料ヲ作り物ヲ接キ紙ヲ貼ル、又輕氣球空氣枕ノ塗料トス。Pulvis *Konjac* 蒟蒻粉(津島)ハとらがんと代用・布帛塗料・硬膏製造用トス。

(15) みつさせん(みついも、ひめかいう) *Calla palustris* L. 標・北・本(北部、焼石岳ノ岩地等)ノ池沼ニ群生ス。生根ハ蛇咬傷ニ有効、又葉ヲ毒虫咬傷ニ塗抹ノ有効、根ハ含多量澱粉食スベキモ必乾根ヲ可用。

(17) さといも(はたけいも、青芋、黒芋) *Colocasia antiquorum* Schott. v. *esculentum* Schott. 印度原産、日本各地(本・四・九・台)ニ栽培ス。莖莖ニ澱粉・粘液質(*d-Glucose*)、重台無水物ヲ含ミ；止瀉劑トシ虫螫・肩凝・神経痛・湯火傷・瘰癧・疥癬等ヲ治シ、抜刺・毒蛇咬傷・妊婦心煩・胎動・扁桃腺炎及腫物(凡テ貼布即醫布劑)等ニ用テ有効。生薑ノ卸汁及食塩各少量ヲ加フレバ更ニ有効。又緩和強壯藥トス。さといも、莖莖及葉柄(あどすいさ)ヲ食用トシ、又ひこすいさヲ製ス。きぬかつぎハ蔗芋ヲ云フ。おくいも又赤がら又赤すいさハ葉柄長大魁大子少モ味さといも(子多柄綠色)ニ優リ柄ハ萎味ナシ、芋がら一名すいさヲ乾製シ貯食ス、味頗美。やつがしらいもハ魁大多頭。あぐいもハ春もやレトス。花咲ク

コトアリ。此外あかいも、だんごいも、くりいも、おんないも等アリ。をくいもハ水盤(盆載)ニ入レ觀賞トシテ佳ナリ。

(8) みつばせう(ベニのれを、親奇連) *Lysichiton camtschaticense* Schott. 標・千・北・本(北中部)ノ山原・湿地・沼沢ニ群生ス。乾全草又乾葉ヲ利尿・巻汗藥ニ煎用ス。又脚ノ水泡ノ濕毒法ニ外用ス。毒草不可食。成分未詳。

(9) させんさう(だんまさう、地芥金蓮) *Symplocarpus foetidus* Salisb. 標・南千・北・本(北中部)ノ湿原・沼地ニ点生又粗群生。毒草、生葉ヲ揉ミ毒虫咬傷ニ塗抹シ即効。成分未詳。

○(10) ぼんげ(からす代りやく、ハセクリ、半夏) *Pinellia Ternata* Breit 及其 var. *f* 北・本・四・九・環・台ノ湖池田畔・田圃ニ点生又粗群生。〔生藥〕半夏 *Rhizoma pinelliae* (局方)ハ上用ニ地下ノ球茎ノ除皮乾燥品也。〔成分〕球茎(根莖)ニ精油(固有毒)及脂肪油ヲ含ム、又 *Konium* 或 *Nicotin* 類似ノ液体 *Alkaloid* ヲ含有シ、藥理作用ニ莖ニ類シ中樞及末梢麻痺作用ヲ有スルモ、加彼等運動中樞及交感神経節ヲ興奮セズ。半夏ノ鎮吐作用ハ *Phytosterin* ニ基ツト云フ。

〔藥効〕半夏(局方)ハ古来鎮吐ノ要藥ニテ特ニ妊婦ノ嘔阻ニ實用ス。即其ノ8-15瓦ニ生薑少量ヲ加ヘ煎服(3回ニ分服)ス。又胃内停水アリテ其上逆ニ因ル惡心吐ヲ治シ心痛・咳嗽・眩暈・心悸亢進ニ有効。尚祛痰・咽喉腫脹及其疼痛ヲ治ス、又脚氣・慢性胃腸カタル・胃潰瘍等ニ甚ク鎮吐劑トス。

[處方例] 小半夏湯 (妊婦嘔吐ニ有奇効) 半夏10, 生薑6.
以上2味煎劑100, 頓服/回量. 半夏煎 (葱阻ヲ治ス) 半夏
15, ヲ水300 = 煎詰メ, 生薑舍利別 (しらつぽ) 20, ヲ加ヘ, 1日3
回2日分服.

[新藥] *Tukatol* (三幸), プロム吉草酸透鼻体配伍ノ鎮吐
劑. *Esvomin* (帝國製藥) 半夏ヲ主成分トス.

(11) おぼはんげ (大半夏) *P. tripartita* Schott. 四・九ニ分布
ス. 半夏ト成分ヲ同フスバク (未詳). 同効アリ, 稍同様ニ使
用セラル. 即根莖ヲ鎮吐・鎮痙・祛痰・健胃吞汁及驅虫劑トス.

(12) てんなんしゃう (まむれぐさ, へびのたいはち天南星)
Arisaema serratum Schott. 南十・北・本・四・九ノ山麓
林地等ニ点生稀粗麻茎.

[生藥] 天南星 *Rhizoma Arisaematis* 秋季ノ乾根莖
ニテ伴子. [成分] 不詳. 但澱粉及 *Saponin* ヲ含ムモ恐
クハ *Konin* 概 *Alkaloid* ヲ含有スルナラシカ. [藥効]
乾根莖ノ粉末ヲ内服スレバ鎮吐・祛痰・驅虫 (胃腸ノ虫) ノ効アリ.
又同粉末ニ木瓜粉ヲ加ヘ稱差 (とこすれ) ニ反復外用ス.
効大, 又メリケン粉ト生薑ヲ加ヘ捏テ「リウマチス」痛節・腫
物・痛風・疣贅・異子又肩凝リ及胸痛ノ局部ニ塗布シ紙及履
(又毡布劑トシ) テ治ス. 粉末ヲ酢又梅干ニ捏不足裏ニ貼
レバ (小兒) 舌荒レ・白舌・鼻痛・頭痛 (側面貼付) ヲ治ス.

地下莖ハ味辛烈, 食ハ咽喉及消化器ニ毒失症, 子実ニ含有
毒, 成分不詳.

(13) むさしあぶみ (曲阪) *A. ringen schott v praecox*
Engl. 本 (中南部)・四・九・琉・各ノ瀕海林中生. 莖葉共ニ奇烈
性苦味ヲ有スル有毒植物也.

(14) うりしまさう (はれハッコ, 虎掌) *A. Thunbergii* Klume
北・本・四・九ノ山麓林野ノ林中生. 地下莖及子実ハ味辛烈,
食ハ起腹痛, 出血及毒垂涎, 毒言不能トナル. 藥理不詳. 成分
不詳.

(15) まいづる-てんなんしゃう *A. heterophyllum* Klume
v-typicum Makino. 本 (中南部)・四・九ニ自生ス. 天南星
ノ正品トシ漢: 祛痰藥・解毒藥トス. 根莖ニ *Saponin* ヲ
含有ス.

第八目 粉狀(質)胚乳目 *Farinosae*

花ハ♀♂, 3又2数性 (⊙) ⊙ 又 ⊙ 或 ⊙ 稀, 概 F. f. =
P3+3v. K3C3 A3+3γ. 3+0v. 1 G (3)-

6科ノ檢索表

}	卵子ハ倒生	1
	卵子ハ直生	4
1.	花被ハ一様同形質	2
	花被ハ二様ニテ K, Cノ別アリ, G (3)-ニテ3室, ∞ノ卵子ヲ包藏ス	
	Fam. (iii). 馬仔仔 (鳳梨) 科 <i>Bromeliaceae</i>	

- 2 { 花ハΦ, 子房1又3室, 各室=∞ノ卵子ヲ生スルカ又1室ノ卵子ヲ藏ス 3
- 2 { 花ハΦ 子房3室, 各室=1ケノ卵子ヲ藏ス; 葉ハ屋先端ニ卷鬚ヲ生ス 3
- 3 { Fam. (i) どうつるもどき(山藤)科 *Flagellariaceae*
- 3 { P5 C状全形頂, 但外輪3片中2片結合, 内輪ハ2ケノ小片ナリ; A1; 葉ハ細長2縱列生 3
- 3 { Fam. (vii) たぬきあやめ(狸蕪)科 *Philybraceae*
- 3 { PハC状3+3 Aハ概3+3 稀3又1ケナリ 3
- 3 { Fam. (vi) みつあふみ(雨久花)科 *Pontederiaceae*
- 4 { 花ハ♀, K3 C3 Cハ概美麗 3
- 4 { Fam. (iv) つゆくさ(鴨石草)科 *Commelinaceae*
- 4 { 花ハ甚小形 (♀♂), Pハ2枚, K2-3 C2-3 稀K2-3 Co 極稀 KoCo 3
- 4 { Fam. (ii) ほしくさ(穀精草)科 *Eriocaulaceae*

Fam. (i) どうつるもどき(山藤)科 *Flagellariaceae*
 形質—— 花又蔓性。葉ハ♀, 單葉, 葉鞘, 葉先端有卷鬚。
 花ハ小形 ♀♂, 中, 3数性; F. f. = P3+3 A3+3 G(3), 花被ハ苞状又C状, 稀K3 C3, 子房3室, 柱頭3, 各室ニ倒生卵子藏1箇, 内角(中軸)胎座。円錐花序。果實ハ漿果又石(核)果, 3子室, 3~1石核。種子ハ粉狀胚乳, 胚ハ扁豆狀。
 分布及屬種數—— 世界ニ3屬凡8種, 熱阿・亞・濠ニ分布ス。

日本ニ1屬1種。
 本科ノ藥用植物: —— (1) どうつるもどき(さんとう, 山藤), *Flagellaria indica* L. 小笠原・琉・台ニ産ス。葉ヲ收歛藥トス, 又觀賞用ス。

Fam. (ii) ほしくさ(穀精草)科 *Eriocaulaceae*
 形質—— 稀①, 湿地及沼澤地生, 縮短莖及花莖アリ。葉ハ根叢生, 單葉, 狀~廣線形, 窓狀孔痕, ♀, 別ニ苞花軸鞘葉アリ。花ハ細小, (♀♂), 中又Φ, 3~2数性; F. f. = K3~2 C3~2 Y. K3~2 Co v. r. KoCo A3+3 v. 2+2 v. 3 G(3~2), 概K3 C3 A3+3 G(3) 花被ハ乾膜質, 子房3~2室, 各室ニ1ケノ直生卵子ヲ含ム。花序ハ花(軸)莖上ニ爲頭狀花序, 總苞片∞, 多花ヲ容ル, 各花有1苞。果實ハ蒴果, 房裂性。種子ハ有胚乳。

成分及効用—— 成分未研究。藥用及觀賞用トス。
 分布及屬種數—— 世界ニ6屬凡600種ヲ産シ, 熱(多)-温(少)帯ニ分布ス。日本ニ1屬凡40種ヲ下ラザルベシ。

本科ノ藥用植物: —— (1) ほしくさ(みつたまさう, 穀精草) *Eriocaulon Sieboldianum* S. ety. 本・四・九・琉・台ニ分布シ, 湿地生。全草ヲ解熱利尿藥及眼病一切ニ有効。
 (2) ひろはのいぬのいけ(九死還地草) *E. robustum* Makino 本・四・九・台ノ湿地生。果實ノ煎汁ニテ眼病ヲ洗滌ス。

Fam. (iii) あななき(鳳梨)科 *Bromeliaceae*
 形質—— 概②, 稀♀又着生植物。莖ハ概短太。葉ハ♀, ②, 概根生, 單葉, 概線形~廣線形又廣鞘狀又紐狀, 葉刺狀, 細銳鋸齒

縁、腰肥厚又肉質、葉上ノ鱗毛ハ水分吸収ニ便ス。花ハ概 $\frac{1}{2}$ 概 $\frac{1}{3}$ 中稀 $\frac{1}{4}$ 、3數性。F. f. = K(3) C(3) A(3+3) G(3); Kハ草又草質、宿存性、Cハ屢内側基部ニ具鱗片; 子房ハ3室、各室ニ ∞ ノ倒生卵子ヲ含ム; 花柱ハ單体稀ニ缺如ス。

花序ハ總狀、頭狀、總狀、円錐狀花序ニテ屢有色大形ノ高葉ヲ伴フ。又球果狀頭ニ冠極短。漿果又核果或鞘果。種子ハ小形、種子並種梗ハ屢假毛冠トナリ纖維狀ニ介殼且積散ス、胚ハ細小有粒狀胚乳。

成分及効用 — 有機酸、糖類、酵素等ヲ含ム。美味果ヲ生ジ又纖維用、藥用、觀賞用ニ供スルモノアリ。

分布及屬種數 — 世界ニ約40屬1000種ヲ産シ、總テ米、熱帯ニ分布ス、熱〜亜熱ニ広ク栽植ス。日本ニハ小笠原、台ニ栽植スルモノ3屬3種アリ。

本科ノ藥用及有用植物: — (1) あななす(まつりんご、パイナップル、鳳梨) *Ananas Comosus Merr.* 西印度原産。中南米、北米、西印度、ハワイ、馬來ニ栽培。小笠原、台湾ニ栽植ス。

果實ハ美味可食、且蛋白質消化ノ効アリ。葉ヨリ纖維ヲ取り織物及紙ノ原料トス。果ニ Bromelin (蛋白質消化酵素) 及 Amylase ヲ含有。其他糖類 (Citronensäure, weinsäure, Apfelsäure) 等ヲ含有ス。果ニ糖類 (蔗糖 Saccharose, 葡萄糖 Glucose, 果糖 Fructose, Invertzucker), Mannit, 有機酸 (林檎酸 Apfelsäure, 酒石酸 weinsäure, 枸橼酸 Citronensäure) ヲ含有シ

食用、利尿、驅虫、止渴藥ニ使用ス。

Fam. (iv) つゆくさ (鴨跖草) 科 *Commelinaceae*

形質 — ①又②。莖ハ直生〜伏臥節ハ明〜隆起。葉 γ 、單葉有葉鞘。花ハ $\frac{1}{2}$ 中 $\frac{1}{3}$ 、概3數性。F. f. = K(3) C(3) A 3+3. G(3~2); Cハ概美麗、青、紫、紅、白等芽中覆瓦列; Aハ屢減數又無粉飾用者ヲ混生、花絲屢有毛; Gハ單体花柱; 子房ハ3~2室、各室ニ1~少數ノ直生卵子ヲ含ム。腋葉腋生又偏葉苞腋生ノ聚繖花序、或常苞アル總狀又円錐花序、稀單生花序。果實ハ鞘果。種子ハ有胚乳、胚ハ其頂端ニ位ス。

成分及効用 — Blausäure ヲ分離スル化合物知ラル、他不明。藥用、染用、觀賞用、植物實驗 (原形質運動及全介殼等) 用等ニ供ス。

分布及屬種數 — 世界ニ25屬凡350種ヲ産シ、熱(多)〜温(少)帯ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡11屬30種アリ。

本科ノ藥用及有用植物: — (1) つゆくさ(ぼうしほな、あそぼうし、鴨跖草) *Commelina communis L.* 樺・北・東・四・九・琉ニ野生ス。変種ホホくさ(ぼうしほな var. *hortensis Makino*) ハ花頗大形、近畿ニ栽培セリ、染用トス。根莖ニ澱粉及粘液質ヲ含有シ、強心藥、利尿(淋病)藥トス。葉ヲ揉ミ毒虫醫術ニ貼付ス。又Cヨリ靛液ヲ液紙ニ藍紙ト稱シ衣服下絵用繪具トス、特ホぼうしほなヲ優良トス。

(2) しまつゆくさ(はたかつゆくさ、島鴨跖草) *C. nudiflora L.* 琉台ニ自生ス。莖葉ヲ敲キ腫熱ヲ散ル爲患部ニ貼付シ

或打撲傷=有効。

(3) 右みつゆくさ *C. nudulata* R. Br. 琉・台・自生。効用全上。

(4) むらさきおもと *Rhoeo discolor* Hance メキシコ原産。前日本ニ栽培。全草ヲ搗碎シ、切傷、腫物ニ貼用ス。

Fam. (V) みつあふひ(雨久花)科 Pontederiacae

形質— 池沼生又水生。①ス④。莖ハ円柱状、假軸性。葉ハ γ 、單葉、卵形〜心形、葉2列生。花ハ δ 、 ϕ 、3数性。F.f=P(3+3)A3+3K3+0R.1G(3), PハC状、花柱ハ1体、子房ハ3室有 ∞ 卵子カ又1室1卵子ナリ、卵子ハ倒生。花序ハ總狀、穗狀又円錐花序或單生花序。蒴果又瘦果、種子ハ有粉狀胚乳。

成分及効用— 成分未詳。薬用及觀賞用トス。

分布及種属数— 世界ニ凡6属25種ヲ産シ、亞阿米ノ熱〜温帯ニ分布ス。日本ニ自生ス栽培スルモノ2属3種アリ。

本科ノ薬用及有用植物：— (1) むらさき(こなき、鴨舌草) *Monochoria vaginalis* Presl. v. *plantaginea* Solms-Laub. 北・本・四・九・琉・台ノ水田・小川等ニ生ズ。全草ヲ飯ト共ニ煮食セバ中暑・霍乱・腹痛・小兒丹腫・喘息ヲ治ス。

第九目 百合花目 Liliiflorae

特徴— 形質頗多般一定セズ。鱗根莖・鱗莖・塊根ヲ有ス、

草本稀木本。葉ハ屢網狀脉。花ハ δ 、 ϕ 、P3+3A3+3G(3)最多キモ稀2又4〜 ∞ 数性也、稀K3C3現ハル。種子ハ肉質又角質(含油性)ノ胚乳ヲ有シ、概倒生卵子ナルハ前目ト異ル点也。

○ 百合花目7科ノ検索表

- 子房ハ下位ナリ 1
- 子房ハ上位ナリ 4
- 花ハ両性ナリ
- 1 花ハ單性、A6R.3、莖ハ纏繞性--- Fam. (V) やまのいも(薯蕷)科 Dioscoreaceae
- A3, 外向葯ヲ有ス Fam. (VI) あやめ(いちほつ)(薔苔)科 Iridaceae
- 2 A3+3, 3室ハ1室、葉ハ輪生裂ス--- Fam. (V) せしるいも(四木薯)科 Taccaceae
- A6R. ∞ , 23(此場ハ外向葯ナシ)G(3), 葉ハ無分裂--- Fam. (IV) ひがしはな(石蒜)科 Smaragdaceae
- 3 花器ハ2数性、Pハ4, G(2)--- Fam. (II) むらさき(鴨舌草)科 Monochoriaceae
- 花器ハ3数性前2又4〜6又 ∞ 以上数性或混交... 4
- G(3), 子房1室又3室, Pハ非花冠様、胚乳ハ澱粉ヲ含ム--- Fam. (I) むらさき(燈心草)科 Juncaceae
- G(2~5~ ∞)-, 2-3~5~ ∞ 室, Pノ全部又内層ハC様、胚乳ハ澱粉ヲ含マズ--- Fam. (III) ゆり(百合)科 Liliaceae
- Fam. (I) むらさき(おとうしんさう)科 Juncaceae
- 形質— ③稀①。莖ハ円柱〜扁平莖、節ハ不顯著。葉ハ γ 、

單葉針線形〜線形厚兩壁，兩壁ハ±隆起，厚鱗狀；鈍頭〜銳頭。花ハ微小雌♂，中，3數性，F.f. = P3+3 A3+3 G(3)，Pハ苞狀膜質稀 A3+0，花粉ハ4ヶ宛結合，子房ハ1又3室，各室 = 1〜∞個生卵子ヲ藏ス，柱頭3分。花序ハ凹形聚繖〜複凹形聚繖花序稀單頂花。果ハ蒴果，房裂性。種子ハ胚乳ハ富殿粉，胚ハ直生。

成分及効用 — 塩化物 SiO₂, NO₂O, CaO 及糖類等ヲ含ム。莖葉ハ編物用疊表用，莖心ヲ燈心ニ供スルモノアリ。

分布及屬種數 — 世界 - 凡7屬 330種内外，温〜寒帯ニ多ク稀熱ニ分布ス。日本 = 2屬 凡50種内外アリ，全国ノ山野湿地，沼沢等ニ分布ス。

本科ノ藥用植物：— (1) おぐさ (おとうしんさう 燈心草) *Juncus decipens Nakai* 樺・南千・北・本・四・九・各ノ平地山麓湿地ニ簇生。全草ヲ漢：利尿(水腫・脚氣・淋病)藥トシ，民：治淋藥(煎服)トス。又催眠・解熱ニ有効・藥原料トス。又疊表(裁帛品種)トス，近江表・丹波表・備後表等アリ，長3〜5尺，燈草田ニ植ユ；此草ノ白髓ヲ出テ供燈火之云燈心，其皮ヲ取カラト称シ物ヲ繫ルニ用テ強韌也；備後表ノ原草ヲこひけ *f. utilis Satake* トス。

(2) すずめらひあ (ヤリぐさ，しばいも地橋梅) *Luzula capitata Nakai* 樺・南千・北・本・四・九・(小笠原?)ノ山麓原野ニ点生〜粗簇生。全草(果共)ヲ赤痢其他下痢一般ニ煎服シテ甚効アリ。種子ヲ粉末トシ糯米ニ交ヘ煎餅ニ焼キ食ス。

Fam. (ii) ヲヤクヅ (百部) 科 *Stemonaceae*

形質 — ① 有根莖，莖ハ直立又蔓上昇又纏繞莖。葉ハ↓又↑，單葉，有兩，披針形〜卵形〜心形。花ハ小形♂，中，2數花，F.f. = P(2+2) A2+2 G(2)，Pハ苞狀子房ハ1室，2〜數ヶノ側生卵子ヲ藏ス，無花柱，柱頭ハ小形，花序ハ葉ノ基，單頂花又粗聚繖花序。蒴果ハ2裂性。種子ハ長形，臍帶有毛，有胚乳。

成分及効用 — *Alkaloid* (*Stemonidin*, *Hodorin* 等)ヲ含有スル毒草アリ。藥用，食用，觀賞用等ニ供ス。

分布及屬種數 — 世界 = 3屬 凡30種ヲ産シ，温〜温帯ニ分布ス。日本 = 2屬 6種ヲ産シ，南日本ニ分布ス。

本科ノ藥用及有用植物：— (1) ヲヤクヅ (おらひやくヅ，百部) *Stemona sessilifolia Miq.* 支那原産，南日本ニ栽培。莖ハ直生，葉5〜3輪生。根 = *Hodorin* C₁₉H₃₁NO₃ナル *Alkaloid*ヲ含ミ，鎮咳藥ニ煎用シ，外用シテ疥癬ヲ治シ，虱(特頭虱)其他ノ外寄生虫ヲ駆除ス。

(2) つらひやくヅ (ウヤクヅ，蔓百部) *S. japonica Miq.* 熱帯原産，南日本ニ栽培。[生藥] 百部根 *Radix Stemonae* 乾燥根部ニテ稍断短形，味苦シ。[成分] 全草中 = *Stemonin* C₁₇H₂₃NO₄, *Stemonidin* C₁₇H₂₇NO₅ 及 C₁₉H₂₅NO₄ ナル *Alkaloid*ヲ含ム。[藥理] 本 *Alkaloid* ハ呼吸中枢ノ興奮性ヲ減退セシメ，心臟ニハ著作用ナシ。[藥用] 呼吸器病ニ煎用シ，癆氣・衣虱等ノ外寄生虫ヲ除去ス。又(1)ト共ニ葶用殺虫劑(百部根30瓦ヲ30分水中ニ煮沸シ濾過後石炭ヲ加ヘ水ニテシムトス)

=使用ス。又観賞用。

(3) おべわり(黄精葉鉤吻) *Croonia japonica* Miq. 本(中南部)・四・元ニ野生。有毒植物、食セバ舌頭破裂スルトノ意ニテおべわリト称ス。薬効未研究。

Fam. (iii) ヲリ(百合)科 *Liliaceae*

形質 — 概②有地下莖; 稀ク又極稀ク。葉ハ單葉、有柄又無柄、根叢生又ノ、稀ノ或極稀ノ乱生; 稀網脈。花ハ概♀中種稀中。概3数花 $F.f = P_3 + 3A_3 + 3G(3)$ ナレド多変化; Pハ苞状又C状屢 K_3C_3 、又 $P(3+3)$ 、Aハ屢1~2退化ス、花粉ハ單一; G(3)多ケレド稀2~4~5極稀∞トナル。

G(n)多ケレド稀Gn、位置ハG(n) = 変化ス、子室ハ概3室稀2~4~5極稀∞室又1室、各室ニ概∞ノ稀1~2ヶノ卵子ヲ賦ス、腹倒生~半倒生稀直性; 花柱ハ介離~合一。花序ハ頂生又腋生、無限又有限、∞変化ナルモ總狀・穗狀・繖形花序多ク、屢單頭又星散生花序也。果ハ多般、蒴果・漿果・蓇葖等ニテ中軸(内角)胎座、稀側膜胎座、極稀破裂シ漿果核種子ヲ現ス。種子ハ肉質又角質ノ胚乳ヲ有シ、小~稍大形。

成分及効用 — 本科ニハ *Alkaloid* (此中 *veratrin*, *colchicin*, *Fritillarin* 等ハ骨髄筋ニ対シ特種ノ作用ヲ有ス; *veratridin*, *gerwin*, *Pseudojerwin*, *Rubigerwin*, *protoveratrin*, *Sabadillin*, *Sabatrin*, *Sabadin*, *Fritillin* 等)ノ介布甚多シ; 配糖体 (*Scillain*, *convallarin*, *Rhodein* 等ノ強心性作用アルモ), *Alcin* 等ノ

下利トナルモノ。Saponin 化合物ハ根葉葉トナル; *veratramarin*, *Scillain*, *Scillipikrin*, *Convallamarin*, *Saponin* (*Smilacin*, *parillin*, *Smillasaponin*, *Sarsasaponin*); 有機酸類 (*veratruumsäure*, *Chelidonsäure*, サリチール酸, 安息香酸, 林檎酸, 酒石酸, 狗絲酸, 鞣酸等); 含水炭素, 蔗糖, 果糖, *Dextrose*, *Mannose*, *Pentosan*, *Inulin*, *Inosit*; 其他 *phytosterin*, *Emodin*, *Quercetin*, *phytin*, *Arginin*, *Asparagin*, *Thyrosin*, *vanillin* 等ヲ含有ス。ねぎ屬ニハ固有ノ臭氣アル *Allylsulfid* ヲ含ム。

本科ハ食用・薬用・染料・繊維料・観賞用ニ供スルモ多シ。又有毒植物不尠。

分布及属種數 — 世界ニ凡200属2800種ヲ産シ、熱~寒帯ニ分布ス。日本ニ自生及栽培スルモ、68属320種ヲ下ラス。

本科ノ薬用植物: — (1) ねぎ(葱) *Allium fistulosum* L. 西北原産・日本各地ニ栽培。あしわぎ、やぐらねぎ、ふゆねぎ等ノ变种アリ。燐酸, *Phyten*, *Apfelsäure*, 含シ化合物等ヲ含ミ、生食又煎用セバ神經ヲ刺激シ、消化力ノ介助ヲ促シ、寄生虫ノ発生ヲ予防シ、リウマチ及腫ノ保健ニ有効。又下利下血、水腫、感冒、魚中毒ヲ治シ、霍乱腹痛ニ良シ。尚重要ナル食物ノ薬味也。日常食物。

(2) たまねぎ(玉葱) *A. Cepa* L. 波斯原産、日本各地栽培。鱗莖ニ含水C. *Phyten*, *Apfelsäure*, *Citronensäure*, *phosphorsäure*, *Arginin*, 含シ化合物ノ精油(S. P. 11) *Allylsulfid* 等ヲ含有シ、興奮、祛痰、発汗、利尿、止血、癌瘍、痢疾、驅虫、并血、強壯薬トスル外、日常食用品。〔藥理〕ねぎ屬ノ蒜油ノ主

成分タル *Allylsulfid* ハねぎ固有臭ノ源ニテ消毒(結核腸内等)ノ目的ニテ注射ス内服セリ、其藥理ハ体内ニテ硫化水素トナリ肺内ニ排泄セラレ殺菌及抗カタル性作用ヲ現ス動脈圧、心臓呼吸等ノ影響ハ全ク延髄ニ動キ迷走神経ニ依テ其刺激ヲ各臓器ニ傳達スル爲也。

(3) あさつき(麥薹絲蔥) *A. Ledebourianum* Schult. f. 本(各部)。幼全草ヲ滋養強壯藥トシテ食用(蒜味嗜和最可)トス。含水C糖類含S化合物ヲ含ム。

(4) りつきょう(薺) *A. Bakeri* Regel 支那原産、各地栽培。鱗莖ニ炭水化物、*Flactan* 等ヲ含有シ、健胃整腸藥、喘息、背腰痛ニ煎服ス又生汁ハ氣附ケニ良シ、又火傷ニ塗布トス。酢漬トシ食用トス、佳味アリ。

(5) にら(韭) *A. odorum* L. 樺北・本・九州・琉球ニ自生ス、栽培ス。鱗莖ハ腸内消毒、止血、強壯、止血(吐血・衄血)、不眠症ニ有効、又煎汁ニテ痔疾ヲ癒法ス。葉ハ下痢、吐血、食慾亢進ニ有効。種子ハ陰萎、遺精、遺尿ヲ治ス。漢方ニテ薺、薺、蔥、蒜、姜ヲ五辛ト稱シ重要視ス。

(6) にんにく(大蒜) *A. Scirodoprasm* L. *viviparum* Regel 歐洲原産、清、支、朝、日ニ栽培。鱗莖ニ *Glucominal* (配糖体)、にんにく油 ($C_6H_{12}S_2$, $C_6H_{10}S_2$, $C_6H_{10}S_3$ 等ノ含S化合物ヲ含ム精油)、*Arginin*, *Homocystin* 等ヲ含有ス。尚澱粉ナク *Scorodose* ナル果糖無水物アリ。〔藥理〕家兔ニ *Glucominal* ヲ注射セバ血圧急下降シ、呼吸停止シテ死ス。

〔藥効〕鱗莖(乾大蒜)ヲ饅餅粟トス；又殺菌殺虫力強ク腸内寄生虫駆除藥トス(酒精エキスヲ十ニ指腸虫駆除藥トス)。精油及其水溶液(0.5%)ハ強殺菌力アリ、チフス菌ヲ5分間ニ死滅セシム。漢：利尿・健胃・驅虫藥。又喘息・感冒・疝氣ニ有効、又白血・長血ニ熏燒ヲ用フ。氏：卸汁ヲ「ワドン」粉ト練リ紙・布ニ延ベ胸痛・百日咳等ニ胸部ニ貼付シ特效アリ。酒精エキスハ強壯藥、強精藥トシテ喧傳ス。又、清、鮮人ハ食用トス。

〔新藥〕*Allisatin* (瑞西), *Allus* (日新), オセロ(オセロ洋行)等ハ整腸結核藥也。

(7) のびる(山蒜) *A. nipponicum* F. et S. 北・本・四・九・琉球ニ原野畑地生。全草煎服セバ補血・胃腸カタル・胃腸・睡眠藥トナル。鱗莖ハ子宮血腫・月經閉止・腸内消毒・栄養利トナル；其ノ卸シタルヲ毒虫塗傷ニ塗布解毒ス、又メリケン粉ト綜合セ打撲傷ニ塗布ス

(8) ちくわい馬(蘆薈) (a) *Aloe ferox*, Mill. (b) *A. Perryi* Baker (c) *A. succotrina* Lam. (d) *A. vera* L. 阿(喜望峯・ナタール)・カナリ一島、西印度、ソコトラ島、紅海沿岸産。肉皮葉ノ汁液ヲ煎調シ下劑トス。*Alloin* (配糖体)ヲ主トシ *Emodin*, 精油樹脂ヲ含ミ、汁液煎ヲ健胃緩下、峻下劑トス。〔藥用〕蘆薈 *Aloe* (局方)ヲ内服セバ大腸下部ニテ介解シ8時間後下劑奏効ス；少量ハ苦味強壯藥、1日3回0.02~0.05ヲ消化不良慢性胃カタルニ用ヒ又鉄劑ト伍シ貧血ニ用フ、但痔疾生殖器炎・血症・月經不調時ハ禁忌トス。

(9) うばゆり(曉百合, 舊名葉貝母) *Cardiocrinum cordatum* Mak. 本(中南部)・四・九ノ山地生。鱗莖ニ澱粉ヲ含ミ食用トシ、又乾燥煎服ニ解熱・強壯薬トス。又澱粉ヲ製スベシ。

(10) やまゆり(山百合) *Lilium auratum* Lindl. 種・北本(中北部)ノ山地生。鱗莖ヲ食用トセバ痲疾・鎮咳・鎮痛・滋養強壯薬トナリ、花粉ヲ止血劑ニ塗布ス。シカカクニゆリモ同効アリ。

(11) ささゆり(さゆり)(舊百合) *L. Makino* Koidz. 本・四・九ノ山地生。効用全前。

(12) おにゆり(卷丹) *L. lancifolium* Thunb. 北本・四・九ノ山地生。鱗莖ヲ煮食セバ痲疾・健胃・脚氣・循環促進・産後・滋養強壯薬トナル。芽ニ砂糖ヲ加ヘ線虫駆除薬トス。鱗莖ニ澱粉・Glukomannan, Vitamin C. 及黄色色素ヲ含ム。觀賞用。

(13) こおにゆり *L. Maximowiczii* Regel 北本・四・九ノ山地生。鱗莖ヲ前種同様ニ有効。食用。

(14) てつぼうゆり *L. longiflorum* Thunb. 鱗莖ヲ酢ト共ニ清涼解毒劑トシ蛇咬傷ニ貼用ス、煎服シテ解熱・肺炎・止咳・水腫ニ有効。

(15) はなすけ(知母) *Anemarrhena asphodeloides* Kunze 北支原産、日本栽培。〔主薬〕知母 *Rhizoma Anemarrhenae* ハ乾燥根莖也。〔薬効〕漢：解熱薬トシ犀角薬ト配伍ス。肺熱・頭痛・清涼薬。〔処方〕白虎湯(諸症ノ熱

性病ヲ治ス) 知母7, 石膏20, 甘草2.5, 粳米14.5. 以上4味煎劑200, 1日3回冷服。

(16) くさすぎりつら(天門冬) *Asparagus cochinchinensis* Merr. 北本・四・九ノ地ニ自生。〔生薬〕天門冬 *Radix Asparagi lucidi* 根ヲ剥皮・蒸乾セルモノ也。〔薬効〕鎮咳・祛痰・解熱・喘息・利尿・吐血・肺炎・止瀉・強精・老衰・神経衰弱ニ煎服ス。

(17) まつぼうど(あすばらがす) *A. officinalis* L. 原産洲; 日本栽培。莖ニInosit; 根ニ糖類Tyrosin, vanillin, coniferin, Mannan, Cholin, Arginin, Asparagin等ヲ含有シ嫩葉ヲ煮食セバ瀉風・利尿・緩下劑・腎臓病ニ有効。嫩莖ハ食用ノ外、清血・栄養劑。

(18) はらん(はらん, 葉蘭, 一葉) *Aspidistra elatior* Blume 琉球産ナルモ各地ニ栽培。根莖・花果ヲ煎服セバ利尿(淋病消渴)・祛痰・助腸炎・強心・強壯・鎮咳諸薬トナリ、酒ニテ服用セバ淋疾ヲ治ス。莖ノ乾燥ヲ藥物ニ塗布。

△(19) いぬさふらん(コルヒクム) *Colchicum autumnale* L. 欧原産。〔生薬〕コルヒクム子ハ其乾燥種子也。〔成分〕Colchicin $C_{22}H_{25}NO_5$ (Alkaloid), 脂肪蛋白等〔薬効〕リウマチス及瀉風持効薬(但急性症), 下劑及悪心ノ副作用アリ。Semen *Colchici* (草烏)ニカヒクム子ハ劇薬ナリ、1日数回0.03~0.1瓦完数回、コルヒクム酒 *vinum colchici* (全)ハ1日2~3回、1回10~20滴。

△(20) せいやうすずらん(西洋鈴蘭) *Convallaria majalis*

△. 欧洲産. 日本栽培. すずらんニ比スルニ葉稍広潤濃緑色也. 全草ニ *Convallamarin* $C_{23}H_{44}O_{12}$ *Convallarin* $C_{36}H_{62}O_{11}$, *Convallin* $C_{34}H_{62}O_{11}$. 等及土?ノ配糖体 *Majalin* 及晶性 *Convallatoxin* (配)ヲ含有ス. 甲ト戊ハ有効成分. 戊ハ花ニ最多含. [薬理]本成分ハ *Digitalis* 様強心作用ヲ有ノ局所刺激及呼吸刺激作用ヲ欠キ, 蓄積作用少シ. 経口的ニハ呼吸緩慢作用不同ノ如シ. [薬効]全草ヲ強心利尿ニ有効, 1回 0.5 1日 1.5 瓦煎劑又チンキトス. (瑞佛西, 方, 本, 英草局). 又精製 *Convallamarin* ヲ内服又皮下注射 (0.005~0.05) 藥トス. *Convallatoxin* ノ強心作用ハ *Digitoxin* ノ約10倍強トイフ.

△(21) すずらん(きみかげさう, 鈴蘭, 君影草) *C. Keiskei* Mig. 樺・南千・北・本・丸ノ山地又山原ニ群生ス. 成分ハ(20)ト全標?ニテ本研究. 薬効前全標, 花時採乾シ 10g. ヲ 200c.c. ノ熱湯ニ浸漬シ, 2回ニ内服(利尿強心劑). 草局ノ鈴蘭根 *Rhizoma Convallariae* ハ強心劑トシテ煎服(0.5:100)トシテ全鈴蘭流動エキス *Extractum Convallariae fluidum* ハ強心利尿劑トシテ1日 0.5g 内服. 新藥 *Convallamarin* (Merk.) ハ強心劑ノ注射藥; *Convallon* (及田) ハ利尿強心藥ニテ原料ハ滿洲産也.

△(22) かたくり(かたこゆり, かたにこ, 片栗, 車前葉山慈姑) *Erythronium japonicum* Mak. 樺・北・本(北中部)ノ山地ニ根ハ密生. (生薬)かたくり粉(澱粉) *Amylum Ery-*

thronii ハ根莖ヨリトリン澱粉也. 鏡下ニ卵円形, 紋理不明, 40~50%含有. [薬効] 良質ニシテ滋養強壯藥, 整腸藥, 散布藥(皮膚病, あせも等)トス. 其他刺戟緩和藥, 糊泥, 糊而灌腸料. 又食用, 工業用トス.

(23) はいも(あみがさゆり, 貝母) *Fritillaria verticillata* Willd. v. *Thunbergii* Baker 支・原産, 日本栽培. [生薬] 貝母 *Rhizoma Fritillariae* ハ鱗莖ヲ外皮除去, 石灰散布乾燥品也. 輸入(支)多シ. [成分] 鱗莖ニ *Alkaloid* (*Fritillin* $C_5H_4NO_3$, *Fritillarin* $C_{12}H_{23}NO_2$, *verticin* $C_{15}H_{23}NO_2$) ヲ含有ス. [薬理] *Fritillarin* ハ中枢神経系ヲ麻痺シ, 呼吸及自発運動ヲ障害シ, 心筋ヲ弛ノ搏動ヲ減シ, 收縮不全ヲ示シメ血圧下降セシム. 本種ノ鎮咳藥効ハ呼吸及搏動ノ緩和作用ニ依ル. [薬効] 痰: 鎮咳・祛痰・催乳止血(吐血・衄血). 鎮痛解熱・痢疾・結核吐血・虚勞・胃腸強健・瘰癧等ヲ治ス. 又根汁ハ治惡瘡(瘡面, 瘡口塗布), 或蒸焼トシ味看ク. 瘰癧ヲ除去シ氣鬱ヲ散スル良藥也, 1日3瓦煎服. [處方劑] 貝母湯(咽喉炎・扁桃腺炎ニ有効) 貝母ニ, 生薑10, 半夏杏仁, 桂皮, 麻黃, 石膏, 甘草各々以上8味煎服400, 2日量. 二母散(催乳藥) 貝母, 知母, 牡蠣各等分1日量3瓦煎服.

(24) べいこくわんさう(べいこくわんさう, 萱草) *Memorocallis disticha* Donn 及やぶこくわんさう(やぶこくわんさう, 千葉萱草) v. *Kwanso Nakai* 本・四・丸・琉・及北・本・四・丸・各ノ原野ニ群生. 塊根ヲ利尿強壯藥ニ煎用ス. 生又乾品ヲ生汁又

煎汁ニテ癰腫潰瘍ヲ洗滌浴ス。花煎服ハ興奮藥。嫩芽ヲ食用トシ、塊根ヨリ澱粉ヲ取ル。嫩芽ニ含水C. Adenin. Cholin Arginin 等ヲ含有ス。

(25) ゆうすげ(きすげ、麝香萱) *H. Thunbergii* Bak. 本(中南部)。ノ山地山原ニ点生。塊根ヲ利尿藥、花ヲ肺病藥ニ煎服ス。

(25) きぼし(紫萼) *Hosta japonica* Asch. et Gracbn. v. *Coerulea* Mak, 根節ヲ卸シ又粉トシ和尙、癰腫治熱ニ内服。莖葉ノ搾汁ヲ腫毒ヲ消スニ服用ス。

(26) やぶらん(麦門冬、大葉麦門冬) *Liliope muscari* Bailey v. *communis* Nakai 本・四・九・琉・台ノ山地ニ点生又粗群生。〔生藥〕大葉麦門冬ハ秋塊根ノ乾品也。〔藥効〕滋養強壯藥、鎮咳痰疾、解熱藥トシ口瘡、嘔吐ヲ治ス、又母乳催進藥トス。1日10瓦煎服。

△(27) じやのあげ(りゅうのひげ、小葉麦門冬) *Ophiopogon japonicus* Ker. v. *genuinus* Max. 本・本・四・九・琉・台ノ樹陰等ニ簇生。〔生藥〕^{小葉麦門冬} *Radix Ophiopogonis* ハ乾塊根也、乳麥(根心除去者)ヲ良品トス。〔藥用〕前同。

(28) のぎらん(狐尾草) *Metanarthecium luteo-viride* Max 南千・北・本・四・九ノ山地ニ点生。全草ニ *methanin* $C_{24}H_{36}O_{10}$ (Saponin 一種、苦味無晶)ヲ含有ス、之ハ強心利尿作用及子宮收縮作用ヲ起ス。全草ヲ利尿(脚氣及浮腫)藥、強心利尿藥トシ、1日10瓦煎服。

(29) つくばねさう(玉孫) *Paris tetrphylla* A. Gray 北・

本・四・九ノ山地ニ点生。全草ヲ健胃、強壯藥、四肢及腰部冷寒疼痛ニ煎服ス。

(30) なちこゆり(黃精) *Polygonatum falcatum* A. Gray 北・本・四・九ノ山地・山足ニ点生稀粗簇生。〔生藥〕*Rhizoma Polygonati falcati* ハ乾縱割根莖ナリ。〔成分〕未詳、但シ根莖ノエーテルエキスハ種々、Alkaloid 試藥ニ及應陽性也。

〔藥理〕黃精エキスハ *Adrenalin* 過血糖、抑制著甚、又赤兔ノ血圧ヲ下降セシメ大量ハ呼吸中枢ノ麻痺ニ依テ死ス。

〔藥効〕漢：滋養強壯藥(病後衰弱者)トス、1日4~12瓦煎服。又痛風、骨膜炎ニ卸汁ヲワドン粉ニテ煉リ貼布ス、又蛔虫駆除藥トス。

(31) おほなちこゆり(大黃精) *P. koraiense* Nakai 北・本(北中部)。

(32) おほばわうせい(大葉黃精) *P. macranthum* Koidz. 本(中南部)・四・九ノ山地生、以上2種(30)ト同効アランカ、成分其他分明。

(33) あまどちち(あすの、萎蕤) *P. japonicum* Morr. et Seone 北・本・四・九ノ山地ニ点生稀粗簇生。〔生藥〕萎蕤 *Rhizoma Polygonati japonici* ハ乾根莖也。〔成分〕根莖中ノ粘液ハ加水分解ニ依テ果糖、葡萄糖、アラビノーズヲ生ズ。果ハ鈴朮ト近似配糖体アリト云フモ不詳。〔藥効〕漢：界ヲ強壯藥トス、1日5~10瓦煎用、常用セバ顔面ノ黒点(そばかす)ヲまり血色ヲ良シ身体ヲ強壯ナラシム。又生根ヲ磨卸シラドン粉

ト燥リ打撲・痛風・神経痛ノ個所ニ貼用。果実ヲ吐劑トス。

(34) おもと(万年青) *Rhodea japonica* Roth. 本(南西部)・四・九ノ山地林下生。〔成分〕根莖及根ハ配糖体 *Rhodein* $C_{30}H_{44}O_{10}$ ナル強心成分ヲ含ム。 *Digitoxin* ニ類ス。

〔藥効〕根莖及根ハ強心利尿藥(ちぎたりす葉及其ノ製品ノ良代用品), 利尿藥(脚氣・淋病)又磨即シ酢トウとん粉トヲ交ヘ足裏ニ貼布セハ湿性助眠ノ水ヲ除去ス, 又孤氣・リウマチニ煎服ス。

○(35) かいそう(海葱) *Scilla maritima* L. 地中海沿岸(マルタ・シシリア・アルゼリア・ギリシヤ等)産。〔生藥〕海葱 *Bulbus Scillae* ハ乾鱗莖也。〔成分〕配糖体 (*Scillain*, *Scillin*, *Scillitoxin*, *Scillipikrin*, *Scillaren A, B*), *Sinistrin* 等ナリ。〔藥効〕海葱丁裁 (*Tinctura Scillae*) 又海葱醋 (*Acetum Scillae*) トシテ利尿強心核痰藥(劑)トス, 即強心性利尿藥トシテ日数回 $0.03 \sim 0.2g$ ヲ丸劑・浸劑トシテ浮腫・鬱血等ニ利尿劑トシ, 心臟衰弱・肺膜病・心筋炎等ニ強心藥トス。本品ハ腎胃・腸等ヲ障碍ス又注射ニ不適。

(36) さりとりのばら(さんきらい, 土茯苓和山帰来, 菝葜) *Smilax China* L. 北・本・四・九・琉・各ノ山地。〔生藥〕土茯苓 *Rhizoma Chinae* ハ乾根莖也, 味苛刻・微苦シ。〔藥効〕漢: 梅毒ノ要藥即驅黴藥。其他痛風・リウマチス, 關節炎, 下痢, 腺病ニ煎服, 1日10g。〔成分〕根ニ *Parillin* $C_{26}H_{44}O_6 \cdot 2\frac{1}{2}H_2O$, *Smilacin* $C_{20}H_{22}O_{10} \cdot 2\frac{1}{2}H_2O$ 等ノ *Saponin* ヲ含有ス。

(37) さろさ根ノ母植物 *S. ornata* L., *S. medica* Schl. et Cham., *S. utilis* Hemsl., *S. Syphilitica* Humb. et Bom. 中本・南米ノ産, 日本栽培。〔生藥〕さろさ根 *Radix Sarsaparillae* ハ乾根也。〔成分〕*Saponin* (*Poullin*, *Parillin*, *Sarsasaponin*, *Smilasaponin*) ヲ根ニ含有ス。〔藥効〕梅毒療法ニ煎服シ又愛質藥トス。又懷血病慢性リウマチス, 慢性皮膚病ニ利尿及発汗藥トス。

(38) からすきは-さんきらい(土茯苓) *Heterosmilax japonica* Kunth. 九・琉・各・自生。根ヲ驅黴藥トシ, 其他腎・膀胱病・淋病トシ強心藥トシ又腫物豫防劑トシテ煎服ス。

(39) えんれいさう(ちぢあふひ, 延齡草) *Trillium apetalon* Mak. (生藥)延齡草根 *Rhizoma Trillii* 根莖ヲ採幹セルモノ也。〔藥効〕胃腸病藥・嘔吐藥・催吐劑・健胃劑トス。腹痛健胃ニ有効多量煎服ハ有害。又馬病ニ用フ。同屬ノ *みやま* 及 *えんれいさう* 及 *おほほ* 及 *えんれいさう* モ全効アリト云フモ詳細ノ研究ナシ。

(40) あまな(山慈姑) *Tulipa edulis* Bak. 本・(中南部)・四・九ノ山足・原野ニ粗群生。成分不詳(但あまな屬 *Tulipa* ニハ, *Tulipin* ナル心臟毒 *Alkaloid* 及澱粉アリ)。鱗莖ヲ滋養強壯劑トシ又燒テ食用トス。かたくリ同様ノ良質澱粉ヲ採ルベシ。

(41) しゆろさう(黑藜蘆) *veratum japonicum* Loes. f. 北・本・四・九ノ山地ニ点生, 稀粗群生。〔生藥〕黑藜蘆根(和産)

Rhizoma veratri japonici の乾根莖也。(成分) 根 = *veratrumalkaloid*, *fervin* $C_{26}H_{37}NO_3$ を含有スト稱スルモ不確定也。(歐種 *v. album* L. *v. nigrum* L. 其他ニテ研究ノ最初発表ノ *veratrin* + *Alkaloid* の數種ノ成分混合物ナリ。此ノ中ニ *fervin*, *Rubijervin* $C_{26}H_{43}NO_7$, *Pseudojervin* $C_{29}H_{43}NO_7$, *Protoveratrin* $C_{32}H_{51}NO_{11}$, *Protoveratridin* $C_{26}H_{45}NO_8$, *veratrin* の6種ヲ含ム。此中甲ハ毒性弱ク、丁ハ心臟ニ作用スルモ神経筋肉ニハ已ノ如ク不强、乙、丙ハ無毒、戊ハ非有毒也。一般ニ C_{26} 化合物ハ無毒、 C_{32} ハ激毒也ト云フ。〔藥効〕根ヲ農用殺虫剤トス(製法—根600g 石鹼75g、水27立、先水10立ニテ根煎過シ加石鹼稀釈ス、根切虫一切、蟻蜂幼虫、葉虫ニ有効)

(42) はいけいさう (はへころし、山藜蘆、東雲草) *v. grandiflorum* Loes. f. 樺・北・本・四・九ノ山地ニ稍群生又点生。

〔生藥〕白藜蘆根(東雲草) *Rhizoma veratri* の乾根莖ナリ。〔成分〕前記同。邦産ハ未研究。〔藥効〕專ヲ農用殺虫剤トス、製法前同。其他未研究。

(43) こはいけいさう (しれのはばき) *v. stamineum* Max. 本(北中部)・樺高山寒地帯産、群生ス。成分、藥効未研究ナルモ前同ナラン。

(44) あをやまさう *v. Maximowiczii* Bak. 北・本・九ノ山地生。 *veratrumalkaloid* を含有シ(42)同様殺虫剤トス。

(45) ちぢぎばうし *Hosta rectifolia* Nakai 樺・北・本(北中部)ニ自生。根莖ヲ搗潰又粉木トシ、酒ト共ニ服用セバ癰腫ニ有効。又莖葉ノ榨汁ヲ服用セバ腫毒ヲ治スト云フ。

Fam. (IV) ひかんぼん(しんまかり、石蒜)科 *Amaryllidaceae*

形質 — 概(包)根莖又鱗莖ヲ有ス; 稀ニ(龍舌蘭亞科, *Agavaceae*)ニテ百合科ノほそばせんねんぼく亞科 *Braccae-noideae*、如ク第二期肥大成長ヲ行フ; ひかんぼん亞科 *Amaryllidoideae* ハ無葉ノ花莖ヲ有ス。葉ハ概根叢生、線~瓜線形、稀披針~瓜披針形; 全縁鈍或鋭頭、稀細齒縁。花ハ♀♂、又♂、3数性; 概 F. f. = P:3+3: A3+3 G(3), PハC様美; Aハ1部假A化シ、極稀6~8; 稀有托葉之ハ合シ副冠ヲ形成ス(すのせん屬); 甚稀G(3)-, 3室稀1室、概中軸(内角)胎座、概各子室少数~∞倒生卵子ヲ包ム; 花柱ハ葇体不裂。花序ハ單頂、繖形、總狀、總狀、円錐花序等也。果ハ蒴果又漿果、種子概少数。有胚乳種子。屢不結実性。

成分及効用 — 地下莖ニ有毒 *Alkaloid* (*Lycorin*, *Sekkisanin*, *Bellamarin*, *Amaryllin*, *Narcissin*, *Leucojin*, *Leucojitin*, *Narcitin* 等), 其他配糖体 (*Saponin*), *Inulin*, 蔗糖, 有機磷塩類, 脂肪油, 樹脂等ヲ含ム。本科ニハ藥用觀賞用纖維料、醸造用、又澱粉料ニ供スルモノ不尠。又有毒植物アリ。

分布及屬種數 — 世界ニ71屬凡1000余種ヲ産シ、熱(多)~温帯(少)ニ分布ス。日本ニ自生又栽植合計20屬50種ヲ下ラズ、

北方ニ少ク南方ニ多産ス。

本科ノ薬用及有用植物:—

△(1) ひがんばな(まんじゆしゃけ、したまがり、石蒜) *Lycoris radiata* Herb. 本・四・九・琉・山足・溪塘・墓地等ニ粗生。

[成分] 鱗莖ニ *Lycorin* (= *Narcissin*) $C_{16}H_{17}NO_4$, *Sekisanin* $C_{16}H_{19}NO_4$, *Sekisanolin* $C_{12}H_{23}NO_5$, *Homolycorin* $C_{12}H_{23}NO_4$, *Lycorenin*, *pseudolycorin*, *pseudohomolycorin* ナル8種ノ *Alkaloid* ヲ含有ス。

[薬理] *Lycorin* ハ内用又注射ニ依テ嘔吐及流涎ヲ起セシム。*Lycorin* ノ作用ハ *Emetin*, *Cephaelin* ニ類シ。毒性ハ乙丙甲ノ順ニ弱ク、催吐作用ハ此順ニ強シ。催吐祛痰解熱薬トシ又 *Amoeba* 赤痢ニ用ヒラル、モ *Emetin* ニ劣ル、然モ還元シテ *Hydrolycorin* トスルトキハ劣ラズ。

[生薬] 石蒜 *Bulbus Lycoridis* (準局) ハ乾鱗莖也。

[薬効] 祛痰薬トシ吐根ニ代用又催吐劑トス、強毒故要注意。

[新薬] *Sexanol* (大日本製薬) ハ急及慢性気管支カタル肺結核、肺炎、百日咳、喘息等咳嗽痰疾ヲ伴フ呼吸器病ニ祛痰薬トシテ1日2~3gヲ用フ。*Melysin* (武田) ハ *Amoeba* 赤痢及肺ゲストマ治療薬ニ費用ス(皮下注射ス)。莖根ノ搾汁ヲ除虫液(箱等ニ塗布)又膠(繪画用等ノ)代用。地下莖ヨリ澱粉ヲトリ可食。

(2) きつねのかみそり(鉄色箭) *L. sanguinea* Max.

北・本・四・九ノ山足、原野ニ点生~粗群生。[成分] 鱗莖ニ

前全 *Lycorin* (毒) ヲ含有ス。[薬効] 氏: 鱗莖ヲ搗リ卸シうどん粉ト練リ乳房腫脹ニ貼布治ス、乳房炎薬也。

(3) 白つすゐせん(鹿葱) *L. squamigera* Max. 本(中南部)九ノ山足生。鱗莖ニ *Lycorin* 其他、*Alkaloid* ヲ含ミ、其搾汁液ヲそばかす、ときびニ塗布シテ除スベシ。

(4) すゐせん(水仙) *Narcissus tazetta* L. v. *suisen* S. etz. 本(中南部)・九・琉・海辺ニ自生。[成分] 鱗莖ニ *Lycorin* (*Narcissin*)、及 *Glukomannan* ヲ含有シ、其搾汁液又うどん粉ト練リ腫脹其他悪性腫物一切、又肩凝リ、関節炎ニ有効、特乳房腫ニ費用ス又右ヲ小児ノ驚風疳半ニ足裏ニ貼付シ、歯痛ニ頰ニ貼布ス、尚眼疥ニ液汁ヲ用フ又糊代用トス。花ハ婦人病ニ有効。泥ハ有香、観費用トス。

(5) あまりりす *Amaryllis belladonna* L. 南阿原産、日本栽培。根ハ有毒也。球根ニ催吐作用アル *Bellamarin* (*Alkaloid*) ヲ含ム、催吐薬。

(6) はまおもと(はまゆり、文殊蘭) *Crinum asiaticum* L. v. *japonicum* Bak. 本(中南部)・四・九・琉ノ海辺ニ自生ス。根ニ *Lycorin*, *Crinamin* 等ノ *Alkaloid* ヲ含ミ、搗碎シ、害虫塗傷ニ貼布シテ有効。

(7) まんばいざさ(仙茅) *Curculigo orchioides* Gaertn. 本(南西部)・四・九・琉・台ニ自生。莖葉絞汁ト梅干トヲ飯粒ニテ練リ歯痛ニ貼布治ス。全搾汁ヲ腫物ノ膿吸出ニ貼布有効又発泡劑トス。又根ヲ煎服セバ治淋病薬、強壯薬トナル。有

毒故要注意。

(8) こまねばいざさ *Hypoxis aurea* Lour. 本(中南部) 四・丸・琉・台・ニ自生ス。球根ノ煎汁ヲ熟病ニ内服シ、潰瘍ニ 外用シテ有効。

(9) つばめすねせん *Sprekelia formosissima* Herb. 墨国原産、日本栽植。球根ヲ誤食セバ嘔吐ヲ来ス、是催吐作用 アル *Amaryllin* ヲ含有スルニ因ル。催吐薬ニ応用スベキ カ?

Fam. (V) たしわいも(田代薯)科 *Taccaceae*

形質 — ②。澱粉ニ富ム塊莖ヲ有ス。葉ハ根生シ、大形、全 縁又弓足状分裂。花ハ♂、♀、中、3数性; F. f. = P₃+3 A₃+3 G(3); PハC様、Aハ内向葯; 子房ハ1室、∞ノ倒生〜半倒生 卵子ヲ包蔵ス; 花柱ハ短、6ヶノC様裂片ヲ有ス。繖形花 序ハ長線状小苞ヲ具フ。果ハ鞘又漿果。種子ハ有胚乳。

分析及属種数 — 世界ニ2属凡30余种、亞熱〜熱帯産。日 本ニ1属1種ヲ栽培ス。

(1) たしわいも(田代薯) *Tacca pinnatifida* Forst. 旧熱帯原産。日本ニ台・ニ栽培ス。塊莖ニ澱粉(Arrow- root ト称ス)ヲ含有シ、其製造原料トス、澱粉粒ハ植物界中 最微小粒ヲ示シ、食用トス。

Fam. (VI) やまのいも(薯蕷)科 *Dioscoreaceae*

形質 — 概②(外國ニ稀也)。地下莖ハ塊状〜円柱状、年 々肥大成長ス; 地上莖ハ概葉、稀直生(外國)。葉ハ♂又♀、

單葉、有柄、全縁〜分裂又微齒縁、心脚一広心脚、耳垂、銳〜銳光 頭細脈ハ網状。花ハ概♀♂、要♀中、3数性。F. f. = F(3+3); A₃+3 G(3); Pハ苞様又C様、Aハ稀A₃+3 内輪者不全無 花粉、子房ハ3室稀1室、概各室ニ2ヶ稀∞ノ倒生卵子ヲ含ム。 花柱ハ3ヶ無分裂又2ヶ分裂、花序ハ穗状、總状又円錐花序。果 ハ鞘果又漿果、概有3翼。種子ハ有胚乳。

成分及効用 — 根莖ハ肉質肥大澱粉及粘液質又 *Diastase* = 澱ムヲ以テ滋養強壯薬トナル、此他毒物 = *Bioscorin*, *Saponin* 等ヲ含ミ、尚種々ノ酵素等ヲ含ム。 *Dioscorein* (Alkaloid) ハ無毒也。食用、薬用、観賞用ニ供スルモノ不鮮 分布及属種数 — 世界ニ9属650餘種ヲ産シ、熱〜温帯ニ 分布ス。日本ニ2属凡25種ヲ下ラズ(内1属1種、つるかめさ う)。

本科ノ薬用及有用植物: —

(1) やまのいも(じねんじやう、薯蕷、山藥、野山藥) *Dioscorea japonica* Thunb. 本・四・丸・琉・台・ノ山野ニ自生ス。[生薬] *Radix Dioscoreae* ハ根莖ヲ剥皮乾燥セルモノ。[成分] 地下莖ニ *mucin* (粘液質), *Allantoin*, *Arginin*, *Cholin* 等ヲ含有シ、又一種ノ *Diastase* ヲ含ム。[薬効] 漢: 山藥ヲ 專滋養強壯薬トシ又核疾薬トス。其他消化病後衰弱結核患 者、盗汗、夜尿症、遺精、孤氣ニ生食シ有効。又乾根又其粉木ヲ煎 服セバ健胃強壯薬トナル、凍瘡(霜結)、火傷、乳腫、レ痛ムニ生 ノ俵摺卸シテ塗布治ス。生食セバ痢ヲ止メ、疾ヲ治シ、夜尿症

=有効、腫物灸跡ニハ葱ノ白部ヲ摺卸シ混ジ紙ニ伸ベ貼レバ速ニ毒ヲ吸出シ全治ス、尚之ヲ凍傷火傷乳腫ニモ有効也。又生ノ摺卸汁ニヒツホラシ粉ヲ混ジ齒痛ノ頰部ニ貼用ス。零餘子^{▲カゴ}モ食用トス。

(2) ながいも(山藥) *D. Batatas* Deone f. *typica* Mak. 北・本・四・九・琉・各ノ山野ニ自生ス。やまのいもト葉形ヲ異ニシ(土耳脚)、根莖ハ長1~1.3m. 内外。此産品ニテ1年ニテ熟シ根莖30-60cm. 内外者ヲいらねいも一名らくないも f. *rakuda* Mak. ト称シ、質疎鬆不良也；又短瓜又塊状ナルヲつくねいも、いてふいも、おまりいも、こぶしいも f. *tsukune* Mak. ト称シ諸形アリ、實中間又緻密也。以上ハ凡テ食用及藥用トシテ、(1) ト同様ニ使用シ得ルモ f. ニ依テ土劣ル者アリ。

(3) おにどころ(ところ、ながどころ、山草薺) *D. tokoro* Mak. 北・本・四・九・琉・各ノ山野ニ自生シ屢群生ス。〔成分〕根莖ニハ *Dioscin* $C_{24}H_{38}O_9$ ナル晶性 *Saponin* 及 *Dioscore-asapotoxin* $C_{26}H_{38}O_{10}$ ナル無晶形 *Saponin* ヲ含有シ、共ニ強キ溶血作用ヲ有ス。〔藥効〕根莖(幼者ヲ可トス)ヲ煮食スルニ苦味甚シ以テ煎根ノ藥(補精強壯藥)トス。又山間ニ於テ根ヲ搗碎シ、溪流中ニ投ジ魚族ヲ麻痺セシメテ捕獲スルニ使用ス。

(4) そめものいも(かきいも、ところ、薯榔) *D. rhizophonoides* Oliv. 琉・各ニ自生ス。塊根ヲ阿片灰ニ混ジ乾燥シ後ニテ

煎服セバ止痛藥及下劑止藥トナル。又塊根ヲ染料ニ供シ、いんき製造ニ使用ス。九州大島ノ大島紺ノ褐色ハ是ニ基因ス。台湾ノ蕃人モ古來染料トシテ貴重セリ。

Fam. (VII) いちはつ(あやめ)科 *Iridaceae*

形質 — 概 ⊗ 極稀 ⊗ (外國産)、地下莖ハ根莖又球莖、地上莖ハ円柱状。葉ハ Ψ 、葉全辺跨状配列、概扇状葉、2縱列性。花ハ $\hat{\sigma}$ 、稀 Φ 、3数性。F. f. = $P_{3+3} \overline{A_3+0} G_{(3)}$ ヲ常トス；PハC状同様又大小不同、芽中ニテ同旋状排列；葯ハ外向、概細長、P外輪ト對性；子房3室稀1室 ∞ ノ側生卵子ヲ載ス。花柱ハ3裂裂片ハ屢花瓣状。蒴果房裂果、円形又角稜種子ヲ容ル。有胚乳種子。

成分及効用 — 本科ノ根莖ハ澱粉ニ富ミ、樹脂揮發油、脂肪油、含水炭素類、配糖体 (*Iridin*, *Tectoridin*, *Crocin*, *Picrocrocin* 等) 并ヲ含有シ、未ダ *Alkaloid* 及有機酸類ヲ檢出セズ。藥用及觀賞用ニ供スルモノ不尠。

分布及屬種數 — 世界ニ57屬凡1050種ヲ産シ、寒〜温帯、稀寒帯ニ分布シ、特ニ南阿米及地中海沿岸地方ニ多ク分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡13屬50種ヲ下ラス。

本科ノ藥用植物：—

(1) ひあふぎ(射干、鬼扇) *Belamcanda chinensis* Lemar. 本(中南部)・四・九・琉・各ノ山麓等。〔生藥〕射干 *Rhizoma Belamcandae* ハ乾根莖也。特異香氣アリ。味辛辣也。〔成分〕 *Belamcandin* $C_{24}H_{24}O_{12}$ (配糖体) 及 $C_4H_{28}O_{14}$ ナ

ル *Iridin* = 類スル配糖体ヲ含有ス。〔藥効〕 漢：射干ハ喉痺及咽喉ヲ治スル要藥也。喉痺トハ扁桃腺炎及之ニ伴フ全同回膿瘍ノ總稱也。煎藥トシ内用シ、又其ノ片ヲ口中ニ含ンテ唾液ヲ嚥下スルモ可也。又山豆根ト混合細末トシ口中ニ吹キ込ムモ宜シ。尚水腫ヲ治シ、溜飲ニ有効。觀賞用トス。

〔處方例〕 射干麻黃湯（急性肺炎、大熱解後ニ妙効アリ）射干 3.5 麻黃 生薑各 5.0 細辛 紫苑 款冬花各 3.5 五味子 6.0 大棗 3.0 半夏 7.0 以上 9 味煎劑 200 1日3回温煎服。

○(2) さふらん（沮夫蘭、蒼紅花）*Crocus sativus* L. 歐洲原産、日本栽培。〔生藥〕 沮夫蘭 *Crocus* (*Stigma Croci*) ハさふらん花中ノ雌蕊柱頭ヲ採乾セルモノ也。兵庫佐賀、岡山各縣ニ産ス。

〔成分〕 柱頭（及花柱上部）ハ α -*Crocin* $C_{18}H_{22}-(COO-C_{12}H_{21}O_{10})_2$ 、 β -*Crocin* $C_{18}H_{22}-(COOH_3)-(COO-C_{12}H_{21}O_{10})_2$ 、*Crocetin* $C_{18}H_{22}-(COOCH_3)_2$ ナル3種ノ色素ヲ含有ス、丙ハ水ニ不溶他ハ溶解ス、丙ハ *Carotin* ト共ニリポクロム色素ニ屬ス。其他 *Picrocrocin* $C_{38}H_{66}O_{17}$ ナル晶性苦味質、脂肪油、精油 (*Terpen, Sativol*) 等ヲ含有ス。根莖ハ多量ノ澱粉ヲ含有ス。〔藥効〕 さふらん *Crocus* (局方) ハ健胃鎮痙通經藥トシテ 0.5 (又 0.1~1.0g) ヲ温湯ニ浸テ服用ス。芳香藥トシ製劑ニ香氣及色沢ヲ附加スルニ用フ。さふらん丁麩 (局方) *Tinctura Croci* ハ健胃藥トシ、合劑ノ着色料トス。歐洲民間ニテハさふらん 8-10 本ヲ1椀ノ温湯ニ浸シ喘息、百

日咳等ニ鎮靜藥トシテ用フ。又驅風ノ効アリ。さふらん湯ノ通經劑又産後ノ痙孙（乳房充満率ヨリ来ル）ニ對シ即効アルハ事實ナリ、サレド其大量ヲ内服セバ墮胎ヲ起ス危險アリト云フ。

(3) かきつばた（かきつ、燕子花）*Iris laevigata* Fisch. et Mey. 樺、南千、北、本（北中部）、ノ山間湿地、沼池畔、溪畔ニ群生。根莖ヲ祛痰藥トス。觀賞用トス、花色種々アリ。

(4) おちあやめ（馬蘭）*I. lactea* Pall. var. *chinensis* Koidz. 支那原産、日本栽培。〔生藥〕 馬蘭子 *Semen Iridis lacteae* ハ乾種子也、小豆大、赤褐色、稍扁平也。

〔藥効〕 漢：金創癰腫、咽喉炎等ニ内煎用シテ利尿劑トアリ、熱毒ヲ排泄ス。又出血（吐血、衄血）ヲ止メ、酒毒ヲ解スト云フ。1回 1g 煎用。又孤氣、皮膚病一切、大小便ヲ利シ、産後血暈ヲ良好ニス。根ヲ取り刷毛ヲ作り馬ヲ洗フ故馬蘭ト云フ。

(5) いちはつ（鳶尾）*I. tectorum* Max. 支那原産、日本栽培。〔生藥〕 鳶尾根 *Rhizoma Iris tectorum* ハ乾根莖也。

〔成分〕 少量ノ脂肪油ノ外、配糖体 *Tectoridin* $C_{22}H_{22}O_{11}$ ヲ含ム。是ハ加水分解ニ依テ1分子ノ葡萄糖及 *Tectorigenin* ヲ生ズ。〔藥効〕 吐劑及下劑トシ、梅毒癩病寒熱ヲ治ス。1回 3~5g 煎用。又緩下劑及眩暈ニ煎服ス。腫物ニ摺潰シテ塗布ス。関東ノ農家本種ヲ萱屋ノ標ニ植工暴風ヲ豫防ス。

(6) あやめ（溪蓀）*I. sanguinea* Donn. v. *typica* Mak.

本、四九ノ山野山原ニ群生ス。葉及根莖ノ煎汁ヲ四肢冷却シ
關節屈伸不自由ナルニ有効。又根莖粉末ヲ胡麻油ニ練リ合セ
疥癬ニ塗布名ス。又粉粒料(香料)トス。觀賞用ニ供ス。花色
ニ変化アリ。

○(7) いりす類 *Iris germanica* L. むらさき-いりす。
I. florentina L. しちばな-いりす(よほひ-いりす)。 *I. palli-*
du Lam. しぼり-いりす等ノ合称。歐洲(スペイン)阿(エロッコ)
亞(印度、小亞)等ノ原産。日本ニ栽培ス。

[生薬] いりす根 *Rhizoma Iridis* ハ以上3種ノいりす
ノ乾根莖也。[成分] 精油 (*Iris-Campher, Myristinsäure,*
u. Oelsäure-Ester, Iron), 配糖体 (*Iridin*) 等ヲ含有ス

[薬効] 矯味薬、矯臭薬、いりす油原料、粉粒料(根ハ香氣佳絶
ナルニヨル), 又撒布薬トス。歐洲ニテハ乳児ノ生齒期ニ其
小棒片ヲ噛マシムル習慣アリト云フ。

(8) ひあふぎ-あやめ *Iris setosa pall* 棒千本(光中
奇)ノ亞寒地帯~寒地帯ノ溼原沼沢ニ群生ス。根莖ヲ乾シ粉
末トシ疥癬ヲ治ス。又觀賞用トス。

第十目 芭蕉(香竈植物)目 *Scitamineae*

花ハ♂又♀♂, 3数性 F.f. = P₃+3 V. K₃C₃A₃+3 V. 1~6
G(3), 卵子ハ大形、種子ハ概子衣ヲ被ル。又2重ノ栄養組織
(=外胚乳+内胚乳)ヲ有ス。概熟~亞熟ニ介布ス。

○ 芭蕉目千科ノ檢索表

(花粉ヲ生ズルAハ1ヶアリ..... 1

{ 花粉ヲ生ズルAハ5ヶアリ、植物体ハ大形草本又木本ナ
リ..... *Fam. (i).* はせう(芭蕉)科 *Musaceae*

1 { 薬ハ1室ヲ有ス 2
薬ハ2室、子房ハ各室ニ1ノ卵子ヲ藏ス
..... *Fam. (ii).* めうが(薑荷)科 *Zingiberaceae*

2 { 子房ハ各室ニ1ヶノ卵子ヲ藏ス
..... *Fam. (iv)* くすろこん(馬蹄金)科 *Marantaceae*
子房ハ各室ニ1ノ卵子ヲ藏ス
..... *Fam. (iii).* こんどく(晏華)科 *Cannaceae*

Fam. (i) はせう(芭蕉)科 *Musaceae*

形質——大形ノ木状⊙。莖幹ハ紫木質、擬幹也、莖表ハ鱗
葉重疊ヲ常トス。葉ハ互生⊙着稀2列生(榕入木屬)單葉頗長
大長楕圓形~線狀全形又倒披針形、羽狀脈葉裂開。花ハ♂
又♀♂, ϕ ; F.f. = P₃+3 V. K₃C₃A₃+3 G(3); PハC狀厚肉
唇狀, A₆ノ中5ハ完全(稀授精カ無シ)1ハ不完全ニテ擬A又
O。子房ハ3室、各室ニ1~∞倒生卵子ヲ藏ス、花柱ハ3~6裂
ス。花序ハ單~複穗狀花序、各小穗ハ佛焰狀大苞ヲ具フ。此苞
ハ毒美麗ノ様也。果ハ漿果又蒴果。種子ハ粉狀ノ有胚乳。
概有假種皮、胚乳ハ内外2層アリ。

成分及効用——澱粉、糖類、有機酸、酵素等ナリ。織造用、藥用
食用或觀賞用ニ供シ、又重要ナル食用果実ヲ生ズルモノアリ

介布及屬種數——世界ニ6屬凡150種ヲ産シ、亞阿蘇米ノ
熱~亞熱地帯ニ介布ス。日本ニ自生又栽培サル、モノ3屬10

種ヲ下ラズ。

本科ノ藥用及有用植物：—

(1) ばせう(芭蕉) *Musa Basjoo Sieb.* 支那原産、南日本各地ニ栽培。根ニ Oxalsäure ヲ含ム、本生藥ノ解毒作用ハ是ニ基田ス。根ヲ感冒ノ解毒藥トシ又胃病腹痛ニ有効、皆煎服；莖葉ヲ利尿(水腫、脚氣等)藥トシテ煎服ス。莖皮及葉ハ止血用トシテ患部ニ巻ク、其煎汁ハ中風ニ良ク、蛇蜂ノ利傷ニ塗布シテ有効。觀賞用トシテ庭植ス、特殊ノ景趣ヲ添ユ。

(2) ばな(みばせう、甘蕉、実芭蕉) *Musa paradisiaca L.* subsp. *sapientum* O. Kuntze 亞熱原産、台湾栽培。根ヲ煎服セバ、治淋、解熱、止渴藥トナリ、産後血張ヲ治ス。未熟果ヨリ甘糖粉ヲ造ル。果ハ滋養強壯食ニシテ無種子、美味ナリ。蔗糖及他ノ糖類、有機酸、澱粉等ヲ含有シ、代用食又主食物(是人)トス。 *M. formosana Hayata* ないわんばせう(やまばせう)ハ有種子、不堪食。

Fam. (ii). シヤウガ(めうが、薑、薑荷)科 *Zingiberaceae*

形質 — ②、有油細胞。地下莖(塊莖~根莖)発達ス、地上莖ハ尾芭蕉莖狀也。葉ハ、單葉、披針形~卵形、有羽狀脈、有柄又無柄、屢有葉鞘包莖。花ハ概 ♀ 稀 ♂, φ; F. f. = K(3)C(3)A3+3v. 2+3 v. 0+3 G(3); めうが屬(*Zingiber*)ハ内輪後部、1Aノミ完全發育シC狀花絲ヲ有ス、他ノ2~5Aハ無葯C狀ヲ常トス、屢内輪ノ2Aハ癒合シ3裂性ノ牌瓣(Labellum)トナリ中裂片最大也。外輪ノ1Aハ消滅2Aハ瓣狀擬Aトナ

ル；はなめうが屬(*Alpinia*)ハ外輪Aハ0；がらんが屬(*Hedychium*)ハ完Aノ外ノ5本、全ク瓣狀擬A化ス；子房ハ3室、各室ニ倒生卵子ヲ藏ス；花柱ハ細長、花柱、完Aノ縱溝内ニ捲セラレ。

花序ハ地上莖上ニ頂生シ、穗狀又總狀或ハ其複生花序ナリ；又別ニ營養莖ノ外ニ花莖ヲ地下莖ヨリ分岐シ、大苞~小苞重襲ノ穗狀花序ヲ昂起ス(めうが屬及せう屬等)。果ハ概3裂性、兩果藏ニ種子。種子ハ有粉狀胚乳、又具假種皮。

成分及効用 — 本科植物ハ概揮發油ヲ含ミ芳香性健胃藥ニ供スルモノ多シ、Alkaloid 及 Glycosid ハ未知也。精油以外ノ成分ハ色素體(Curcumin, Galangin, Galangin-methyläther, ^{フンパリト}Kämpferid, Zingipinin, Alpinon 等、黄色々素多シ)、辛辣成分(Zingeron, Schogaol 等)、其他、林檎酸、檸檬酸、パルミチン酸、桂皮酸エステル、Pentosan 等ヲ含有ス。藥用、染料、食用、香料、編物用、觀賞用等ニ供スルモノ多シ。

分布及屬種數 — 世界ニ凡24屬1300種ヲ産シ、主ニ亞阿ノ熱~亞熱帶ニ多産シ、少數ハ溫帶ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡7屬50種ヲ下ラズ、主ニ小笠原、琉球、各ノ産ナリ。

本科ノ藥用及有用植物：—

(1) はなめうが(杜若) *Alpinia japonica* Miq. 本(中部)四ノ谷、各ノ山地樹陰ニ生ズ。〔生藥〕 桴豆粗砂 *Semen*

Alpiniae ハ乾種子也。暗褐色多角形、長3mm、苦味有香。

〔成分〕精油0.8% (*Cineol*, *Terpene*-種 $C_{10}H_{16}$, 樟腦 *Campher*, *Sesquiterpenalkohol* $C_{15}H_{24}O$, *Sesquiterpen* $C_{15}H_{24}$ 及 *Sesquiterpenalkohol* $C_{15}H_{26}O$ ノ酯酸エステル等), *Palmitinsäure* 及一種ノ *Phenol* 性物質ヲ含有ス, 其他 *Izalpinin* 及 *Alpinon* ナル *Flavon* ヲ見出セリ。〔藥効〕漢: 芳香性健胃藥トスルモ小豆蔻ニ比シ劣ル。

(2) なんざやうさう(蘭薑) *A. Galanga willd.* 名酒産。根莖 = 0.04%ノ精油 (*Zimtsäuremethylester*, *Cineol* 等) ヲ含有シ、芳香性健胃藥トス。

(3) りやうまやう(かうりやうまやう、良薑) *A. officinarum* *Nance* 支那原産、日本栽培。根莖 = 精油 (*Cineol*, α -*Pinen*), 色素 (*Kämpferid*, *Galangin*) 等ヲ含有シ、芳香性健胃藥トス。

(4) げつたう(おほくまたけらん、月桃) *A. speciosa K.* *Schum.* 小笠原・琉球ニ自生ス。根ヲ煎取シ昭鶏ヲ止ムルニ用フ。

△(5) しやくしゃ(みかくし、縮砂) *Amomum xanthioides* *Wall.* 印度。暹羅原産。高2m、披針形葉穂状花序。

〔生藥〕縮砂 *Fructus Amomi* ハ乾燥果実也、丹形有伏刺。縮砂仁 *Semen Amomi* ハ乾種子也。氣味芳香峻烈一名唐縮砂又東京縮砂。〔成分〕果ハ精油1.7~3% (主ニ右

旋樟腦 *d-Campher*, *Borneol*, 酯酸ボルネオール *Bornylacetat*, *Linalool*, *Nerolidol* $C_{15}H_{26}O$ 等) ヲ含有ス。

〔藥効〕芳香性健胃藥トシ小豆蔻ニ代用ス。漢: 健胃・驅風・消化藥トス。西方第一版ハ芳香酸及苦味丁糖ノ製劑原料トセシモ小豆蔻ニ劣ル故削除セリ。

(6) びやくづく(百莖薑) *A. Cardamomum L.* シヤム、ミヤノ、スマトヲ地方原産。〔生藥〕白豆蔻 *Fructus Amomi Cardamomi* ハ乾果ヲ云フ。〔成分〕精油 (主ニ *d-Borneol*, *Campher* 等) ヲ含有ス。〔藥効〕芳香性健胃藥トス。

(7) うこん(さぞのぐさ鬱金) *Curcuma longa L.* 名海(海生) 及栽培) 産ハ頭劣ル、良品ハ原産地熱帯(南洋地方南支) ナリ。

〔生藥〕薑黃 *Rhizoma Curcumae* ハ莖根莖也。五片葉形長4cm、汚黄色。長形莖黃——ハ乾側板也、円柱形。

〔成分〕黄色素 (*Curcumin* $C_{21}H_{20}O_6$) 約0.3%, 精油 (*d-d-Phellandren*) 1~5%, 澱粉30~40%, 少量ノ脂肪油、少量ノ

Kaliumoxalat ヲ含有ス。〔藥効〕漢: 吐血、衄血、血尿等ニ内服テ止血劑(8g)トス。又粉末トシ水ニ研リ痔瘻・創傷・腫脹等ニ塗抹シ有効。〔其他効用〕酢少量ヲ加ヘ縮・縮折黄色染料(例、うこん木縮)及紅絹ノ下染又黄色紙、食品(カレー粉・沢庵漬等)ノ黄色染料、硼酸塩及アンモニア檢出試験紙ナルクルクマ紙一名薑黃紙ハ根莖ノ酒精浸出液ニテ染色セシモノ也。又調味香料トス、カレー粉ノ主要成分(根莖粉末)也。

(8) さやうわう(げらうこん 薑黃) *C. aromatica Salisb.* 東

印度原産，熱帯各地ニ栽培ス。〔成分〕根莖 = 6.1%ノ精油
(主成分ハ *Sesquiterpen* ナル *l-curcumen* $C_{15}H_{24}$, *Sesquiterpenalkohol*, 右旋カンペン *d-Camphen*, 樟腦 *d-Campher*) 及黄色素 *Curcumin* ヲ含有ス。

〔薬効〕漢：專健胃薬トス。又通經薬トス。古来薑黄ニ偽ス。
○(9) ガジウツ(シカウニム栽培) *C. zedoaria* Roscoe 印
度(マドラス、ボンベイ、セイロン島) 及南支、馬來地方。白根栽培。
〔生薬〕栽培 *Rhizoma zedoariae* ハ乾根莖也。西洋
梨形。淡灰褐色、有毛、長5cm。賣品ハ縦割セリ。〔成分〕
1%ノ精油(主ニ *Cineol* 其他 *d-Campher*, *d-Borneol*,
d-d-Pinen, *Sesquiterpenalkohol*, *Sesquiterpen*)、澱
粉等ヲ含有ス。〔薬効〕漢：專ラ芳香性健胃薬トシテ消化
不良ニ其フ。(散 1.5~4.5g. 浸10%)、又祛痰薬(末2~8)
トス。局方(栽培、嶺方ロカイ丁莖)

○(10) セウヅク(小豆蔻) *Elettaria Cardamomum* White
et Maton 南印度特マラバル海岸及セイロン島原産。

〔生薬〕小豆蔻 *Fructus Cardamomi* ハ乾果実(蒴果)
也。円~楕円形、長1~2cm 汚黄色、有縦紋。〔成分〕芳香
性精油(*Cineol*, *d-d-Terpineol*, *Terpinyl-acetat*),
Pentosane, 澱粉等ヲ含有ス。〔薬効〕專ラ芳香性健胃薬
トス。局方ノ小豆蔻 *Fructus Cardamomi* ハ芳香性健胃
薬及驅風薬トシテ1日数回粉末0.3~1.0gヲ用フ。又芳香
薬トス、其他芳香油、芳香酸、芳香糖、芳香丁莖、苦味丁

莖、大黃丁莖等ノ要薬ヲ製スベシ。

(11) セイロンセウヅク(錫蘭小豆蔻) 錫蘭・からどもむ、長形・から
どもむ) *E. major* Smith. 印度ノ錫蘭島原産。果実ニ精油
(*Terpinen*, *Terpineol*, *Sabinen*, *Borneol*, *Cineol* ヲ主ト
ス等)、澱粉等ヲ含有シ芳香性健胃薬及驅風薬トス。

△(12) さんな(山奈) *Hedychium spicatum* Ham. 印度・南
支那原産。〔生薬〕*Rhizoma Hedychii* ハ根莖ヲ輪切乾
燥トセルモノ、不規則盤状、外皮赤褐色也。〔成分〕2.5%ノ精油
(メチル-パラクマール酸エチルエステル *Methyl-p-Cumaric-
säureäthylester* $CH_3O-C_6H_4-CH=CH-COO C_2H_5$ 、桂皮酸エ
チルエステル *Zimmtsäure-äthylester* ヲ主トシ、*Äthylme-
thylparacumarat*, *Pentadecan* $C_{15}H_{32}$ 及少量ノチムト
アルデヒドヲ含有ス、又澱粉アリ。〔薬効〕漢：芳香性健胃
薬トス、又薫香料ニ供ス。

(13) はんらこん(三辣ニ類) *Kaempferia Galanga* L. 交趾
及邦原産。根莖ニ精油(主ニ *p-Methoxyzimmtsäureäthyl-
ester*, *Zimtsäureäthylester*, *n-Pentadecan* $C_{15}H_{32}$) 等
ヲ含有シ煎服シテ健胃薬トシ又内臓ノ閉塞ヲ治スルニ用フ。

(14) やくら(益智) *Zingiber nigrum* Gärtner 支那原産。果
実ニ精油(*Terpen* $C_{10}H_{16}$, *Sesquiterpen* $C_{15}H_{24}$ 及 *Ses-
quiterpenalkohol*) ヲ含有シ、漢：強壯薬トシテ遺精及
遺尿ニ煎用シ又芳香性健胃薬、驅風薬トシ小豆蔻ニ代用ス、
母植物学名ノ當否ハ尚?アリ。

(15) めうが(めが, 葛荷, 葛荷) *J. Mioga* Rosc. 本(中南部)・四
ル・琉・ノ山地樹陰ニ簇生ス。花穂ニ精油 *Cholin*, *Trigo-*
nellin 等ヲ含有シ, 健胃薬, 整経薬, 通経薬トス。又乾根莖ヲ
腎臓病ニ煎服シ有効。又根莖ヲ摺リ卸シ液汁ヲ突眼・逆上眼
ヤト眼・結膜炎等ニ点眼シテ有効, 又花序(葛荷子)ノ生汁ハ止血
薬(吐血・痔出血)・婦人腰痛又ふぐ中毒ニ有効。凍傷ニハ葉
莖ノ蔭干ヲ熱湯ニ入レ患部ヲ温メテ治ス。

○(16) レやうが(せうが, はいかみ生薑, 薑) *J. officinale* Rosc.
支那原産。日本各地栽培。〔生薬〕生薑 *Rhizoma Zingi-*
beris ハ乾根莖也。氣味芳香性辛辣灼ガ如シ。〔成分〕辛味
成分ハ *Zingeron* $C_{11}H_{14}O_3$ (晶性) 及 *Shogaol* $C_{17}H_{24}O_3$ (油
状)ノ2種ナリ。此外ニ精油 (*Zingiberen* $C_{15}H_{24}$, *Zingi-*
berol $C_{15}H_{26}O$, *Citral*, *Methylheptenon*, *Nonylalde-*
hyd, *Linalool*, 右旋ボルネオール *d-Borneol* 等) 2%内
外ヲ含有ス。〔薬効〕生薑(局方)ハ香辛性健胃薬トシテ1日
数回 0.3~0.5g ヲ内服ス, 又消化不良・腸風氣ニモ服用ス。生
薑シロップ *Sirupus Zingiberis* (局方)ハ健胃驅風性合劑
ノ矯味・矯臭薬トス。生薑丁液 *Tinctura Zingiberis*
(局方)ハ健胃・驅風薬トシテ1日数回 0.75~1.5g, ヲ内服ス
尚局方ニ芳香酸・芳香丁液・複方大黃散・準局ニ酸性芳香丁液
複方薑半子散アリ。根莖ハ辛味強ク且芳香アル故調理又香
味料トシテ食スベク, 生薑ハ健胃・鎮吐薬トシ, 乾薑末(煮テ乾
シ粉トス)ハ健胃・消化・驅風薬トス。卸汁ニ砂糖ト熱湯ヲ

加ヘ服用スレバ鎮咳・祛痰・発汗・驅風・喘息等ニ大効ヲ奏ス。
又卸汁ニ酒ヲ加ヘうどん粉ニ練リ局部ニ貼リ打身ヲ治シ、
又ハ右ヲ百日咳ノ湿布トシテ胸部ニ行フ。尚生薑ノ香辛性
ハ食欲ヲ亢進セシメ, 便秘性ハ下痢止薬ニ応用シ得ベシ。但
唐辛ト共ニ痔疾 アルスハ用フベカラズ。食スベカラズ。

(17) アルロールト (澱粉) うこん属ノ2種 (*Curcuma*
angustifolia 及 *C. leucorrhiza* 共ニ印度産)ノ根莖ヨ
リ採リシ澱粉ヲ東印度大根粉 Arrow-root ト稱シ市場ニ
出シ食用トス。くずうこん科 *Marantaceae* ノくずうこん
(*Maranta arundinacea* L.)ノ根莖ヨリ採リシ澱粉モ大根
澱粉 Arrow-root ト稱シ食用トス。本種ハ米・熱帯産ニ
シテ台湾ニ栽培ス。

Fam. (III) だんごく(薑華)科 *Cannaceae*

形質 — ②, 有油細胞, 澱粉粒頗大形, 稍大形草本。莖稍長
大, 円柱状。葉ハヤ, 單葉, 有羽状脉, 稍大形芭蕉葉状, 有柄。花
ハ $\hat{\sigma}$, $\hat{\rho}$, 美麗; F. f. = K(3) C(3) A1~5 G(3); Cハ覆瓦排列
Aハ内輪後部ノ1A(2モ縱半ハ花絲, 縱半ハ瓣状)ハ半葯
ヲ上方側ニ有スルノミニサ他ノA1~4(葯ハ種類ニ依テ異
ル)ハ凡テ無葯ノC様擬Aニ変化ス。其中1ヶハ牌瓣化シ
広潤卷旋美麗也; 子房ハ3室, 各室ニ2列性ノ ∞ 倒生卵子ヲ
藏ス; 花柱ハ太ク且花葉状, 斜形ノ柱頭ヲ具フ。花序ハ穂
状又雁木状又卷繖ノ複合花序也。果ハ蒴果, ∞ 種子。種子ハ
有胚乳。

成分及効用 — 油細胞ヲ有シ且大形ノ澱粉ヲ有ス。澱粉料、藥用、染料及觀賞用トス。

分布及種屬數 — 世界ニ1屬51種ヲ産シ、米熱帯ニ分布ス日本ニ栽培スルモノ凡1屬2種ヲ下ラス。

本科ノ藥用植物：—

(1) エノビル (薑葉) *Canna indica* L. var. *orientalis* Hook. f. 印度原産、南日本各地ニ栽培ス。成分ハ澱粉、*Araboxylin*, *Safran* 様色素ヲ含有スルモノアリ。花ヲ交互利尿・発汗藥トス。根莖ヨリ採ル澱粉ヲ矢根(澱)粉 *Arrow-root* ト称シ愛用セラル。

第十一目 微子目 *Microspermae*

特徴 ⊙, 花ハ概♀, ⊕稀♂, 3数性, ⊙又⊙, Aハ概成退度形, G(3), 側膜胎座, 卵子頗微小, 胚乳+又0。

○ 微子目2科ノ檢索表

- Aハ花柱ト結合セズ, 花粉粒ハ分離, 種子ハ有胚乳...
..... *Fam. (i)* ムナシのしゃくぢやう(雜錫杖)科 *Burmanniaceae*
 - Aハ花柱ト結合シ, 花粉粒ハ∞結合シテ花柄嚢ヲ形成ス
種子ハ無胚乳.....
..... *Fam. (ii)* ろん(蘭)科 *Orchidaceae*
 - Fam. (ii)* ろん(蘭)科 *Orchidaceae*
- 形質 — 生態及形態多様ノ⊙。根ハ星球根~掌(狀)根, 貯

養分。葉ハ円形形; 星(假)鱗莖トナリ, 円~卵~長楕円形, 互生, 數個集合ス, 各1~2葉着生又無葉, 稀ニ根莖アリ; 又葉ハ短太節ハ明瞭也 (*Dendrobium* 屬等)。葉ハ根叢生又莖生成以上2様混有, 無柄~有柄; 葉鞘ハ屢卷達, 短~長鞘筒ヲナシ包莖, 葉身ハ全縁無裂, 草質, 肉質, 稀鱗片狀(寄生類)也。花ハ概♀, 稀♀♂, 極稀雜性♂。稀♂, 3数性。F.f. = P3+3V.K3C3 A1+OV.H+2G(1)+2G(2).VY.H2概P3+3A.H+2G(3); 外輪P3ハ概同形質; 内輪Pハ3片中側方2片ハ同形質ナルモ, 中央後部ノ1片ハ概大形又肥大シ, 異形~頗異形ヲ呈シ瓣(唇瓣) *Labellum* ト称シ, 筒狀~囊狀又介裂~剪裂シ, 概有距(短~長形)ニシテ全形ハ千変万化セリ。Aハ外輪ノ1ヶ完全ナルカ又是ト内輪全半ノ2ヶ假Aナルカ, 或ハ外輪ノ1ヶ假Aニテ内輪ノ前半2ヶ完全也。極稀以上ノ3ヶ完全 (*Newwiedia* 屬) 也。Aハ減数且変化甚ク, 無花絲稀殆無花絲; 鈎隔ハ屢突起ヲ生ジ, 藥胞膜ハ蕊柱ノ頂部ノ凹所即藥囊中ニ在リテ凹所ニ密着ス, 概左右2胞ニ分ル; 花柄ハ∞集合粘着(細キ彈絲ニテ)シ2~8ヶノ花粉塊 *Pollinia* トナリ, 柱頭ノ凹所ニ半没入シ, 藥胞ニ包レ又ハ半内外露出ス; 花粉塊ハ花柄嚢(小尾體)ヲ有シ又有セズ, 先端ニ粘着体アリテ虫体ニ附着ス。子房ハ延長セル鞘管狀ノ花托中ニ埋込シ, 其上部ニ節部アリテP着生ス, 花托ハ更ニ雌雄蕊ヲ伴テ延長シ所着蕊柱(肉柱柱體, *Columna, Gynostemium*)ヲナス, 先端ハ柱頭ニ當リ裂片3ヶノ中ノ1ヶ不卷育又喙狀体トナル, 多型ナルモ内側面(即

A直下)ハ柱頭面也。花梗又子房又双方ノ旋換ニ依テ螺旋状ヲ爲ス。子房ハ概ノ室辺縁(側膜)胎座ナルモ稀ニ3室トナル。各室ハ微小倒生卵子ヲ充ス。柱頭ハ粘液ヲ分泌ス。果ハ3稜性蒴果ヲ常トシ、微細ノ無胚乳種子ヲ充容ス。

成分及効用——本科ニハ化学的研究ヲ経タルモノ少シ、根莖及球根、葉根等ニハ澱粉ヲ含ム外、主成分ニ粘液質アリ。又配糖体、有機酸ニ就テ知ラレ、*vanillin*、*Peperonal*、*Cumarin*等ノ芳香性物質ヲ含有スルモ精油、樹脂、糖類、有機酸等ハ甚稀也。特ニ*Alkaloid*ハ極メテ稀有ナルハ奇ナリト云フベシ。本科ニハ薬用香料、茶ノ代用或觀賞ニ供スルモノアリ。

分布及属種数——世界ニ凡410属1700種ヲ産シ、熱〜寒帯ニ分布シ、特ニ熱帯ニ多産シ且美麗無双ノモノ不尠。日本ニ95属凡470種ヲ下ゾズ。菊科ト共ニ世界(日本モ)最多種ノ科且高度ノ進化ヲ遂ゲタル種族ナリ。

本科ノ薬用及有用植物：——

(1) しらん(白及) *Bletilla striata* Reichb. f. 本(中南部)四・九・琉ニ自生ス。〔生薬〕白及 *Tuber Bletillae* ハ乾燥根也。概支那ヨリ輸入ス。根ニ精油ヲ含ミ、粘液質ハ其量少ク且苦味アル故ニされつぷ根ノ代用トナラス。白及ノ根ヲ煎服セバ止血(吐血、咯血)薬トナリ、諸瘡、腫疔ニ外用ス。又乾粉末トシワセリン其他油ニ練リ合セ火傷、凍傷、あかさね、切創、悪瘡ニ塗布シテ有効。

○(2) されつぷ類(沙列布) されつぷノ根ノ母植物物数種アリ。即 *Orchis militaris* L. O. *Morio* L. O. *mascula* L. O. *ustulata* L. *Anacamptis pyramidalis* Richard. *Platanthera bifolia* Richard. 5種ナリ。共ニ欧洲中部地方産也。〔生薬〕沙列布根 *Tuber Salep* ハ其乾燥根也。〔成分〕葉ニハ *Cumarin* 及其ヲ分離スル *Glycosid*、*Loroglossin*ヲ含ミ、且精油ヲ含有ス。根ニハ粘液及澱粉(スク糊化シテ存在ス)ヲ含ム。〔薬効〕根ヲ熱湯ニ浸シ乾燥シ後煎劑トシ包摂薬トシテ胃腸加容剤ニ応用ス。又粘滑薬トシヒビ、あかさねニ用フ。局方ノされつぷ根ハされつぷ根ニシテ1日4~10gヲ粘漿トシテ緩和薬トシテ又他薬ニ和シ使用ス、外用ニハ2gヲ100c.cトシ灌腸料トス。

○(3) さいはいらん(はつくり、糸配蘭、母粟) *Crematista mist-rata* A. Gray 樺南千北本四九ノ山地ニ点生ス、稍稀少。〔生薬〕糸配蘭 *Tuber crematistae* ハ日本産されつぷ根ニ浸シ乾燥セルモノ也。〔成分〕根ニ多量ノ粘液及澱粉ヲ含有ス。〔薬効〕前記されつぷ根ノ代用ス。効用同一也。(特ニ根ヲ搗リ却シ粘滑薬トシヒビ、あかさねヲ治ス)又毒下シトス。

(4) はくさんちどり *Orchis aristata* Fisch. 菱種、菱形多シ。樺南千北本(中北部)ノ寒地帯(千島ハ平地海岸)ニ広布ス、点生〜群生。

前記さわっぱ根ニ代用シテ全効アリ。民：緩和包摂薬又枯滑薬トシテ胃腸加峇児ニ用ヒ又小児ノ滋養薬トス。

(5) えびね (蝦根) *Calanthe discolor* Lindl. 北本四九ノ山地ニ点生ス。根ニ *Indigo* ヲ含ム他ハ不明。根ヲ煎服シテ婦人血ノ道薬トス。

(6) しゆんらん (ほくろ、春蘭) *Cymbidium virescens* Lindl. 北本四九ノ山地ニ点生。果皮ヲ剥ギ中ノ白部ヲ粉末トシ止血薬トス。根ヲ乾燥粉末トシ以テ、あかき北ニ塗布シ又粉末ヲおぜりん或ハ飯粒ト練リ合せ塗布セバ切更ニ大也。火傷、凍傷ノ療癒ニ有効。

(7) せきこく (石斛) *Dendrobium monile* Kraenzl. 本(中南部)四九ノ山地ノ崖側、古木及岩上等ニ着生。〔生薬〕

Herba Dendrobii ハ全草ヲ肉花前ニ採リ陰干セルモノ。

〔成分〕全草ニ *Dendrobin* ナル *Alkaloid* $C_{16}H_{23}NO_2$ 10.03%ヲ含有シ、漢：強壯薬トシテ陰痿及盗汗ニ用ヒ、又健胃薬トス。

(8) おほぼせまこく *D. nobile* Lindl. 支那産、其变种ナルもくこくらん *var. formosanum* Reichb. f. ハ台湾ニ自生ス。 *Dendrobin* ヲ全草ニ0.3%含有シ前者ト全効アリテ遙カニ強ク優レリ。

(9) ちどりさう (てがたちどり、千鳥草) *Gymnadenia conopsea* R. Br. 樺、南千、北、本(北中部)ノ亜寒地帯～寒地帯下部ノ山原又御花畑ニ点生又群生ス。乾根ヲ煎服シ緩和包摂薬

トシテ胃腸加峇児ヲ治シ、又小児ノ滋養薬トス。

(10) ほうらん (釵子股) *Luisia teres* Blume 本(西南部)九流小笠原ニ自生ス。莖ヲ煎服スレバ癰疽ヲ治シ、諸藥毒ヲ解シ解毒薬トナル。

(11) いちあげび (やまおうがらし、山珊瑚、土通草) *Galeola septentrionalis* Reichb. f. 北本四九ノ山地ニ生ズル腐生植物。〔生薬〕土通草 *Fructus Galeolae* ハ莖果也。生時紅褐色乾時暗褐色。〔成分〕未詳。〔薬効〕漢：果ヲ強壯強精薬トシ、甘草ト共煎スレバ治淋薬トナル、1日10g煎服。民：種實ハ煎服シテ腫氣、下痢、淋病、乳房痛(乳房炎)、齒痛等ヲ治ス。関東地方ニテハ全草ヲ黒焼トシ頭髮油ニ加ヘ癩疥ニ塗布シテ有効。

(12) おにのやから (ぬすびとのあし、天麻) *Gastrodia elata* Blume 北本四九ノ山足林下等ニ点生稀少也。〔生薬〕天麻 *Rhizoma Gastrodiae* ハ莖根莖也、淡黄色味辛シ。赤箭—ハ本植物ノ幼莖ノ乾物ニテ赤黄色ヲ呈ス。〔成分〕未詳〔薬効〕天麻及赤箭ヲ煎服シテ強壯薬トシ、又眩暈、頭痛、風熱驚悸ニ有効。又神經衰弱ニ用フ。屢川芎ヲ配伍ス。1回1—5g煎服。〔処方例〕天麻散(風湿疼痛、黃腫ヲ治ス) 天麻、全蝎各16、地黃、川芎、木瓜、沒藥、乳香、穿山甲、牛膝各10、烏頭8、以上10味粉末トシ1回12g、浸酒温服ス。

(13) うあくら (わにから) *Vanilla planifolia* Andrews 墨國、中南米ニ原産シ、瓜哇ニ栽培ス。果實ニ *vanillin* $C_8H_8O_3$

精油、脂肪糖介等ヲ含有シ、月經不順、ヒステリー症、萎黃病、橋
鼻瘻ニ使用セラル。又賦香料（茶、チョコレート、アイスワ
ーム、菓子等）トシテ重要ナリ 即チ食物ニ佳香ヲ附シ又香
水ヲ製スルニ實用メ。

發行所

本館巴東町三六一
大 洋 社

不許複製

世之巴東公園六号地
共正女子寮専門学校内
著者 小泉秀夫
本館巴東町三六一
印刷所 大洋社 野村始次

昭和十四年三月九日 初版印刷
昭和十四年三月十三日 初版發行
昭和十四年五月一日 増訂版發行
昭和十五年五月廿五日 再訂版發行
(非賣品)

403
118

終